

敬和会
社会福祉法人

高齢者生活支援施設
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ
特別養護老人ホームユニテけいわ短期入所
居宅介護支援センター けいわ荘
厚木市荻野地域包括支援センター
え ま 一 ぶ る
ケアプランセンター けいわ
ケアハウス えがりて
け い わ 保 育 園
け い わ 星 の 子 保 育 園



高齢者生活支援施設 けいわ荘
特別養護老人ホーム ユニテ けいわ
特別養護老人ホームユニテけいわ短期入所
居宅介護支援センター けいわ荘
厚木市荻野地域包括支援センター
え ま 一 ぶ る
ケアプランセンター けいわ
ケアハウス えがりて
け い わ 保 育 園
け い わ 星 の 子 保 育 園

目 次

〔施 設〕	
はじめに	1
主な実績	1
【部門別事業報告】	7
1. 生活支援課	7
① 入所者諸状況	7
② 地域交流実績	15
③ ボランティア実績	16
重点取り組み事項総括	17
1) 生活相談員	17
2) ケア第1(さざんか・コスモス)	19
3) ケア第2(陽だまり)	21
4) ケア第3(特養ユニテけいわ)	23
5) 施設ケアマネージャー	25
6) 医務	27
7) 栄養	30
2. 地域支援課	33
1) 居宅介護支援センターけいわ荘	33
I) 居宅介護支援	33
II) 通所介護	36
III) 訪問介護(含. 障害福祉サービス)	39
IV) 短期入所生活介護	42
3. 萩野地域包括支援センター	46
4. ケアプランセンターけいわ	51
5. えまーぶる	54
I) 通所介護事業所	54
II) 居宅介護支援事業所	57
6. ケアハウスえがりて	60
7. 管財課	65
8. 総務課	67
【研修会報告】	70
けいわ保育園	
1. 基本理念	74
2. 平成31年度・令和元年度園児数	74
3. 事業総括	76
4. 重点取組事項	76
5. 具体的取組内容及び目標達成状況	77
6. 行事の実行	79
7. 平成31年度・令和元年度職員外部研修	80
けいわ星の子保育園	
1. 基本理念	81
2. 平成31・令和元年度園児数	81
3. 事業総括	83
4. 重点取組事項	83
5. 具体的取組内容及び目標達成状況	84
6. 行事の実行	85
7. 平成31年度・令和元年度職員外部研修	86

平成31年度・令和元年度 社会福祉法人 敬和会 事業報告

はじめに

社会福祉法人敬和会は、ご利用者様、地域の皆様そして職員との絆を深め、皆様から信頼され、「けいわ荘で過ごすことが出来て良かった」と心から思って頂ける施設を目指してまいりました。

そして、経営理念の達成が出来ますよう「安心・安全」、「地域貢献」、「明るい施設」、「チームワーク（ONE TEAM）」をコンセプトに法人が一丸となって運営をしてまいりました。

特に「チームワーク」は、ご利用者様ならびにご家族の皆様方に「安心・安全」を提供するための恒久的な目標であります。

目の前の事象を避けることなく、しっかりと成し遂げることの積み重ねが大切と考えて努力してまいりました。

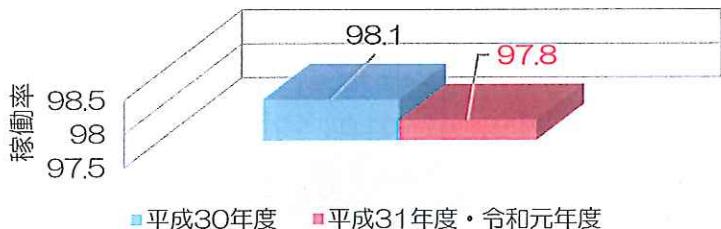
また、「目指す職員像」という冊子を作り、法人の考え方を全職員に示し、「自分らしく生きたい」というご利用者様の思いをしっかり受け止め、チームワークをもって支援してまいりました。

主な実績

① 各事業所の実績（稼働率等：前年度比）

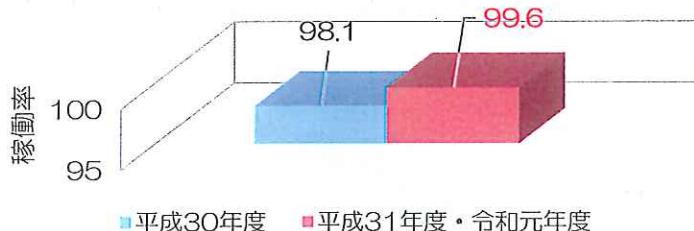
高齢者生活支援施設けいわ荘稼働率（前年度比）

-0.3%

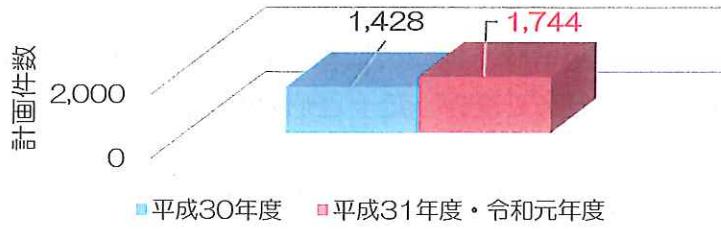


特別養護老人ホームユニテけいわ稼働率（前年度比）

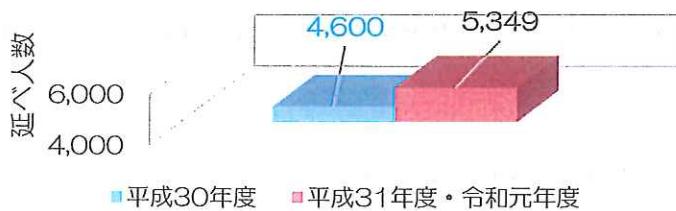
+1.5%



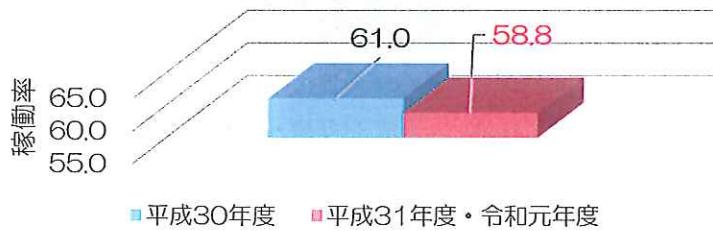
居宅介護支援計画件数（前年度比）
+22.1%



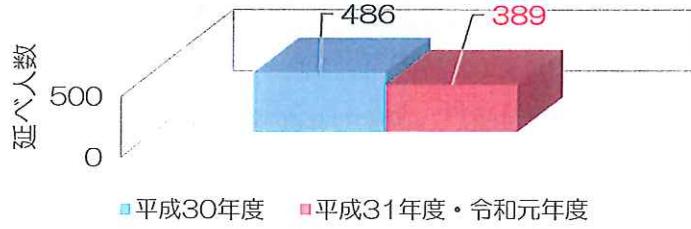
訪問介護ご利用者延べ人数（前年度比）
+16.3%



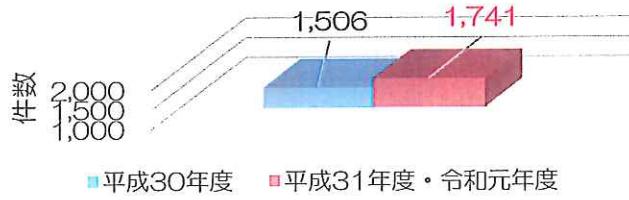
通所介護稼働率（前年度比）
-2.2%



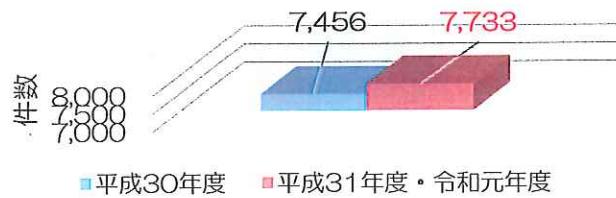
障害自立支援ご利用者延べ人数（前年度比）
-20.0%



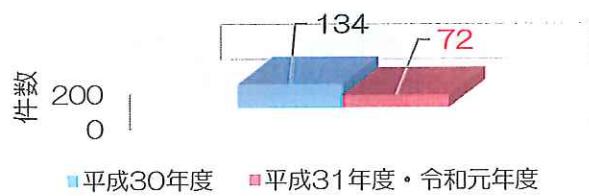
荻野地域包括支援センター
①介護予防プラン件数（前年度比）
+15.6%



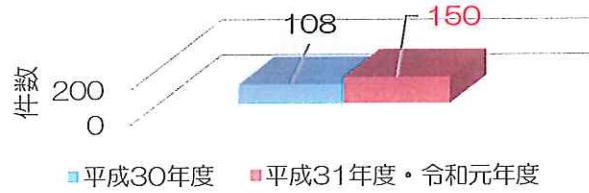
荻野地域包括支援センター
②総合相談・権利擁護件数（前年度比）
+3.4%



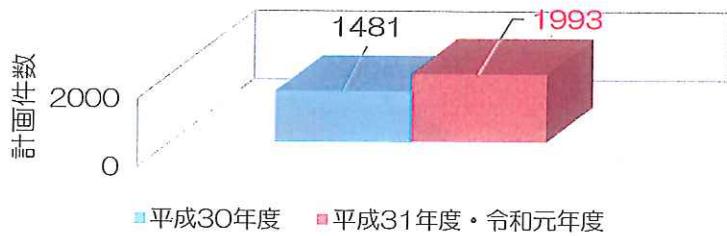
荻野地域包括支援センター
③ケアマネジメント支援件数（前年度比）
-46.3%



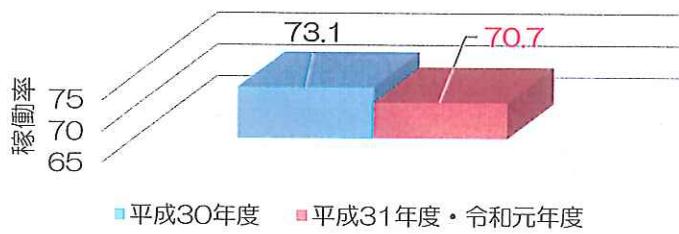
荻野地域包括支援センター
④実態把握調査件数（前年度比）
+38.9%



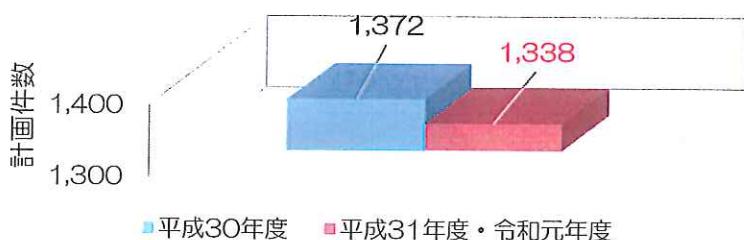
ケアプランセンターけいわ計画件数（前年度比） +34.6%



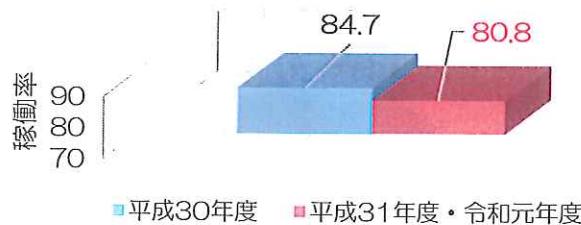
通所介護事業所えまーぶる稼働率（前年度比） -2.4%



居宅介護支援事業所えまーぶる計画件数（前年度比） -2.5%



ケアハウスえがりて稼働率（前年度比） -3.9%



② 地域への社会貢献の推進

(1) 中学生の職場体験学習の定期化

中学校の年間行事計画に位置づけられ、荻野中学校 2 名の職場体験学習が実施されました。この職場体験学習は、2 日間の短い期間でしたが、中学生と介護との接点をつくり、基礎的・基本的知識を学ぶ学習の場となりました。

(2) 看護実習

高齢者とのコミュニケーションや日常生活援助を体験的に学習し、社会貢献を果たしていく介護施設の意義と看護職及び介護職の役割を学習することを目的として神奈川工科大学 16 名、厚木看護学校 12 名の学生を受け入れました。

(3) 教員志望の介護等体験

教員志望の大学生 6 名を受け入れました。義務教育である小学校・中学校の教員免許取得希望の学生には、介護等体験は必修となっております。

けいわ荘における介護等体験は、生活相談員が中心となって、人と人が出会う場所で、それぞれの生き方や価値観の違いを知り、それらの違いから生じる背景を理解した上で、その違いに対して誠実に向き合っていく姿勢の大切さを指導しました。

(4) 介護職員初任者研修（通学）～研修センターけいわ～認可

資格のない職員の有資格化を推進し、スキルアップを図るとともに、地域貢献事業の一環として広く一般への受講呼びかけを図り、また、講師のこれまで培ってきた介護技術の見直し及び再確認を行うことにより、敬和会全体のスキルアップを図ることを目的として介護職員初任者研修（通学）の申請を行い、平成 2 年 3 月 11 日神奈川県知事より認可を受けました。

③ インクルーシブ（包括的）教育の推進

神奈川県では、平成 29 年度より障がいがあるなしに関わらず、共生社会の実現に向け、すべての子どもが、共に学び共に育ちながら、能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できる力を育むために、インクルーシブ教育が始まりました。けいわ荘では、インクルーシブ教育の推進に協力、パイロット校（教育実践推進校）の県立厚木西高校より 1 名を職業教育の一環として実施し、卒業後の進路に対する意識と社会自立への意欲を高める機会を提供しました。

④ 廉價レボリューション

(1) 法人としての試み

施設・えまーぶる・けいわ保育園・けいわ星の子保育園が 2 ヶ月に 1 回の合同会議を実施し、食の営みのよろこびの中、自己実現を求め、健やかによりよく共に生きるというご利用者・園児とそのご家族の願いに応えることを目的に法人共通の課題を抽出および解決の道を探りつつ、より良い食の提供を目指しております。

(2) デイサービス及びケアハウスえがりて健康教室

「健康教室」は、ケアハウス入居者の皆様が、自身の心身の健康に关心を持ち、管理栄養士による正しい知識と情報、グループでの学習・ディスカッションの場の提供により、健康を指向した日常生活を送れるようサポートすることを目的として実施しております。

⑤ 『チームワーク』を考える方策

今年度事業計画「重点取り組み事項」の一つに(Ⅲ) 魅力ある職場環境の整備とチーム力(団結力)の強化が示されております。これを具現化するべく、事務所では、チームワークの基本となるべき一つに“相手の良さを認め合う”姿勢と心が大切であると考え、朝礼で日直による「頑張っている人」、「良いアイデアを提供した人」などを発表し合い、褒め合うことを実行し、明るい雰囲気を醸し出しております。

⑥ 萩野地域包括支援センターの新たな取り組み《地域包括ケア社会の構築に向けて》

- (1) 認知症サポーター養成講座の定期開催。
- (2) 小学校の認知症サポーター養成講座では、地域住民にも参加していただき寸劇などを行ない、好評でした。
- (3) 認知症の方を地域で見守るために「一人歩き高齢者声掛け模擬訓練」を行った。
- (4) 地域の居場所「東カフェ」、「もりや亭」、「ロックふあいば」、「映画会」開設を支援しました。
- (5) 認知症サポーターが活躍できるよう「オレンジジャー会」に向け、定期的な講習会や交流会を開催し、居場所へボランティアで参加できるようマッチングを行いました。
- (6) 萩野地域包括支援センターが現在地より旧萩野公民館に総合移転するのに伴って現在地の事務所を地域住民の活動場所として有効活用できるよう、地域住民と共に検討をしております。

⑦ 老朽化に伴う設備工事完工

空調・給水などの更新を実行し、更には、通所介護浴室脱衣場改裝工事、ケアハウスえがりて浴室照明器具交換工事等を行ない、ご利用者の安全・安心を保障するため、諸工事を完工した。

⑧ 環境整備の充実（施設補修・改修関係内訳）

番号	補修項目	場所	番号	補修項目	場所
1	給湯ボイラー更新工事	本館	5	網戸改修工事	本館
2	スプリンクラー・アーム弁交換	本館	6	軒下補修工事	渡り廊下
3	自家発電機負荷試験	新館	7	焼却炉更新工事	施設
4	屋上防水工事	本館	8	洗面電気温水器交換工事	ユニテ

⑨ 日本財団より福祉車両の贈呈

通所介護で使用している送迎車両の代替を検討する中で、日本財団に福祉車両の申請を行ない、贈呈されることになりました。（4月23日納車）

【部門別事業報告】

1. 生活支援課

事業総括

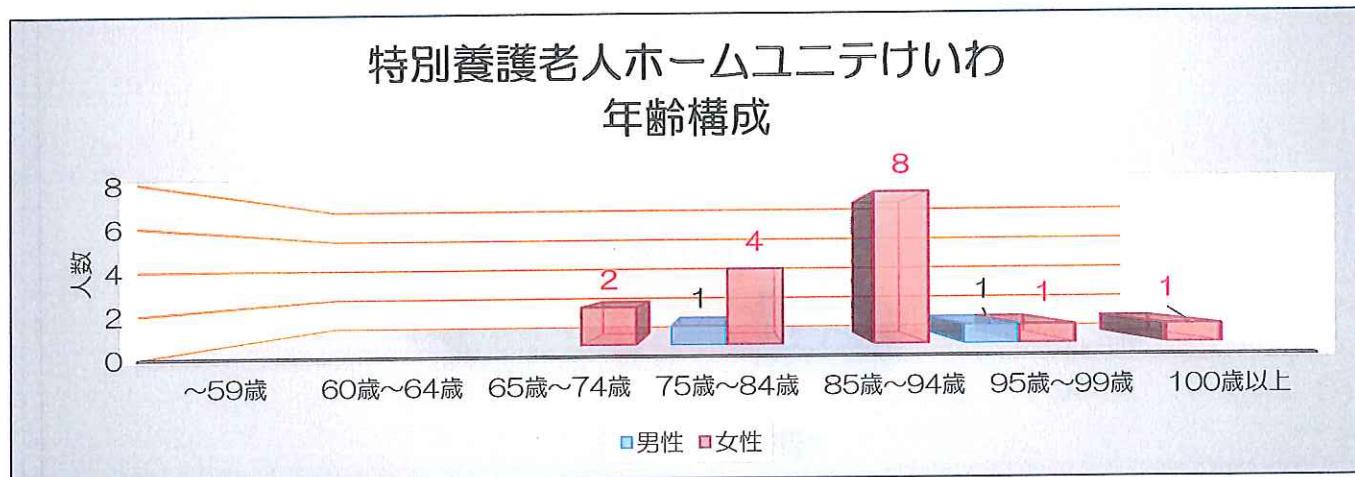
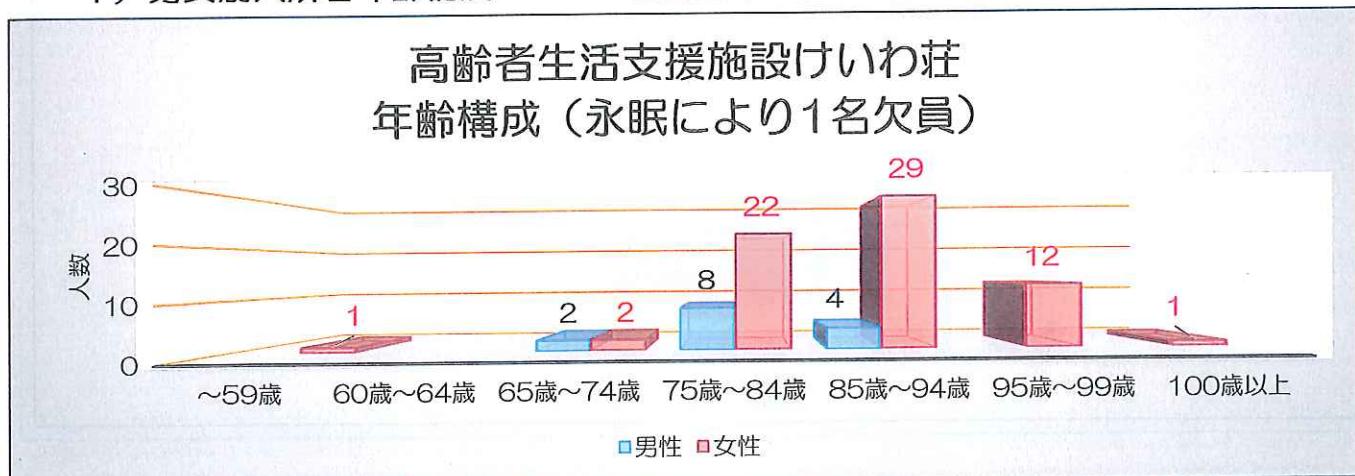
法人理念のもと、ご利用者が終の棲家として最期まで安心して過ごして頂けるように、多職種がチームとして連携を取り支援する事が出来ました。又、感染症等の流行もなく、利用者、職員共に体調管理に努めました。

処遇の難しい方やご家族に支援が必要な方等の受け入れを行い、地域に選ばれる施設作りを実施しました。

① 入所者諸状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

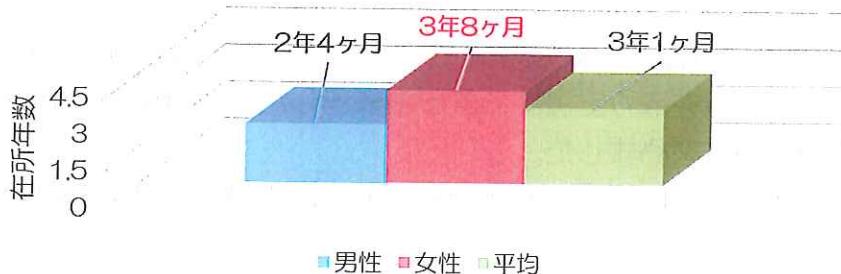
1) 男女別入所者年齢構成

※令和 2 年 4 月 4 日時点で 1 名が入所し、満床となっております。



2) 平均在所期間

高齢者生活支援施設けいわ荘 平均在所期間

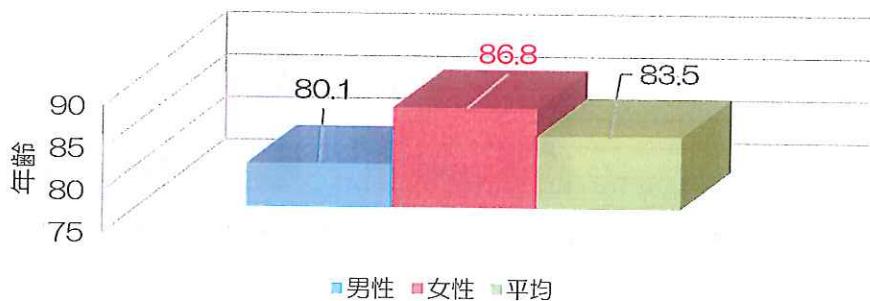


特別養護老人ホームユニテけいわ 平均在所期間



3) 平均年齢、最高・最低年齢

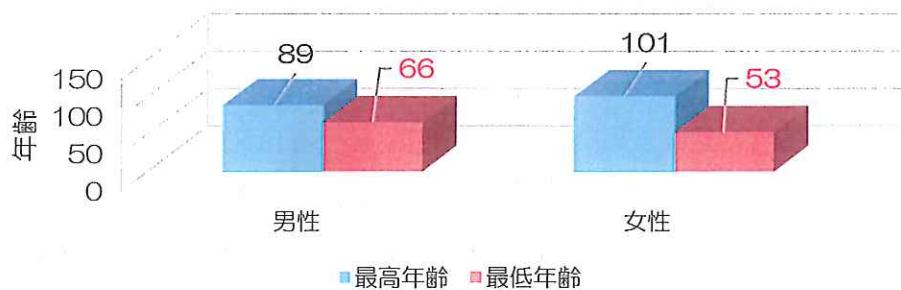
高齢者生活支援施設けいわ荘 平均年齢



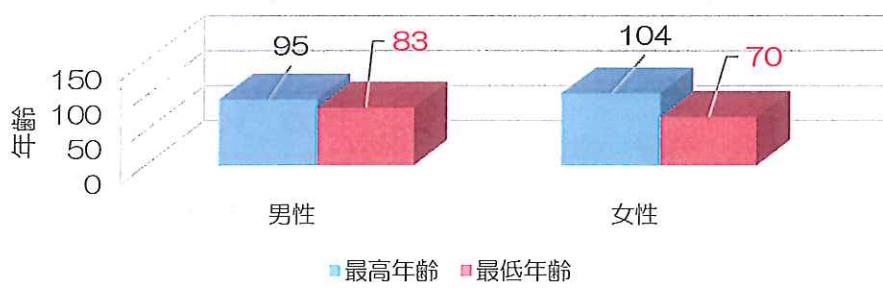
特別養護老人ホームユニテけいわ 平均年齢



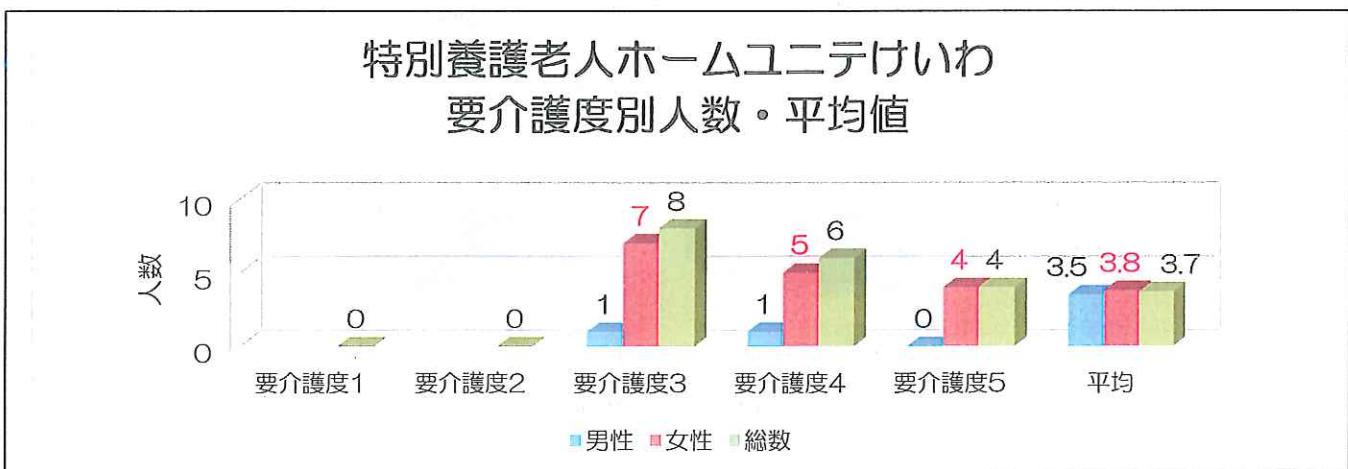
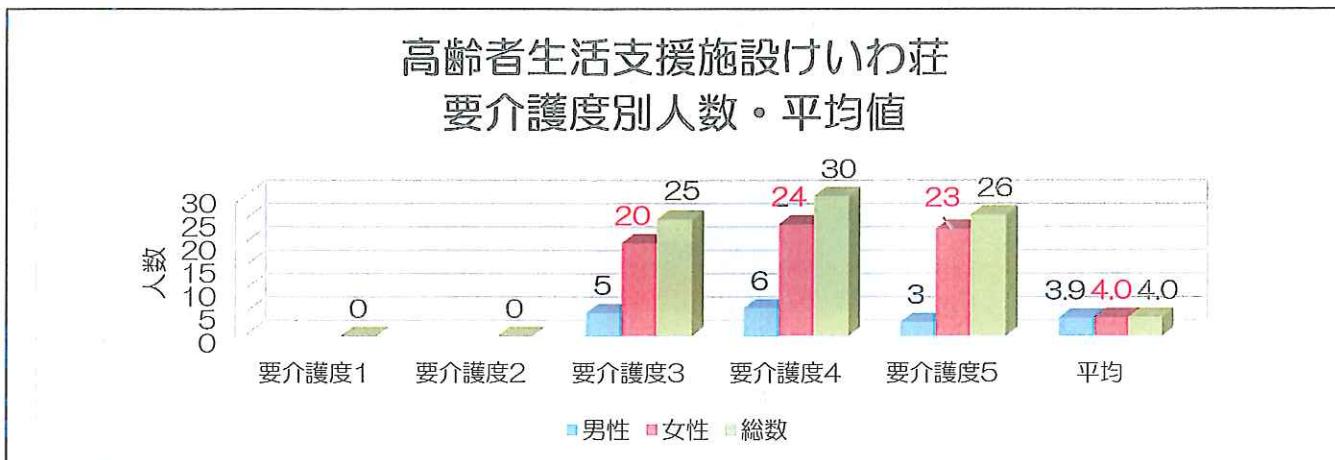
高齢者生活支援施設けいわ荘 最高・最低年齢



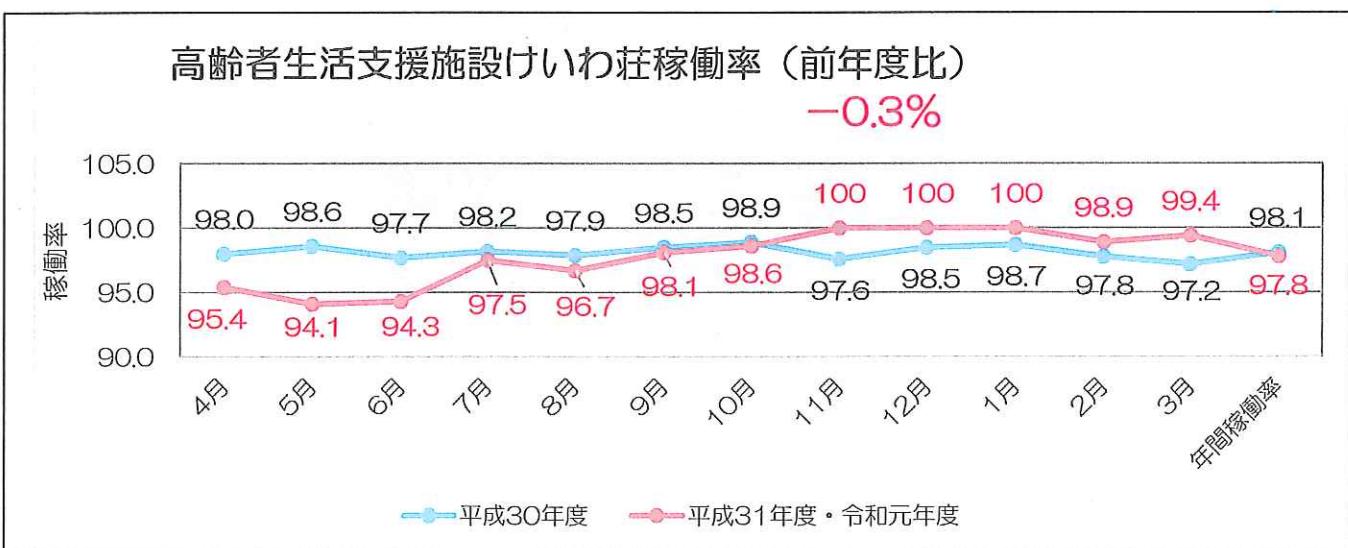
特別養護老人ホームユニテけいわ 最高・最低年齢



4) 介護保険 要介護度別人数

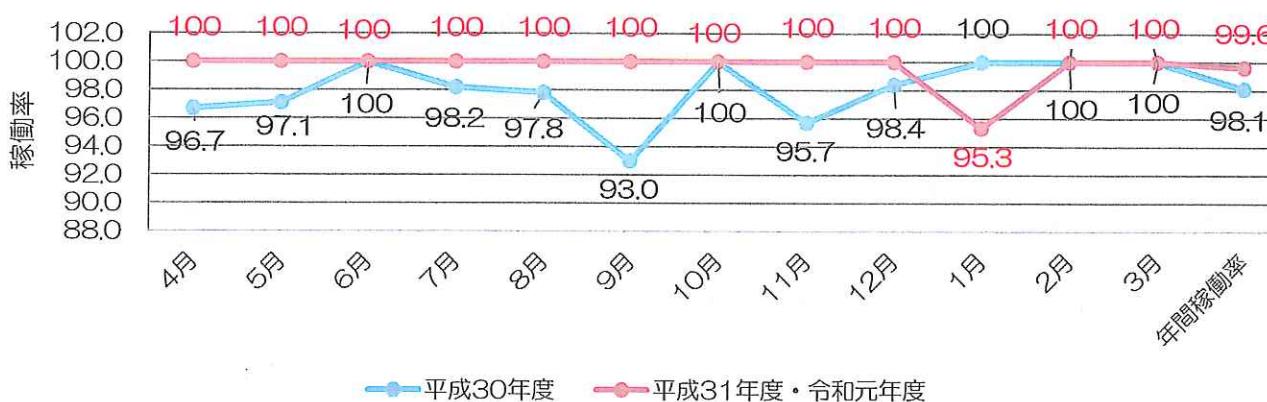


5) 年間施設稼働実績表（稼働率）



特別養護老人ホームユニークいわ稼働率（前年度比）

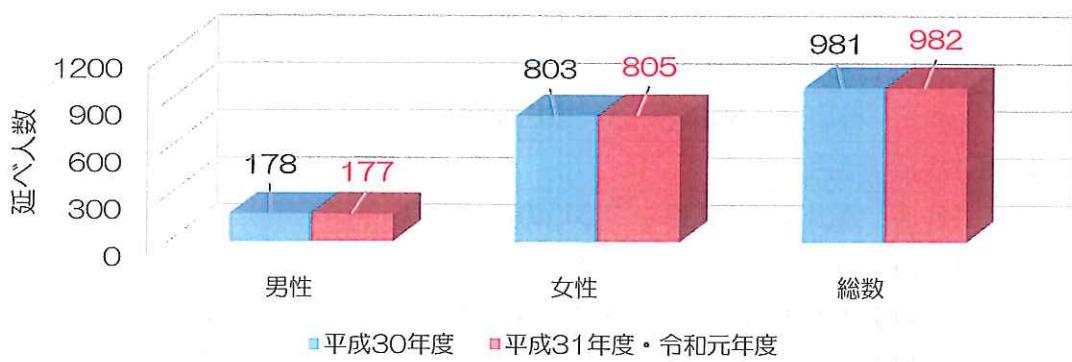
+1.5%



6) 年間施設稼動実績表（延べ人数）

高齢者生活支援施設けいわ荘ご利用者延べ人数（前年度比）

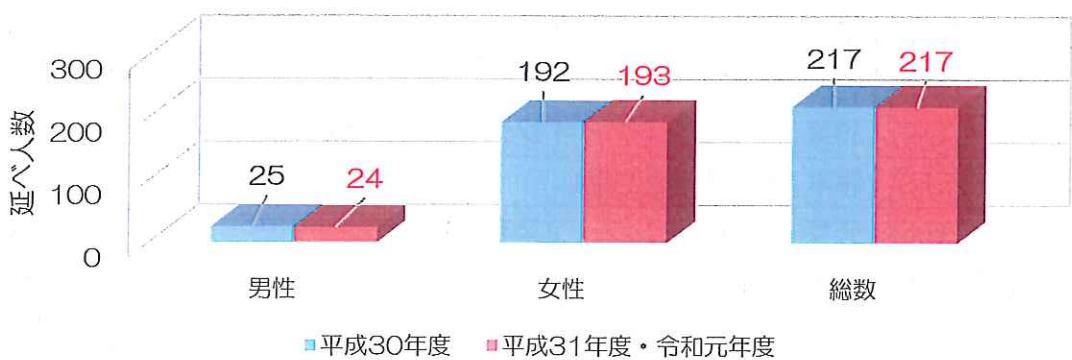
+0.1%



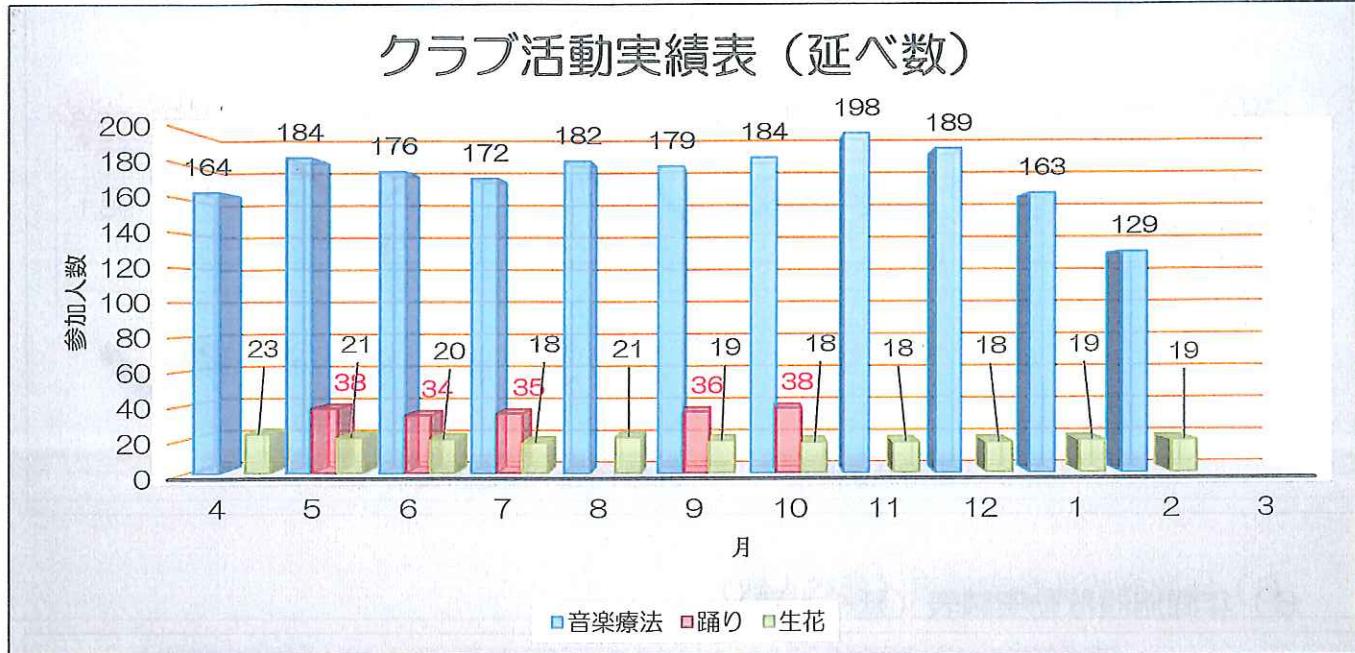
特別養護老人ホームユニークいわご利用者延べ人数

（前年度比）

±0%



7) クラブ活動実績表（延べ数）



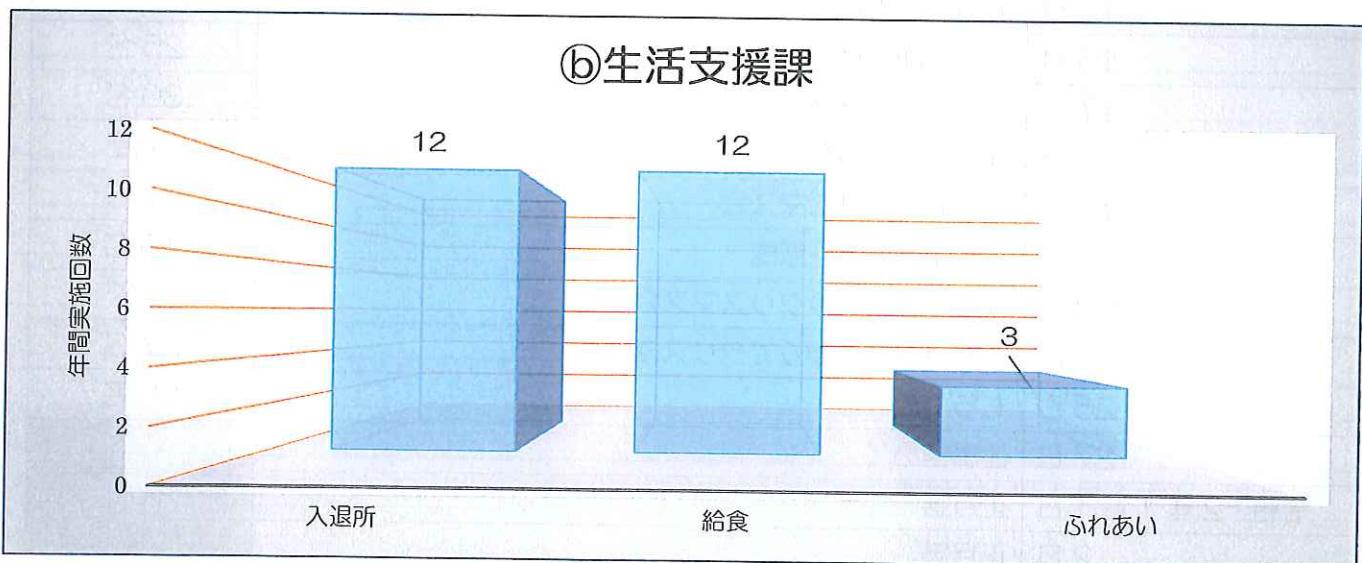
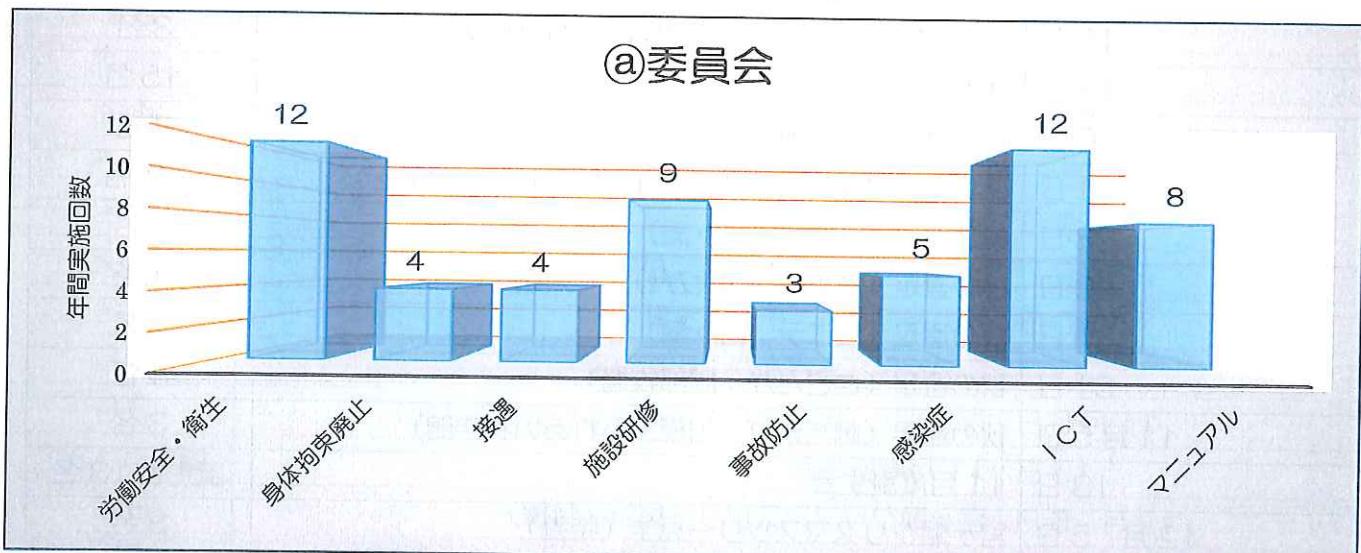
8) 行事報告

実施日	行事名	参加人数
平成31年 4月 11日	4月誕生会	誕生者9名
24日	外出：メダルゲーム（さざんか）	3名
令和 元年 5月 13日	5月誕生会	誕生者4名
16日	外出（陽だまり：つつじの丘公園）	3名
16日	おやつ作り（コスモス）	30名
21日	外出（陽だまり：つつじの丘公園）	3名
27日	遠足（ユニテさく・ひまわり：プロンコビリー・他）	3名
30日	遠足（ケアハウスえがりて：あいかわ公園）	17名
6月 5日	外出（ユニテさくら・ひまわり：宮ヶ瀬ダム）	3名
11日	イベント食（ユニテさくら）	9名
16日	地域の方々との交流（第二森の里）	3名
18日	イベント食（ユニテひまわり）	9名
19日	6月誕生会	誕生者10名
20日	和菓子・デザートバイキング（陽だまり）	30名
23日	厚木キリスト教会慰問	19名
26日	デザートバイキング（コスモス）	26名
7月 5日	岡田保育園慰問	43名
16日	7月誕生会	誕生者7名
31日	フルーツバイキング（さざんか）	28名
8月 16日	8月誕生会	誕生者11名

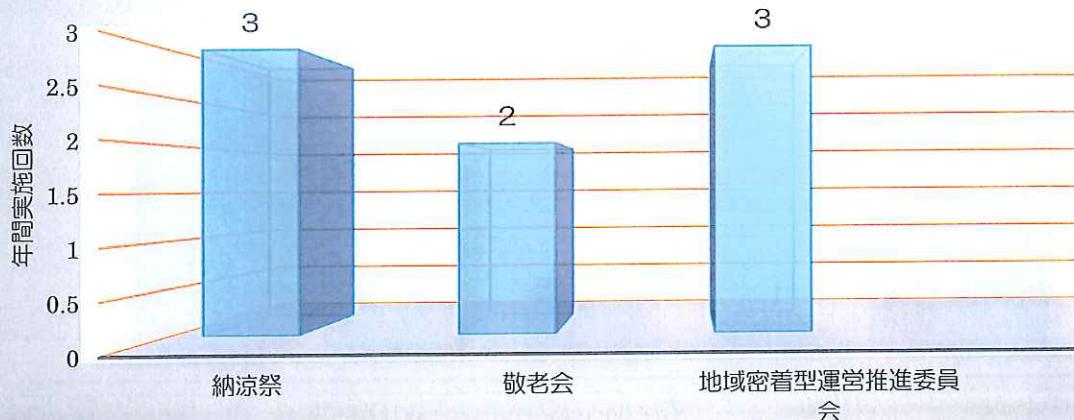
19日	花火大会・かき氷（ユニテさくら・ひまわり）	18名
23日	ふれあい交流会	54名
21日	居酒屋「けいわ」（特養入所者）	32名
26日	居酒屋「けいわ」（ケアハウスえがりて入所者）	24名
29日	スイカ割り（陽だまり2丁目）	30名
31日	スイカ割り（陽だまり1丁目）	
31日	花火大会（さざんか・コスモス）	57名
9月2日	風船バレー大会（ディサービス）	14名
3日	ケアハウス敬老会	23名
3日	9月誕生会	誕生者2名
14日	敬老会（けいわ荘・ケアハウスえがりて）	式典参加者101名
10月7日	10月度誕生会	誕生者10名
12日	けいわ大運動会	台風のため中止
15日	秋の遠足（陽だまり：相模原ふれあい科学館）	3名
18日	秋の消防訓練	15名
20日	厚木マラソン参加	4名
21日	クッキング（コスモス：チョコレートフォンデュ）	31名
23日	秋の遠足（ユニテ：宮ヶ瀬）	3名
29日	秋の遠足（ケアハウスえがりて：大磯）	20名
30日	秋の遠足（ユニテ：宮ヶ瀬）	3名
31日	秋の遠足（さざんか：服部牧場）	4名
11月5日	秋の遠足（陽だまり：相模原ふれあい科学館）	3名
13日	11月度誕生会	誕生者13名
12月 5日	宮ヶ瀬クリスマスツリー見学（特養）	8名
7日	宮ヶ瀬クリスマスツリー見学（ケアハウスえがりて）	17名
12日	12月度誕生会	誕生者名
16日	さざんかクリスマス会	25名
17日	陽だまりクリスマス会	30名
18日	ユニテさくらクリスマス会	9名
19日	コスモスクリスマス会	27名
22日	ガールスカウト慰問	10名
23日	ユニテひまわりクリスマス会	9名
23日	ケアハウスえがりてクリスマス会	27名
26日	もちつき	56名
27日	仕事納め	
令和 2年1月1日	正月膳	
2日	正月膳	

3日	正月膳	
8日	ホーム喫茶（初釜）	52名
14日	どんど焼き	58名
15日	1月度誕生会	誕生者 20名
20日	ケアハウスえがりて 寒川神社初詣	17名
27日	特養ユニテ初詣（荻野神社）	3名
2月3日	節分（ユニテ：さくら・ひまわり）	18名
12日	イベント食：チョコフォンデュ（さざんか）	28名
13日	2月度誕生会	誕生者 16名
3月12日	3月度誕生会	誕生者 12名
31日	お花見（ケアハウスえがりて）	25名

9) 諸会議

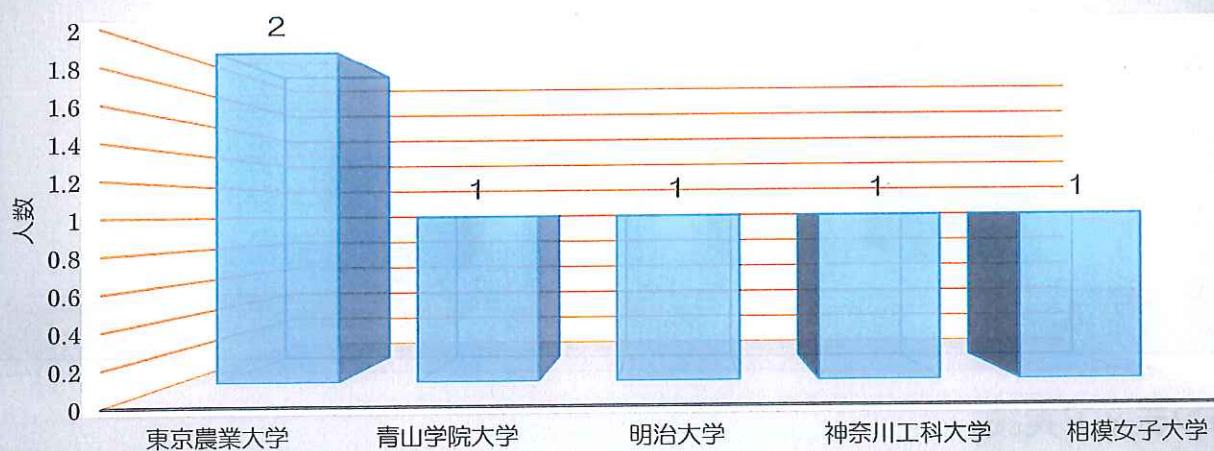


③ 行事実行委員会

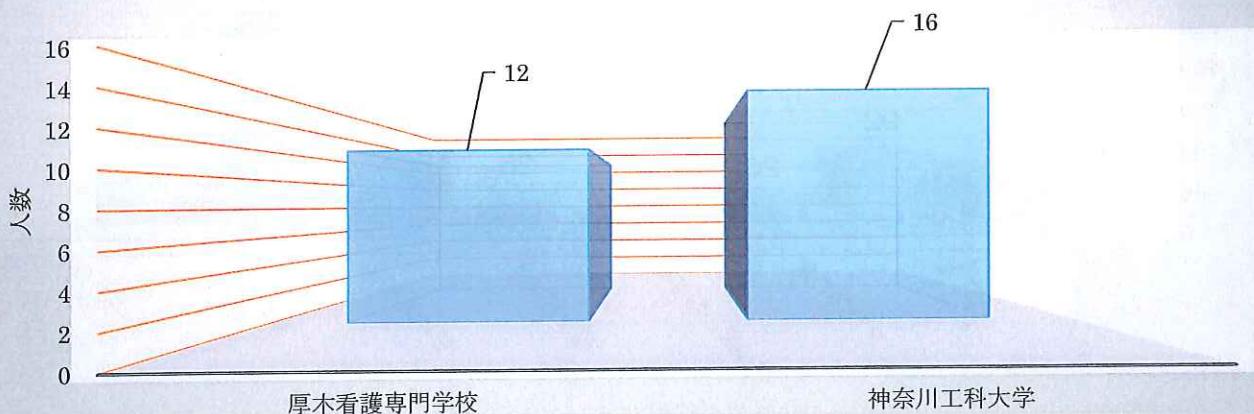


② 地域交流実績

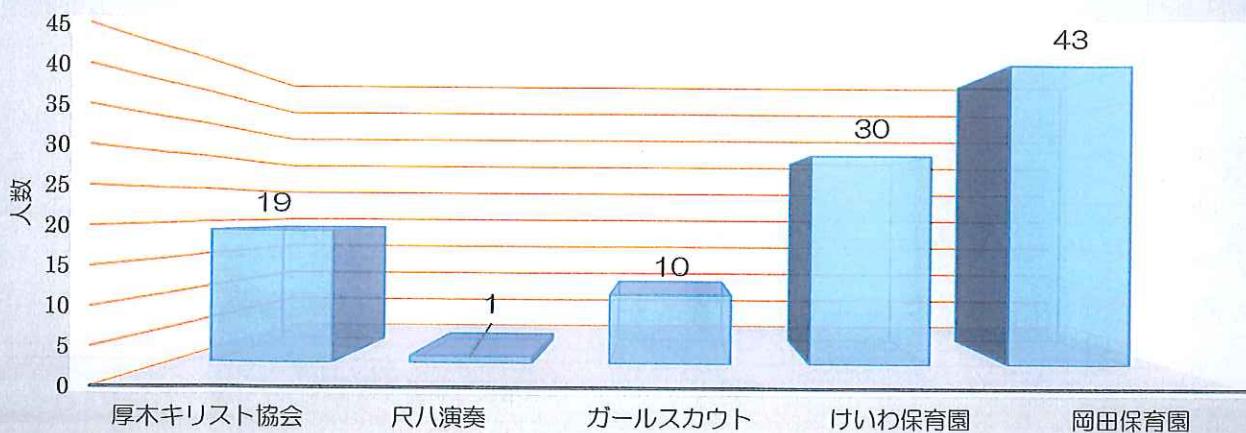
1) 大学教員志望介護実習生受入れ



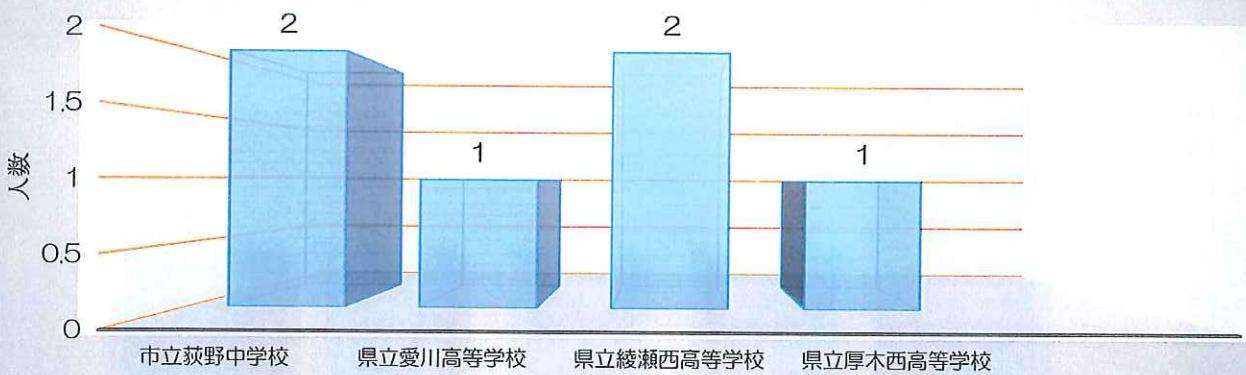
2) 看護実習受入れ



3) 慰問

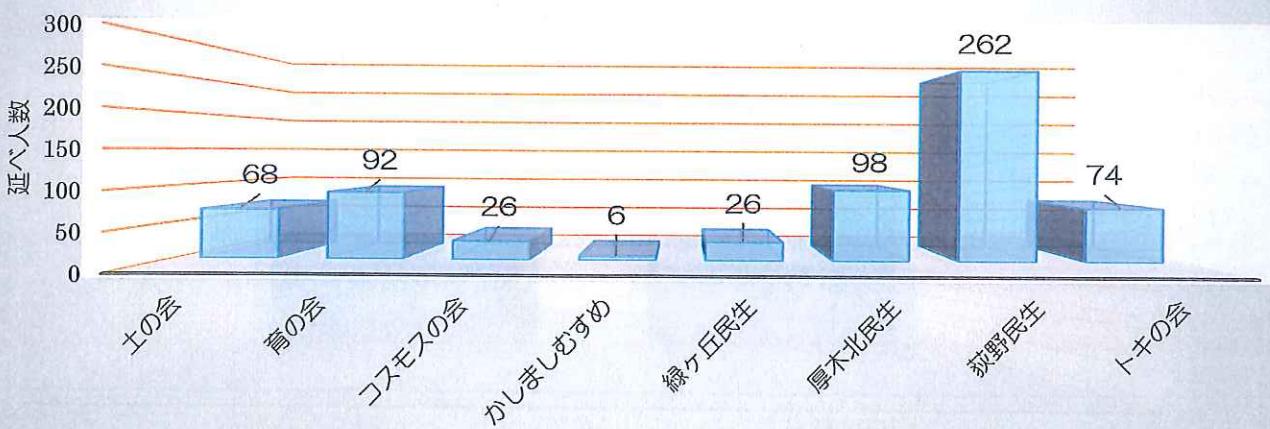


4) 介護体験・インターンシップ インクルーシブ教育

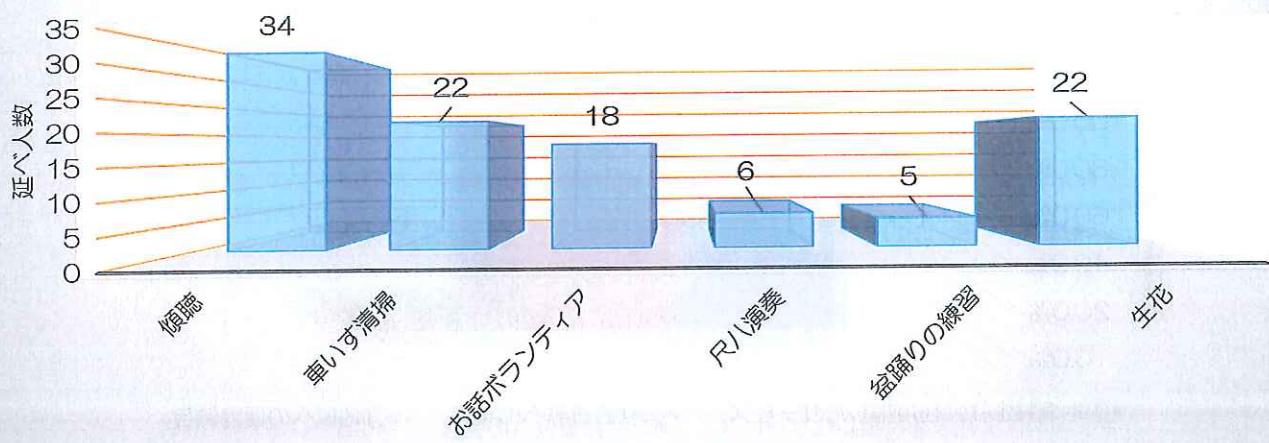


③ボランティア実績

1) 団体ボランティア実績表（延べ人数652名）



2) 個人ボランティア実績表（延べ人数107名）

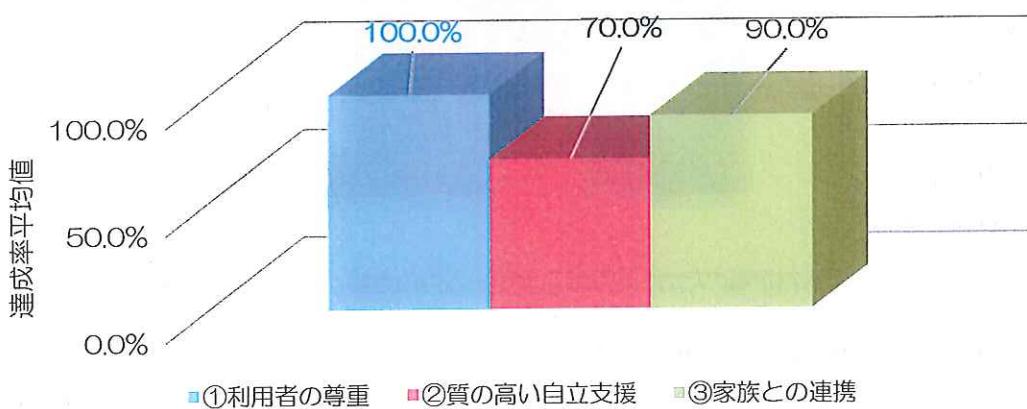


重点取り組み事項総括

- (I) 利用者サービスの充実
- (II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み
- (III) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化
- (IV) 環境の変化に適応する経営

1) 生活相談員

(I) 利用者サービスの充実

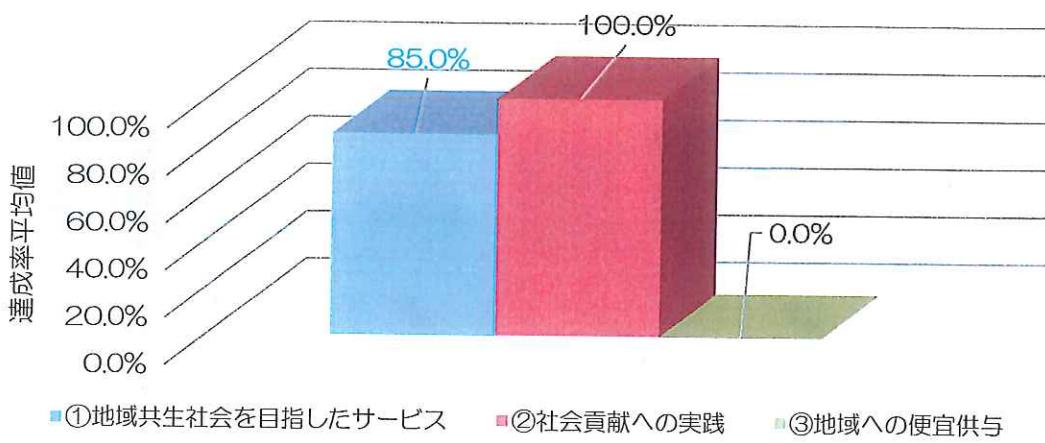


達成状況：①利用者の尊重→入所時や急変時等に必ず家族の意向確認に努めた。

②質の高い自立支援→食事・排泄・入浴は ICT 化が出来、情報の共有ができたが、ケース記録や日誌等は実践には至らなかった。

③家族との連携→状況の変化等は、常にご家族へ連絡を行い、信頼関係を築くことができた。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

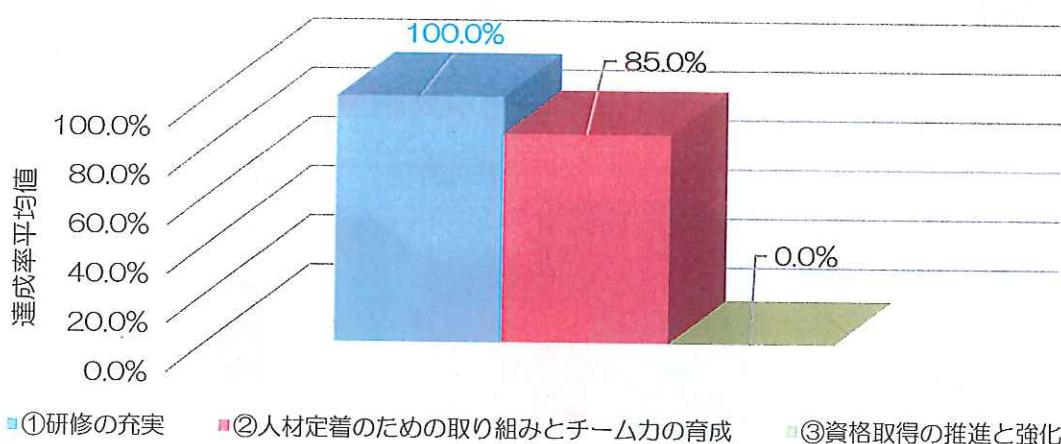


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→処遇の難しい方や家族サポートが必要な方の受入れを実施してきた。

②社会貢献への実践→社会福祉士・介護福祉士実習生 2 名受入れ、教員実習 6 名受入れ、中学生介護体験 2 名、高校生インターンシップ・インクルーシブ 4 名受入れ。

③地域への便宜供与→機会をつくることが出来ず、実施までに至らなかった。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

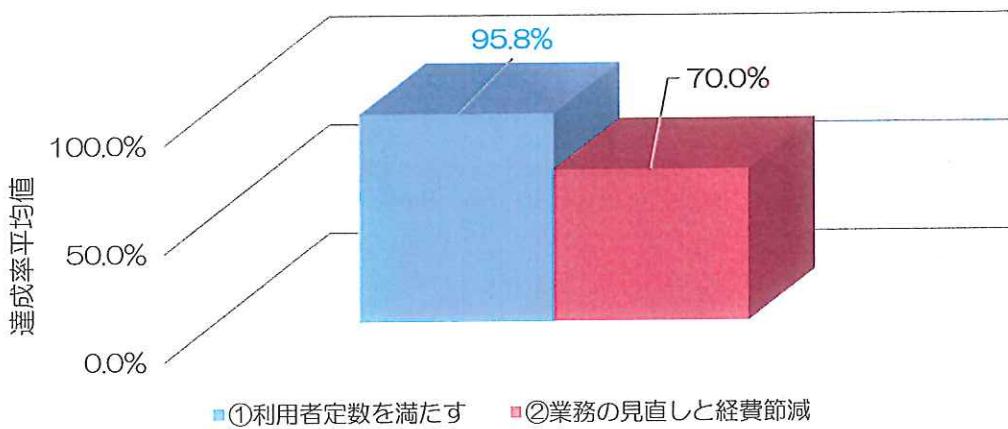


達成状況；①研修の充実→取り組み、参加できた。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→日々の業務の見直しを行ったが、出来ていない部分もあった。

③資格取得の推進と強化→受験には至らなかった。

(IV) 環境の変化に適応する経営

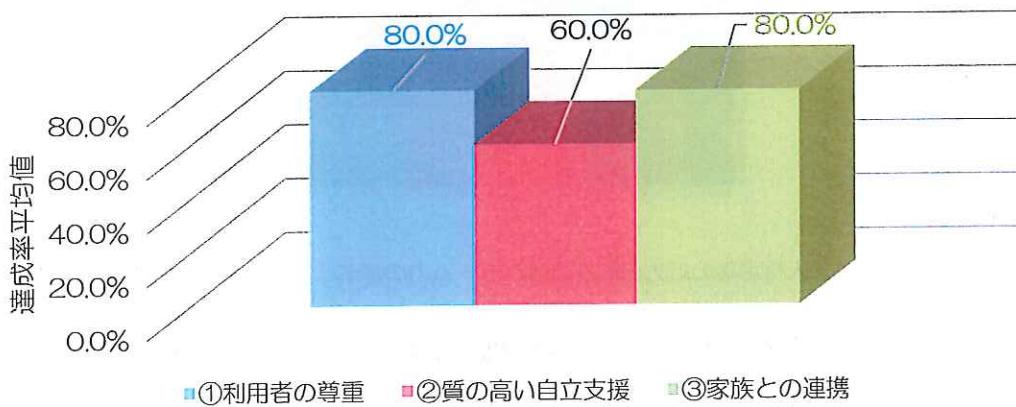


達成状況：①利用者定数を満たす→利用者の退所人数が昨年より少ないこともあり、稼働率を上げることができた。

②業務の見直しと経費節減→ICT化を進めてきたが、完全にシフトするには至らなかったが、今後も検討していく。

2) ケア第1（さざんか・コスモス）

(I) 利用者サービスの充実

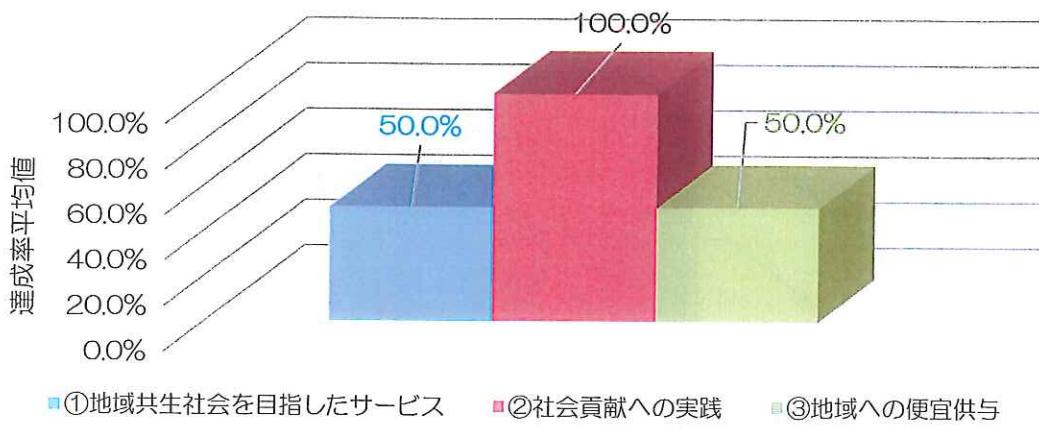


達成状況：①利用者の尊重→ご利用者の話を傾聴し、思いに沿った対応を心がけ実践した。

②質の高い自立支援→ケアプランに沿ったケアの提供を実践した。

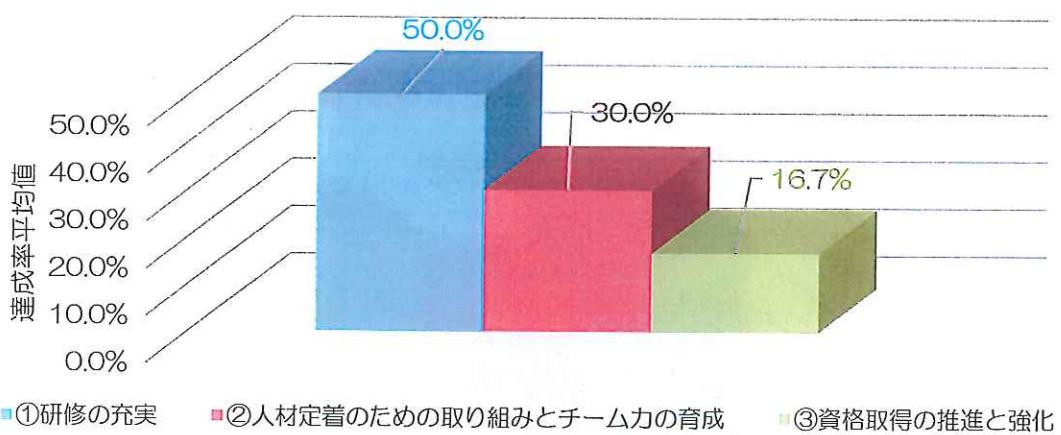
③家族との連携→面会時に近況を伝えるように努めた。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



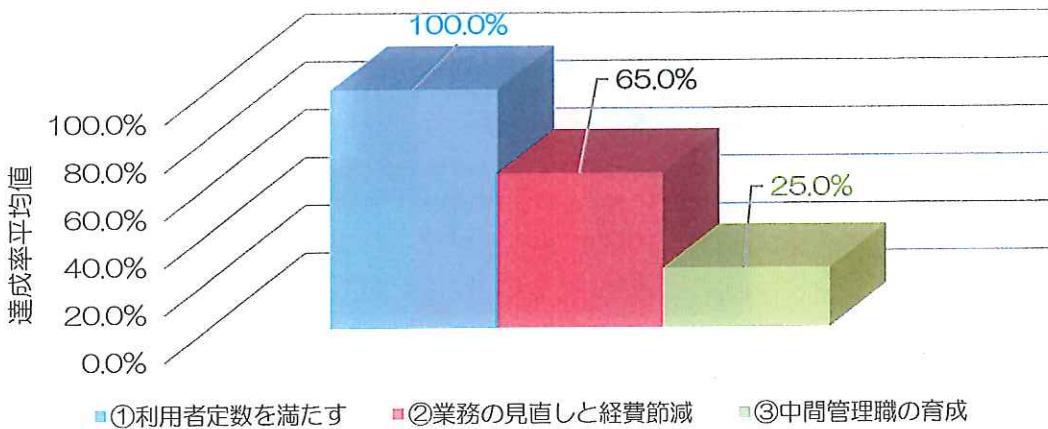
達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→数人ではあったが、外出の機会を設けることができた。
②社会貢献への実践→中学生の体験学習、高校生のインターンシップの受入れを行った。
③地域への便宜供与→慰問にご利用者に参加して頂き、交流の機会を提供することができた。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→昨年よりも外部研修への参加は増えたが、特定の職員しか参加できており、
参加者が増えるように今後促していく。
②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→コミュニケーション不足が目立ち、連携が
上手く図ることが出来なかった。
③資格取得の推進と強化→情報が無く、推進を行うことが出来なかった。

(IV) 環境の変化に適応する経営

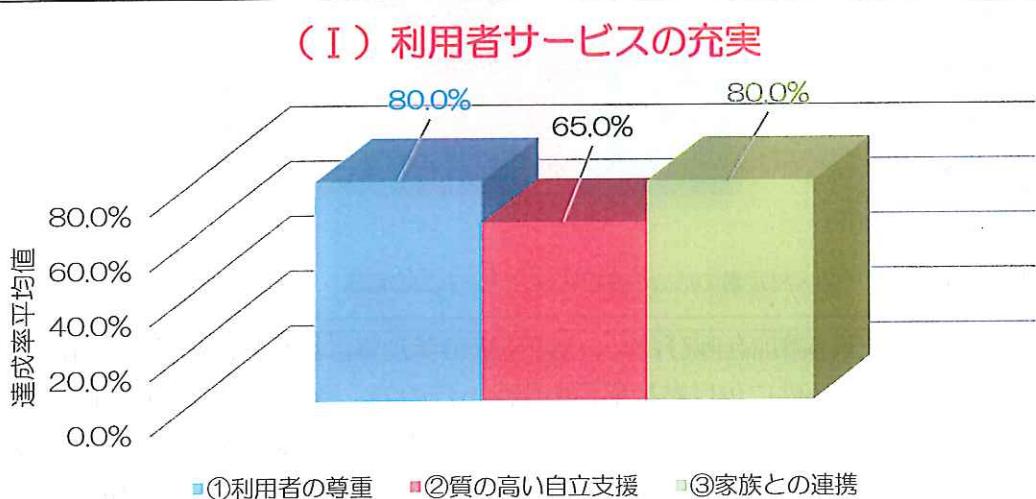


達成状況：①利用者定数を満たす→一般棟での対応が難しい方でも受け入れを行い、空床期間をあけないように努めた。

②業務の見直しと経費節減→リフトの使用、スライディングシート、ボードを活用し、体の大きい方の介護負担を減らした。オムツ交換の分散等を検討し、更に負担軽減に努めていく。

③中間管理職の育成→リーダーとのコミュニケーションを密にとるよう努めて実践してきた。

3) ケア第2（陽だまり）

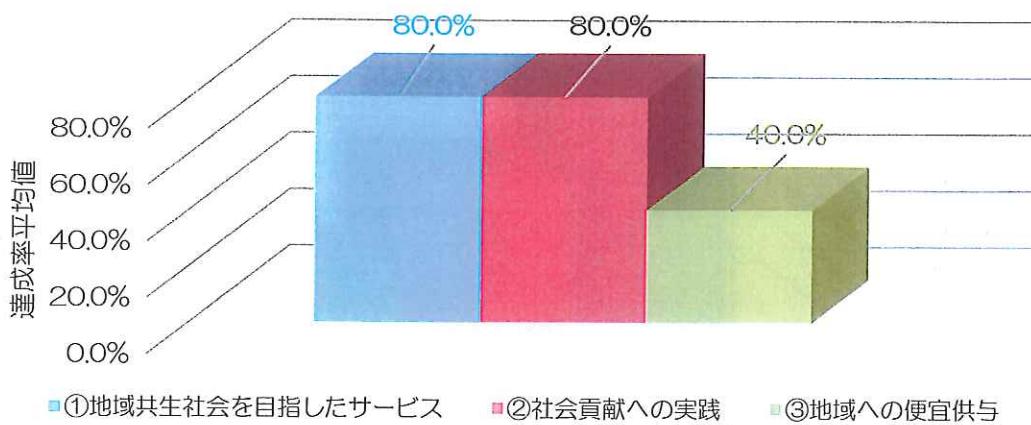


達成状況：①利用者の尊重→ご利用者の人権を尊重し、日々個々に合わせたご利用者主体のケアに努めた。

②質の高い自立支援→業務の見直しをこまめに行つた。書類の ICT 化を進め、情報共有が円滑に行えるよう努めた。

③家族との連携→ご家族面会時に近況をお伝えするよう努めた。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

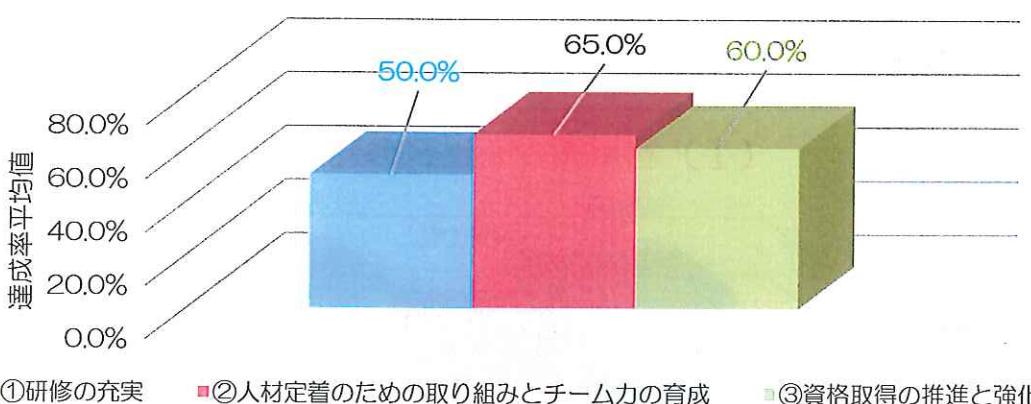


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→季節、時期に合わせた外出イベントを行った。（春・秋の遠足等）

②社会貢献への実践→地域イベント（厚木駅伝大会）等に職員が参加。

③地域への便宜供与→慰問にご利用者に参加して頂き、交流の機会を提供することができた。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

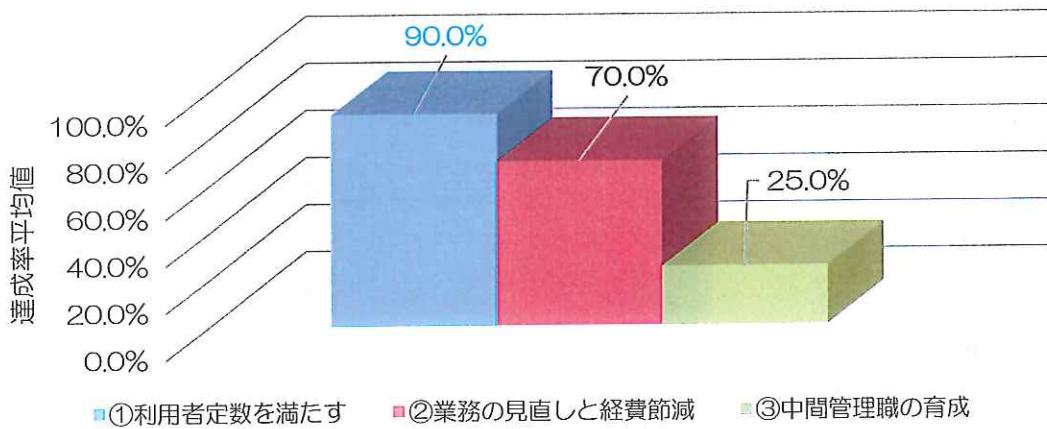


達成状況：①研修の充実→研修参加を呼びかけ、内部研修の参加率は増加したが、外部研修への参加は、積極性に欠け参加率が少なかったので、今後説教区的な参加を促していく。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→職員の意見を取り入れ、業務環境の見直しをこまめに図るよう努めた。

③資格取得の推進と強化→介護福祉士取得者 2 名、初任者研修資格の受講を促していく。

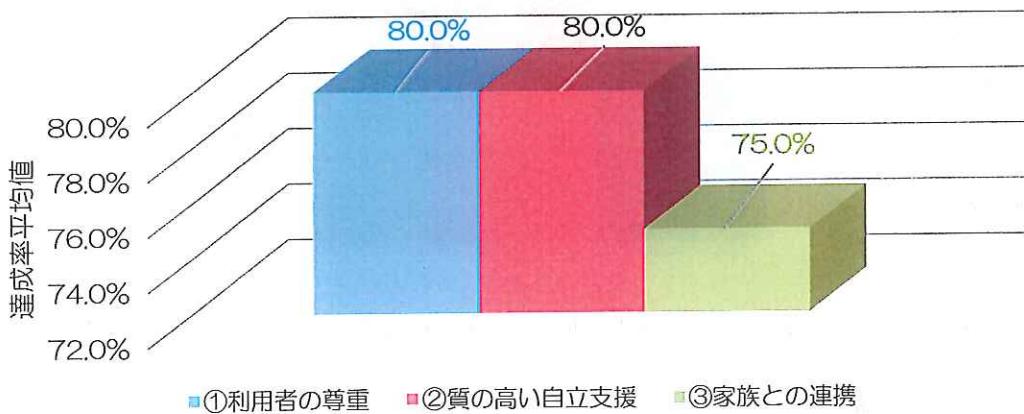
(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→対応が困難な方でも受入れを行い、空床期間の減少に努めた。
②業務の見直しと経費節減→一年を通して、食事・排泄・入浴の情報を ICT で入力できた。
③中間管理職の育成→役職とのコミュニケーションを密に取るよう努め、実践してきた。

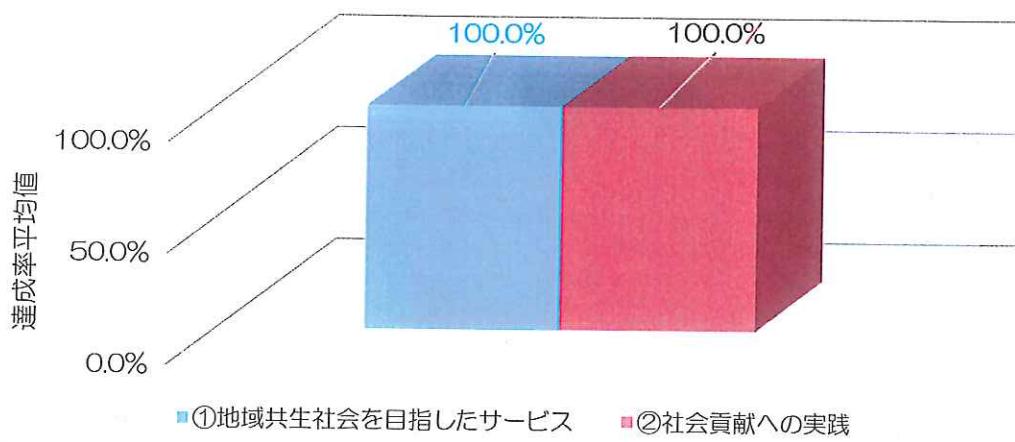
4) ケア第3(さくら・ひまわり) [特別養護老人ホーム ユニティ けいわ]

(I) 利用者サービスの充実



達成状況：①利用者の尊重→入所者個々の尊厳を大切にし、できる限り入所者の意向に沿った個別ケアの実践に努めた
②質の高い自立支援→定期的にケース会議を行うことができた。
③家族との連携→ご家族が面会に来られた際は、担当や当日出勤の職員より、近況報告に努めた。

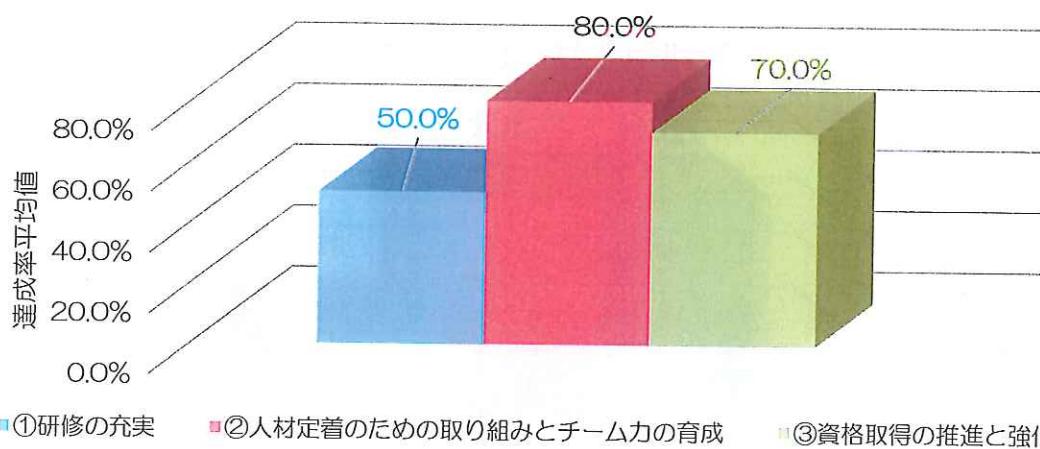
(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→予定されていた日程の地域密着会議を実施することができた。

②社会貢献への実践→空床ができた際、短期入所者を受け入れた。(1 件)

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

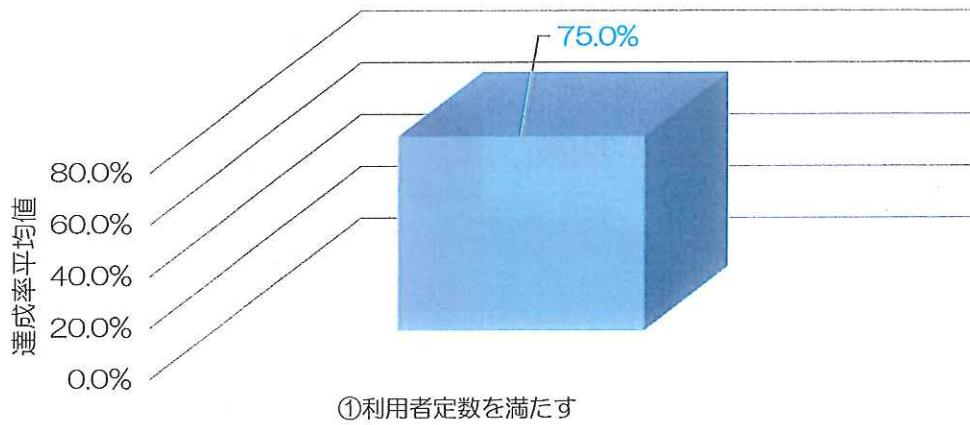


達成状況：①研修の充実→施設内研修に関して平均して部署の約半分の職員しか参加できず、出席率が低かった。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→業務の見直しを行い、周知徹底ができた。

③資格取得の推進と強化→介護職として必要と思われる情報は、隨時伝えるよう努めた。

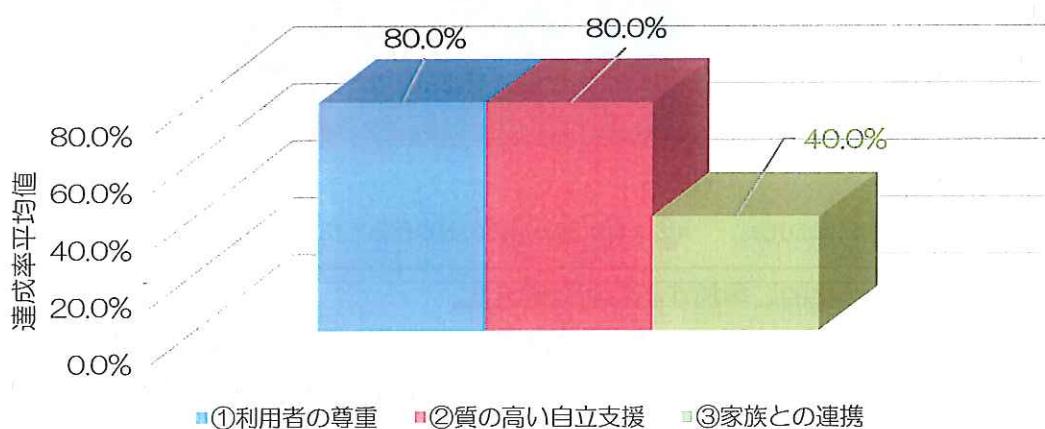
(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→一年を通して、食事・排泄・入浴の情報を ICT で入力できた。新たな入力項目を増やしていくことに関しては、来年度少しづつ推進していく。

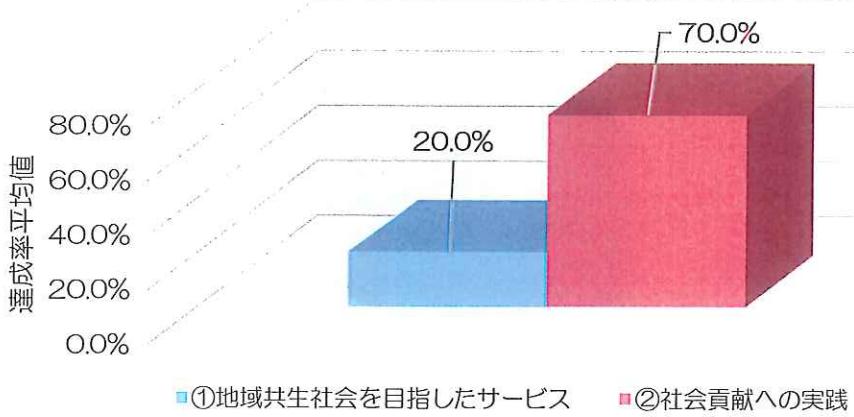
5) 施設ケアマネジャー

(I) 利用者サービスの充実



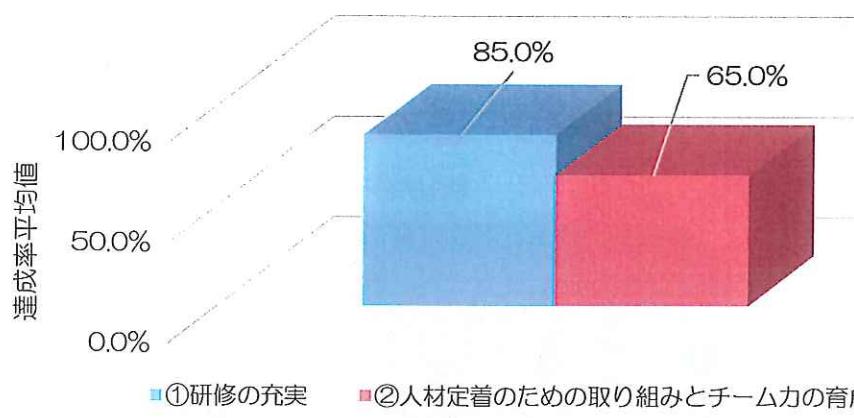
達成状況：①利用者の尊重→ご意向に沿った計画の作成に努めた。
②質の高い自立支援→日々の状況を担当や看護師等にこまめに聞き取りを行うよう努めた。
③家族との連携→面会や外泊外出等ご家族の協力が得られるケースがあった。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

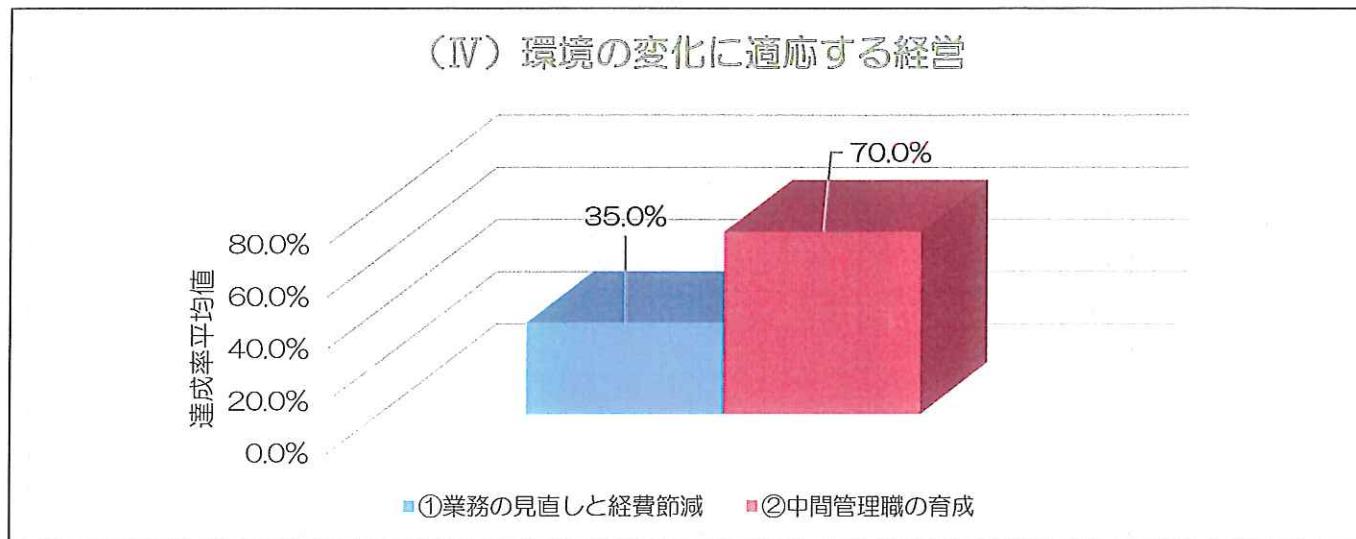


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→外出の機会を提供することが少なかった。
②社会貢献への実践→ボランティアとの交流の機会がつくられた。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

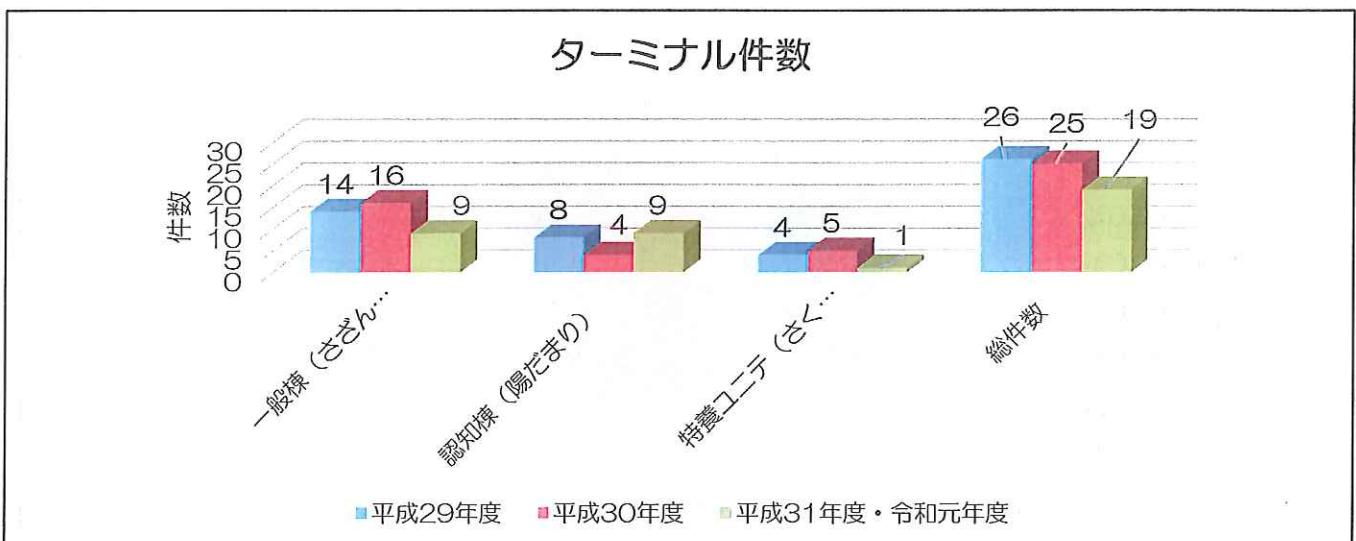


達成状況：①研修の充実→積極的に参加することができた。
②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→ケアマネ業務への興味関心をもっていただけるよう施設ケアマネ業務を明確化していくべきだ。

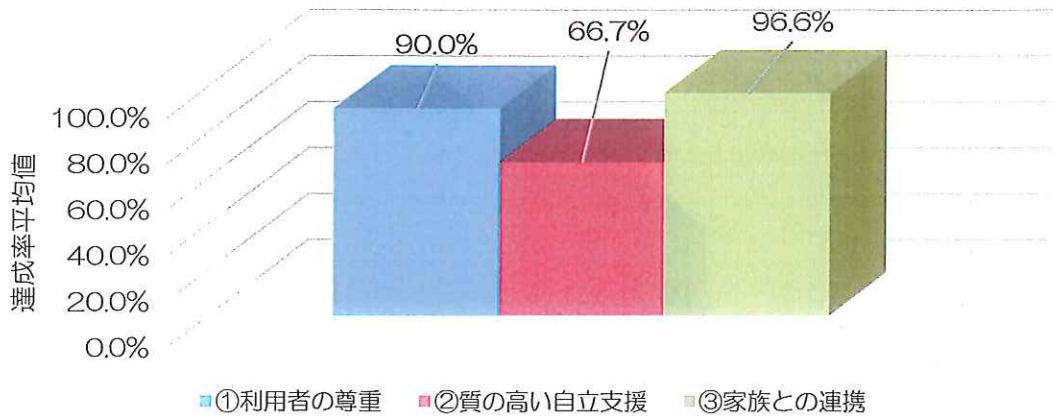


達成状況：①業務の見直しと経費節減→評価時期を明確に定めることで分かりやすかった。
②中間管理職の育成→1名のケアマネを増員し、担当の見直しや役割分担を行い、態勢を整え始めた。

6) 医務



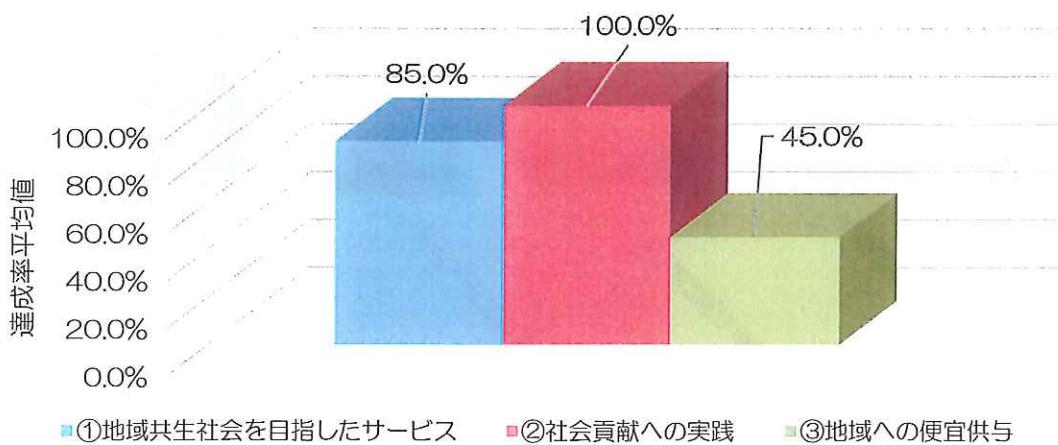
(I) 利用者サービスの充実



達成状況：①利用者の尊重→アヌムネーゼや日常生活における情報収集以外にもご家族等から聴取していく。

- ②質の高い自立支援→施設内においてはできているが、在宅部門の職員と連携を進めていく。
③家族との連携→休日に面会に来られるご家族に対して必要があれば話し合いをセッティングしていく。

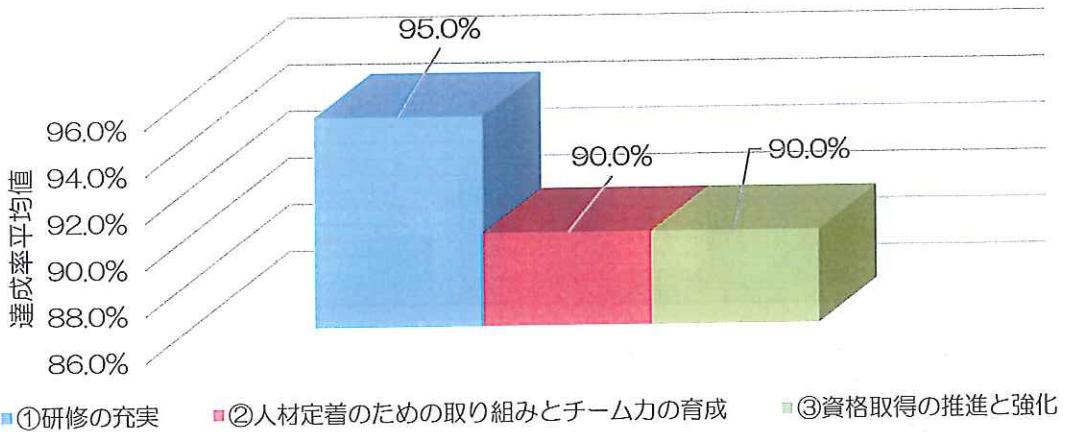
(II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→要医療の方の受入れもできている。トラブルに注視していく。

- ②社会貢献への実践→徳用の看護師、社会的役割を理解してもらえるような指導に心掛ける。
③地域への便宜供与→在宅のかかわりが少ないため、外部研修を通して知っていく。その中で横の繋がりに発展するような関係を目指す。

(III) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

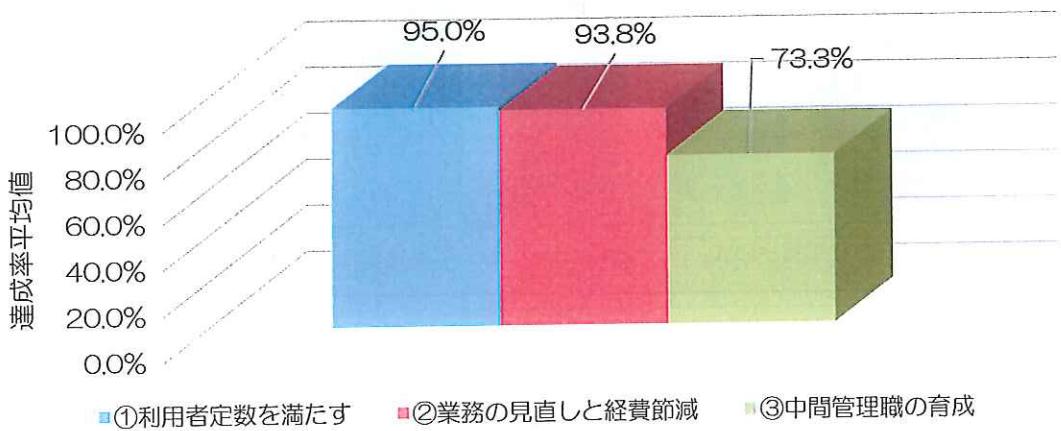


達成状況：①研修の充実→チーム力を高めていく上でも必ず参加していく。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→コミュニケーションを通して確認していく。
また、不足している点については、補つていけるよう努める。

③資格取得の推進と強化→看護職で共有していく。

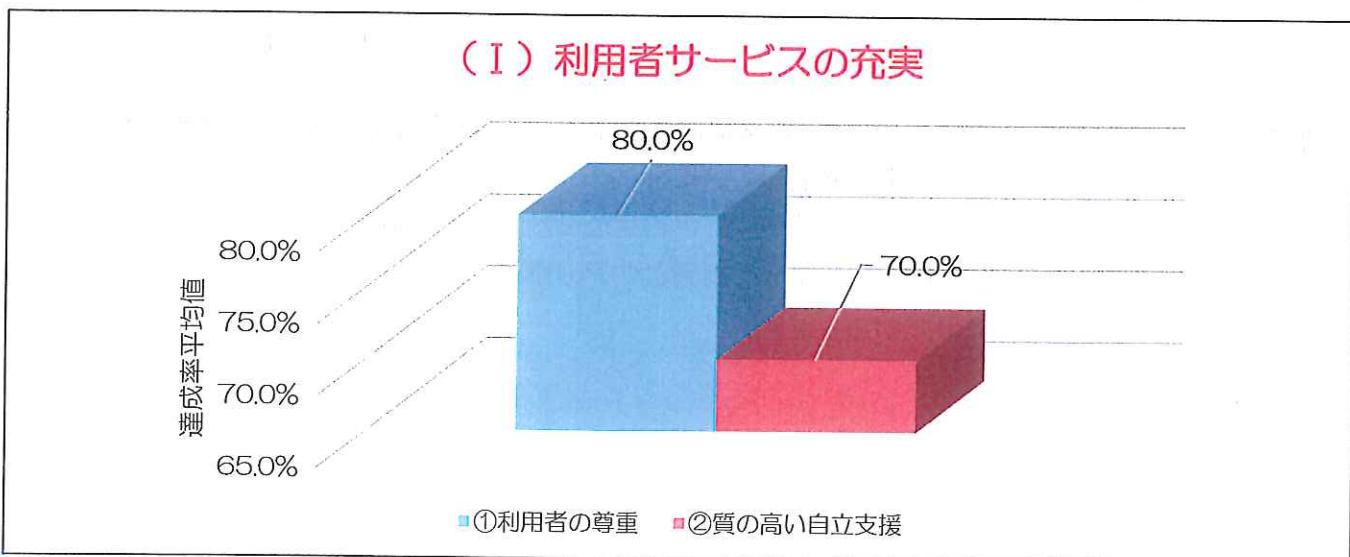
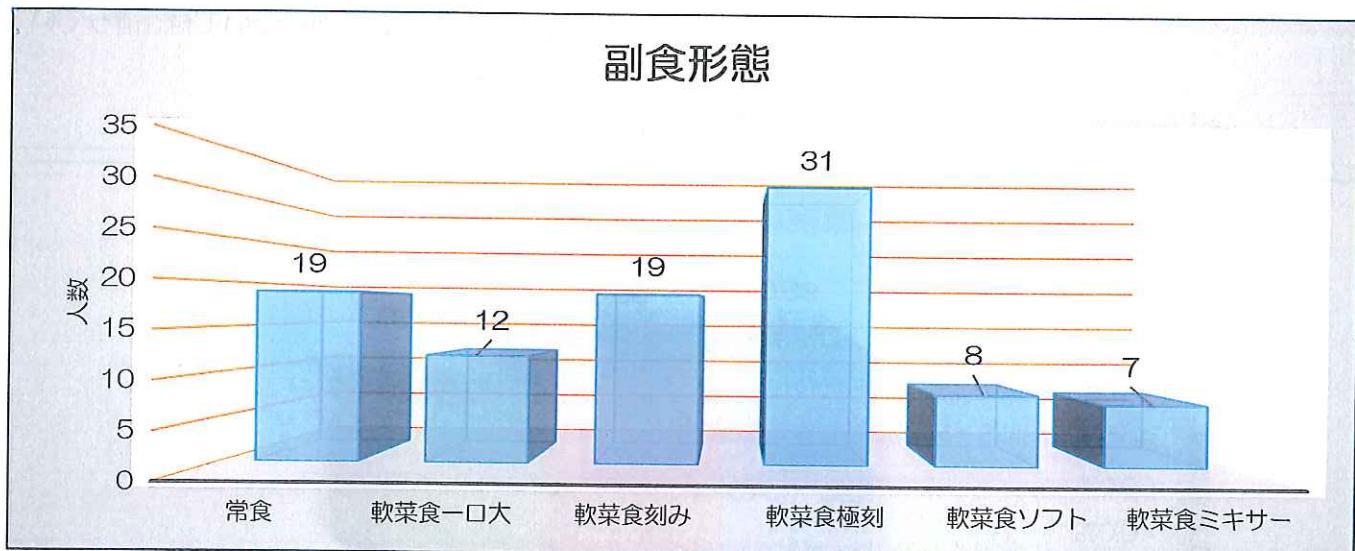
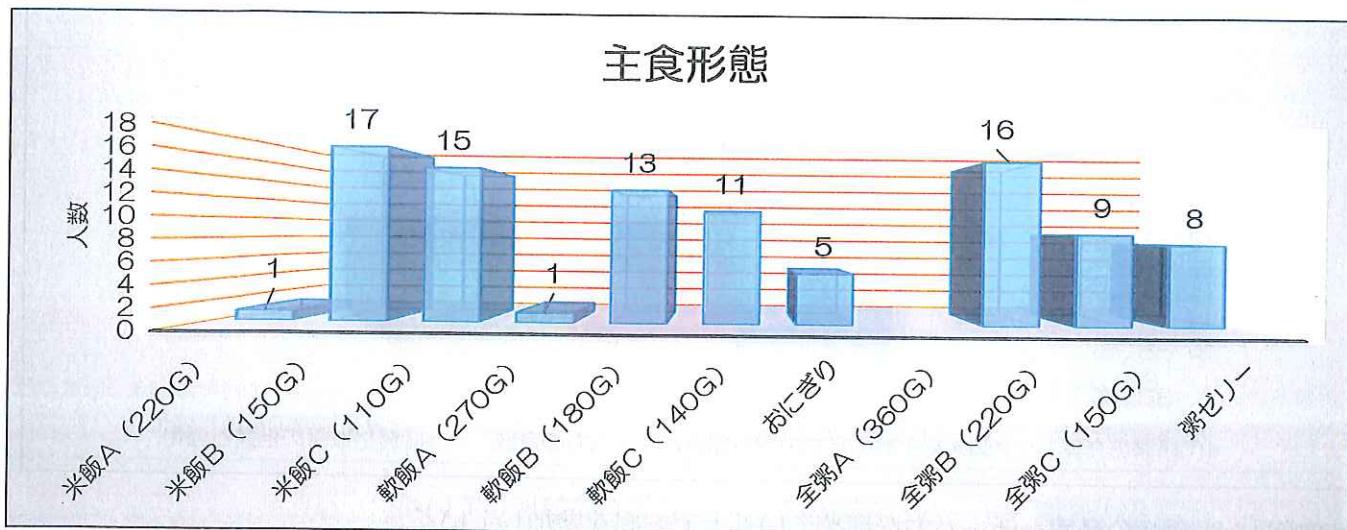
(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→急変するご利用者もいるため、予測不能なことにも対応していくよう準備していく。

②業務の見直しと経費節減→勤務体制に合わせた役割分担の実施。
③中間管理職の育成→医療的な部分の指導とケアの協力。

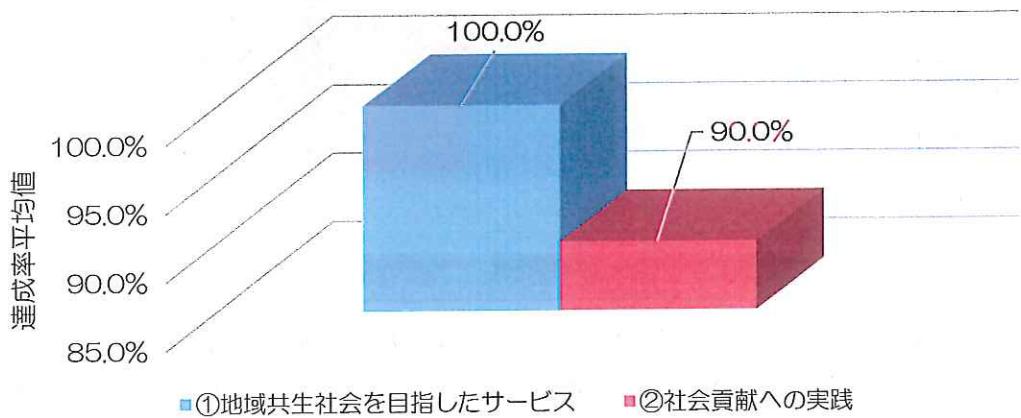
7) 栄 養 (経管栄養 1 名)



達成状況：①利用者の尊重→食事の軟らかさ、サイズ調整等を行った。（厨房作業の標準化）

②質の高い自立支援→ご利用者ごとに個別、新しい個別対応ある程度行うことができたが、栄養課の人員不足も相成って積極的介入までとはいかなかった。

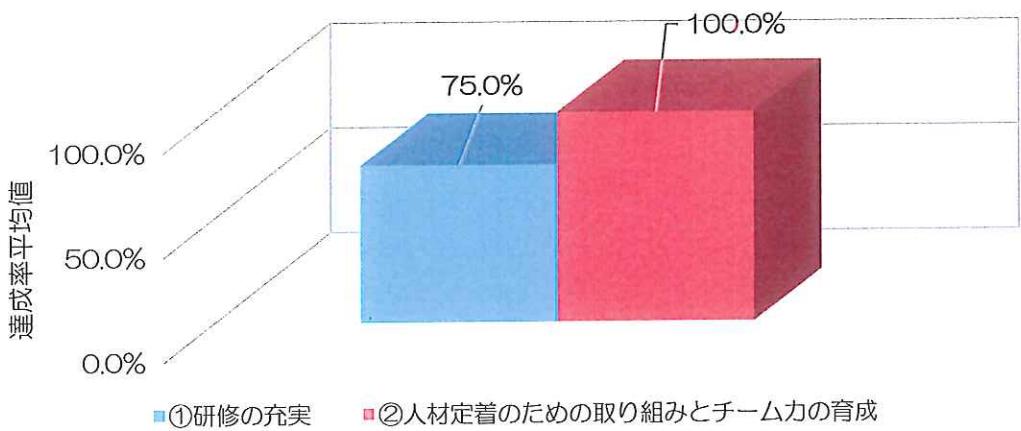
（Ⅱ）地域福祉サービスへの積極的な取り組み



達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→デイサービス、ケアハウスにおいて、定期的な栄養指導教室を行った。

②社会貢献への実践→地域の高齢者に対する仕出し弁当の提供を行った。

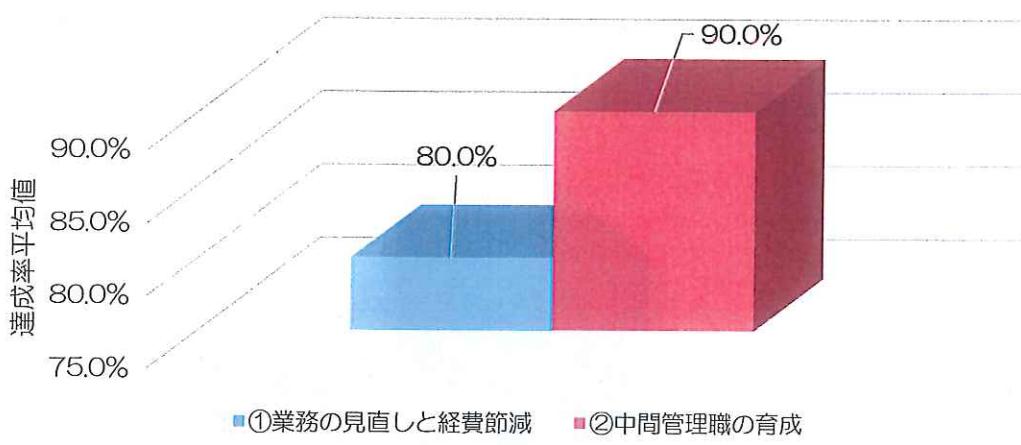
（Ⅲ）職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→定期的に敬和会栄養部門合同会議、研修を行い、栄養士・調理師のスキルアップを図ることが継続化された。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→定期的に業務内容のすり合わせ、コミュニケーションを取り、人員不足の中、業務を達成することができた。

(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①業務の見直しと経費節減→光熱水費・食材費等の経費節減に心掛けた。

②中間管理職の育成→敬和会栄養部門合同会議、研修等を通して栄養士・調理師のスキルアップを図ることができた。

2. 地域支援課

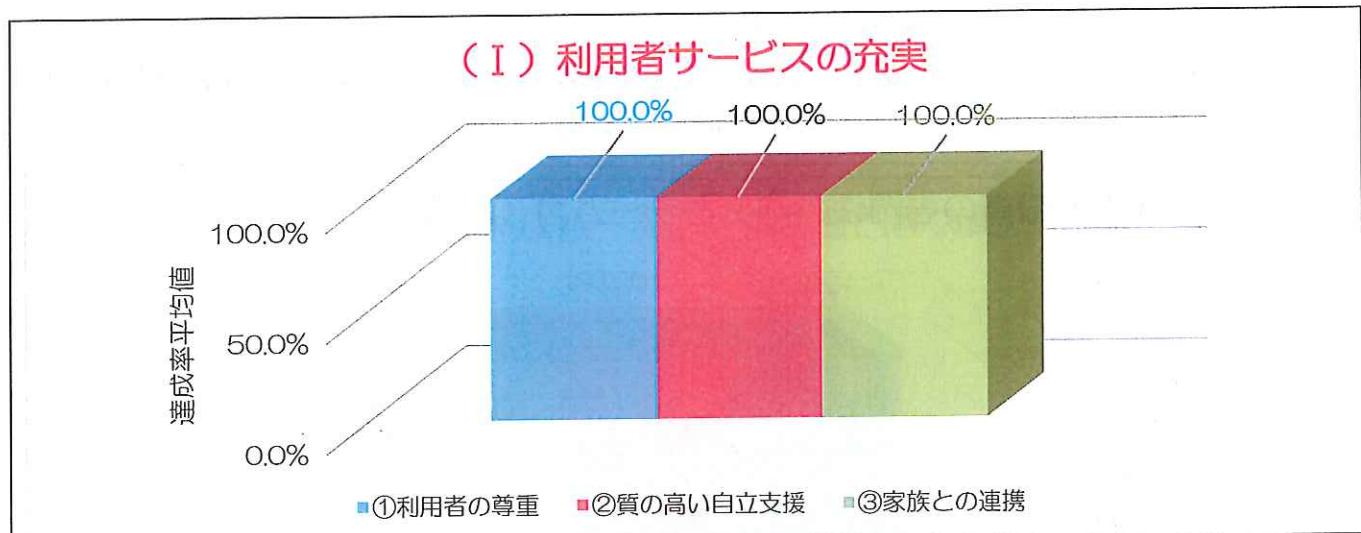
事業総括

ご利用者の意志及び人格を尊重し、経営理念の一つである「安らかなる老人の生き甲斐を育む」精神を重んじ、常にご利用者やご家族の立場に立ったサービスの提供に努めてまいりました。また、ご利用者が住み慣れた地域の中で、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立して健やかに安心・安全な日常生活を営むことができるよう生活環境の整備を側面から支援するとともに、生活意欲の高揚に繋がるキメ細やかな心のこもったサービスの提供に努めてまいりました。

さらに、在宅支援も地域包括ケアシステムによる医療・介護等に多職種との連携を強め、協働を図り、ご利用者が『安全・安心・快適さ』を体現できるよう努めてまいりました。

【居宅介護支援センターけいわ荘】

I) 居宅介護支援

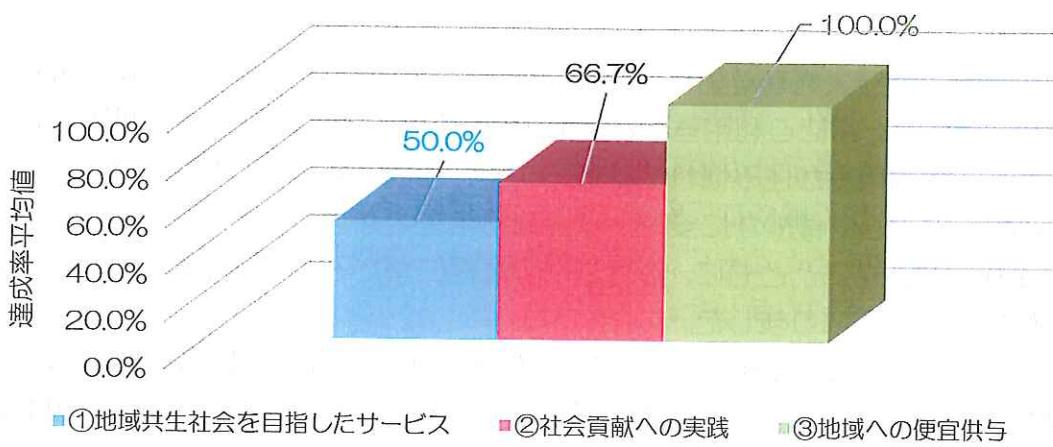


達成状況：①利用者の尊重→定期訪問時の面談にてアセスメント実施。思いを大切にしたケアプラン作成ができた。

②質の高い自立支援→本人で出来ることやご家族で出来ることもケアプラン上で反映することで、ご本人・ご家族の目標達成への意欲を引き出すことができた。

③家族との連携→ご本人とご家族との面談する時間を分け、話しやすい環境を整えた結果、ご家族の意向を細かく確認でき、ケアプランへ反映することができた。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

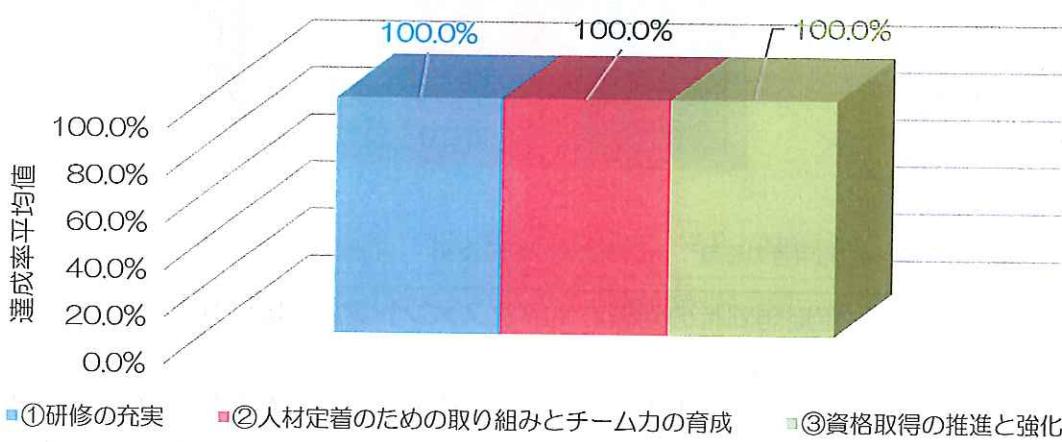


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→地域主催の活動は、声を掛けさせていただいた行事への参加はできた。

②社会貢献への実践→定期的に地域包括支援センターへ訪問し、地域の状況や新しい情報を確認、収集した。

③地域への便宜供与→困難ケースや他事業所からの多課題ケースを受入れ、包括支援センターと連携し、支援を行った。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

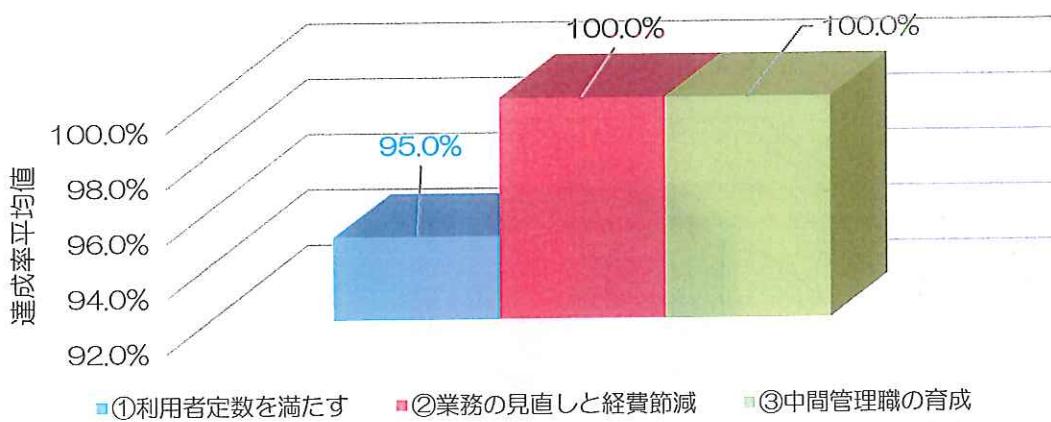


達成状況：①研修の充実→地域包括支援センター主催の研修への参加や厚愛地区ケアマネージャー部会にて運営委員として部会運営に携わり研修会の企画等を行った。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→週1回ミーティングを行い、ケース報告機会をつくることで、情報の共有が出来た。

③資格取得の推進と強化→今年度、主任ケアマネージャーの資格取得ができた。

(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→平均 35 件の達成はできなかったが、個々の能力を加味・評価しながら件数増加に努めている。

②業務の見直しと経費節減→裏紙の使用、ラインや SNS を活用した情報共有を行っている。

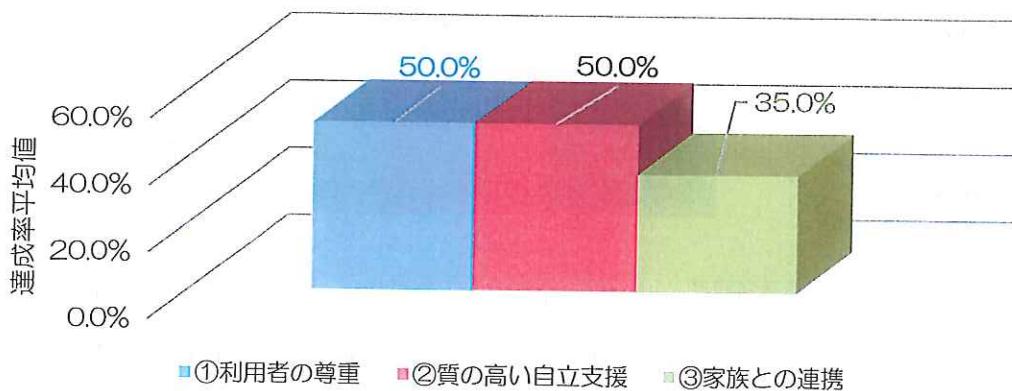
③中間管理職の育成→面談時に意向、現時点での課題を確認し、翌月までの目標を持つよう指導してきた。

居宅介護支援計画件数（前年度比）
+22.1%



II) 通所介護（定員 45 名/日）

(I) 利用者サービスの充実

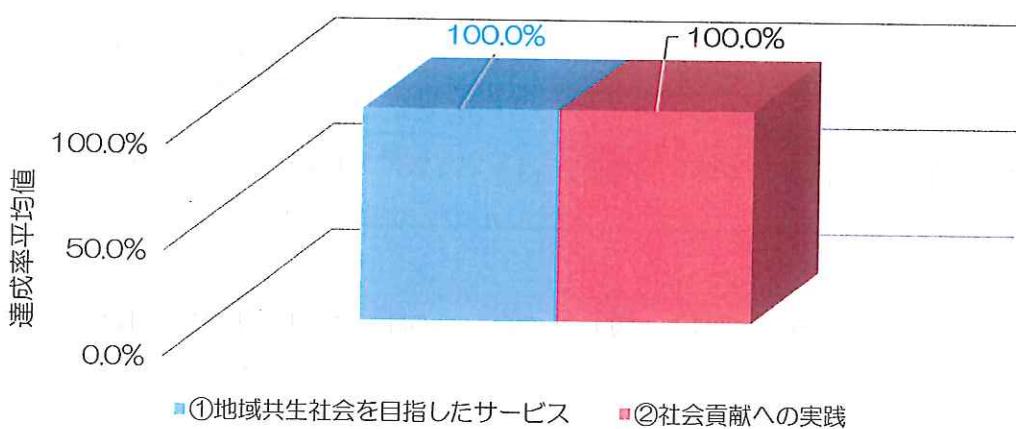


達成状況：①利用者の尊重→実施できていない。来年度は実施できるよう早めに計画を立てて調整していく。

②質の高い自立支援→日誌等は出来ているが、他は検討中である。

③家族との連携→連絡ノートの書式変更は来年度 6 月中に完成予定。

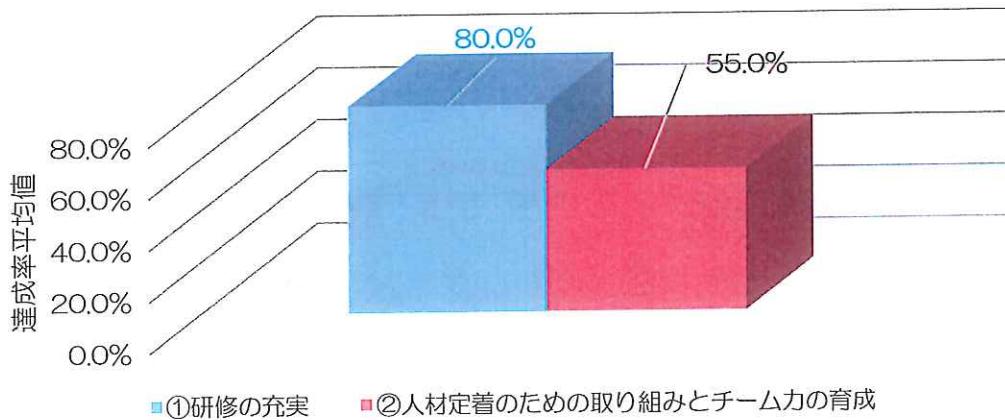
(II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→相談員を中心に連携、協働を行った。

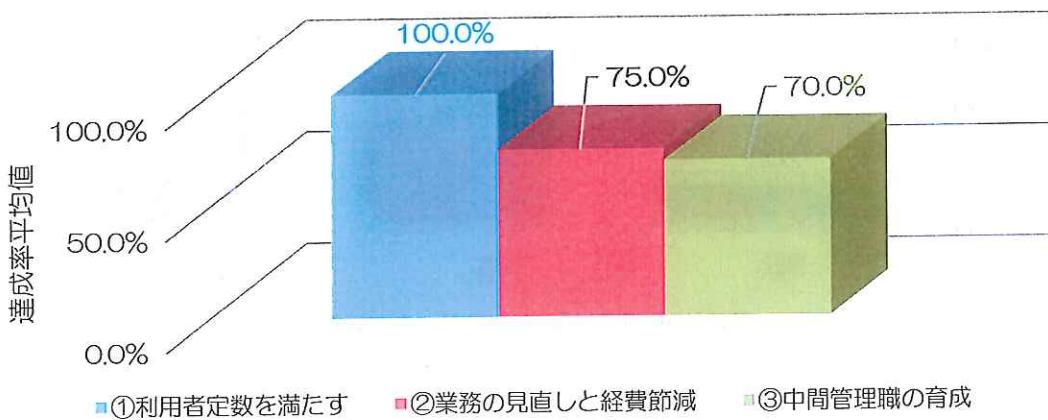
②社会貢献への実践→今後も継続して受入れを行っていく。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→計画したデイサービス内研修は行えている。
②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→“申し送りノート”で情報共有が出来ている。

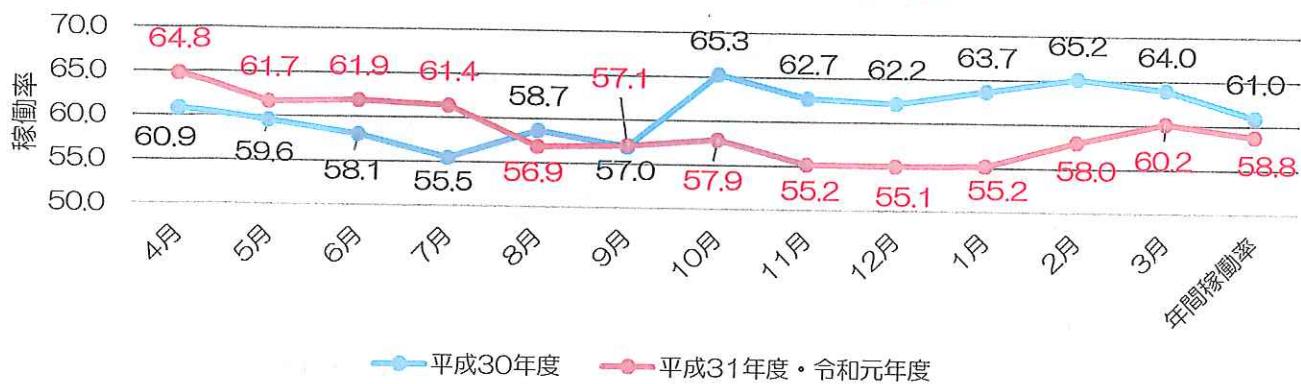
(Ⅳ) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→継続して受入れ努力をしていく。
②業務の見直しと経費節減→連絡ノートを“チェック式”にして効率化を目指す。
③中間管理職の育成→異動もあり、業務分担の見直しを行っている。

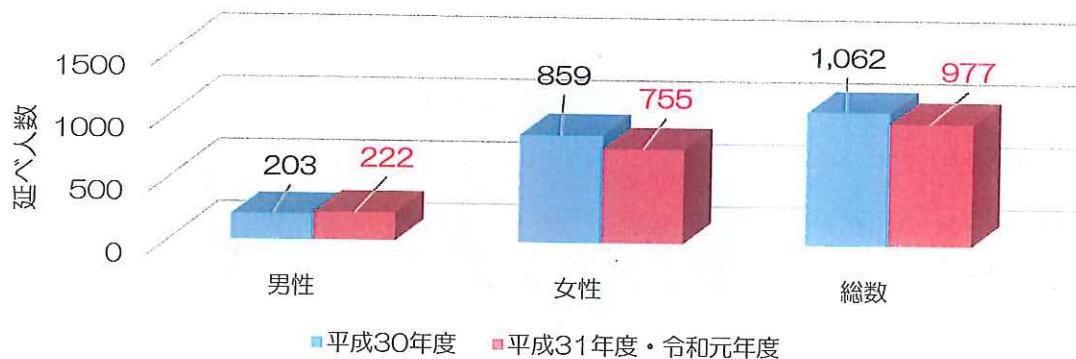
通所介護稼働率（前年度比）

-2.2%



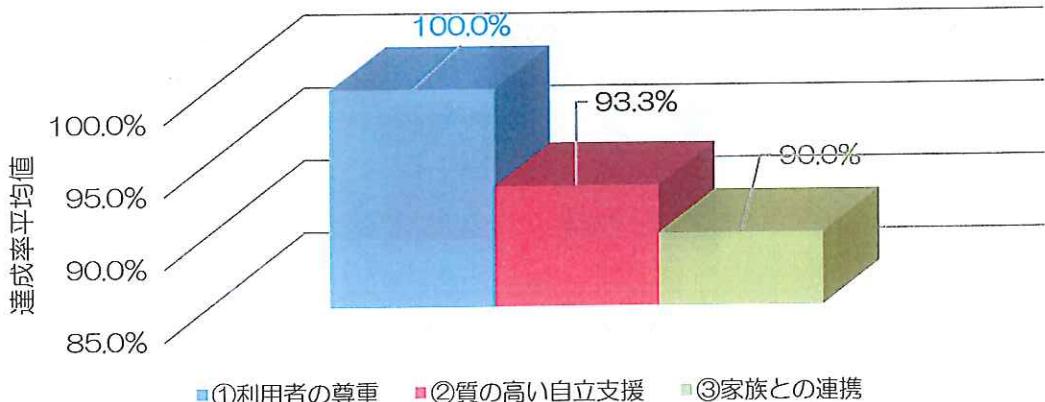
通所介護ご利用者延べ人数（前年度比）

-8.0%



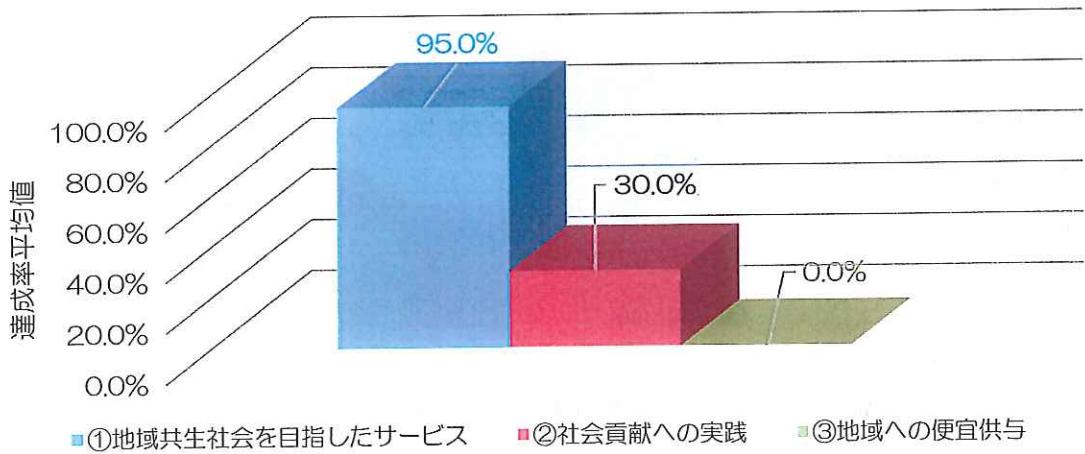
Ⅲ) 訪問介護（障害福祉を含む）

(I) 利用者サービスの充実



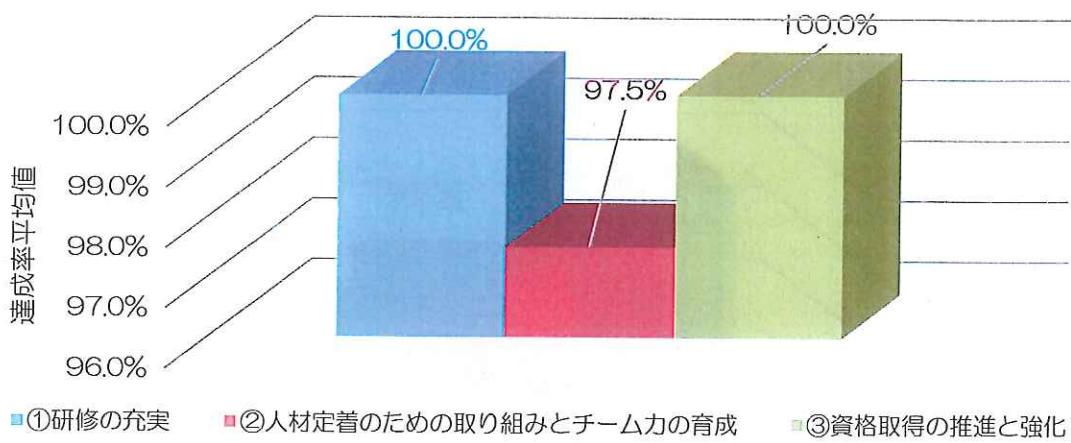
- 達成状況：①**利用者の尊重**→身体・居室の清潔保持や環境整備を行い、気持ちよく安全に生活ができるよう努めた。
②**質の高い自立支援**→掃除・洗濯や衣類の準備を一緒にを行い、身体の疲労や安全を確認しながら出来るよう努めた。
③**家族との連携**→内面を推し量るまでには至らないが、様々な知識を習得し、介護者の気持ちに寄り添うよう心掛けた。

(II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



- 達成状況：①**地域共生社会を目指したサービス**→包括支援センター主催の研修への参加・医療センター研修会・厚木愛甲地区主催研修会・障がい者基幹相談センター主催の研修会に参加して情報共有できた。
②**社会貢献への実践**→専門学生等による研修の受入れはなかったが、福祉に興味のある高校生を2名受入れ、同行訪問を行った。
③**地域への便宜供与**→地域包括支援センターと協働で、応急手当方法等地域の方々を交えて行う計画を立てたが、具体的な立案を提示することが出来なかった。

(III) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

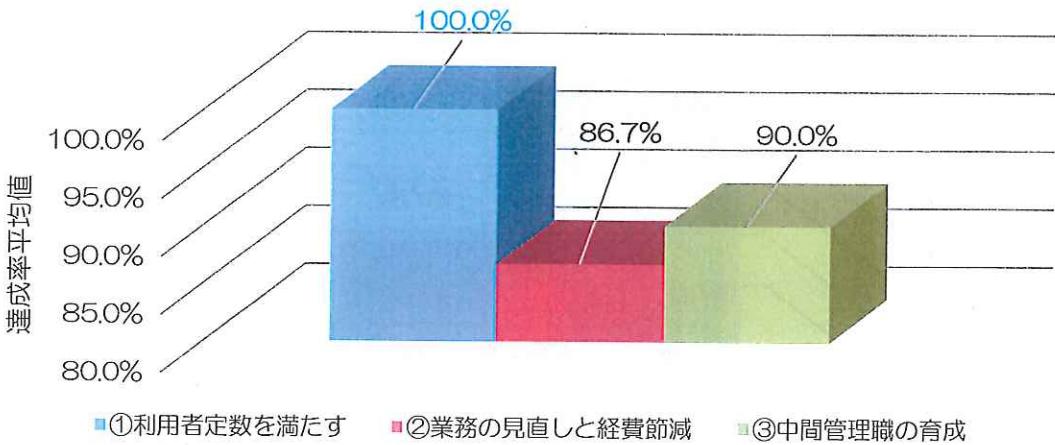


達成状況：①研修の充実→施設内研修への参加の他、ヘルパー会議時の定期研修を滞りなく行うことができた。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→日々のミーティングやヘルパー会議時に悩みや直面している課題を共有し、問題解決にあたった。

③資格取得の推進と強化→介護福祉士合格者 2 名。ヘルパー事業所 9 名中 8 名が介護福祉士取得者となった。

(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→空き状況を作らないように、急遽の訪問、短時間の訪問依頼の打診に对しても、断らず受け入れた結果前年度（同月）より利用者数 2 名増。実績単位数は 1,999 単位（一日平均）増加となった。

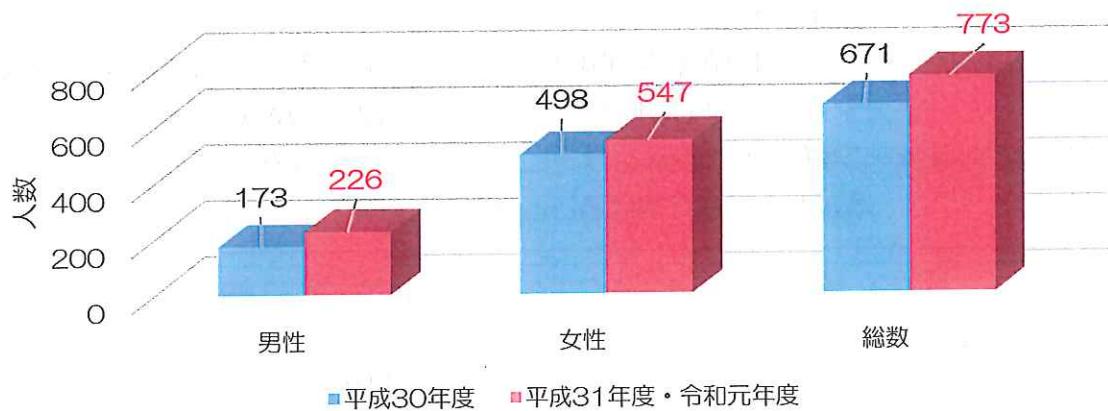
②業務の見直しと経費節減→サービス提供状況の報告・管理がスムーズの出来るように努めた。

③中間管理職の育成→サービス提供責任者の研修への参加や新規利用者の契約・担当者会議への出席など少人数ではあるが行った。

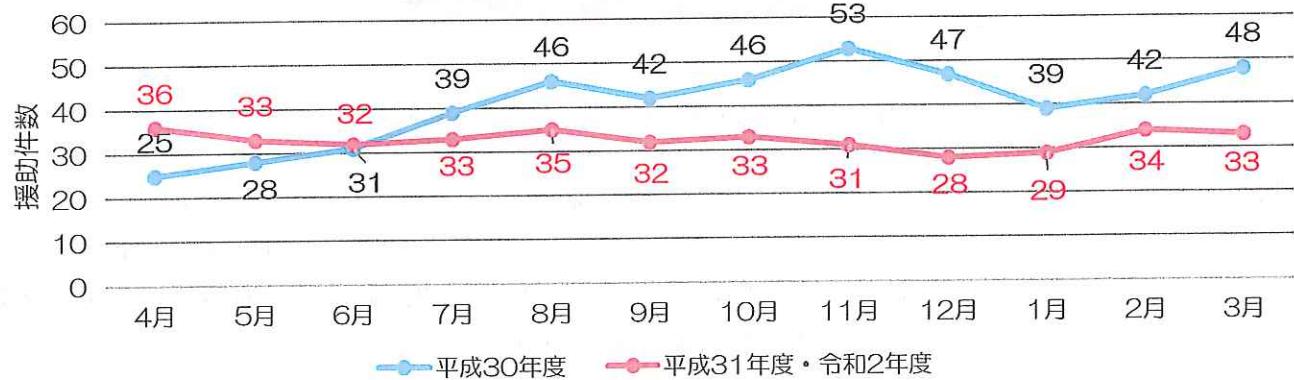
訪問介護訪問回数実績（前年度比） +16.3%



訪問介護年間ご利用者実数（前年度比） +15.2%

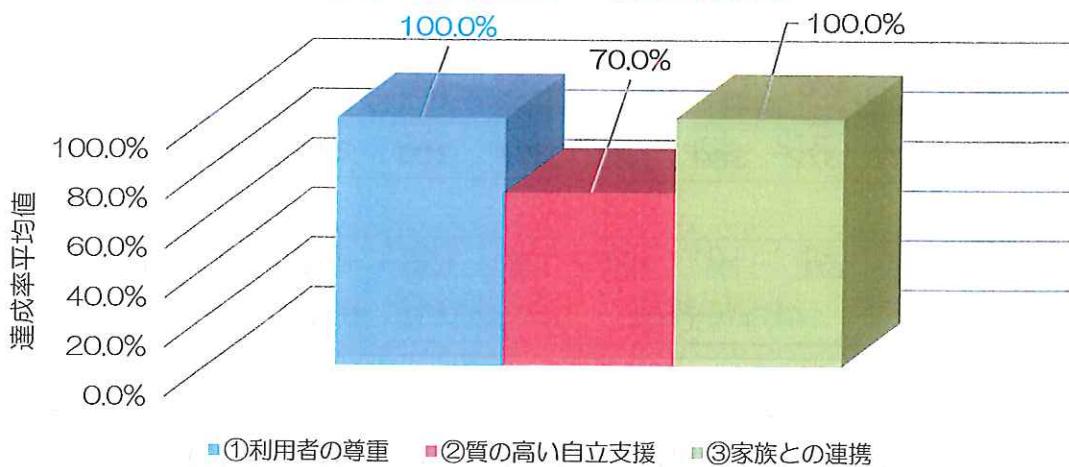


障害者自立支援援助件数（前年度比） -20.0%



IV) 短期入所生活介護

(I) 利用者サービスの充実

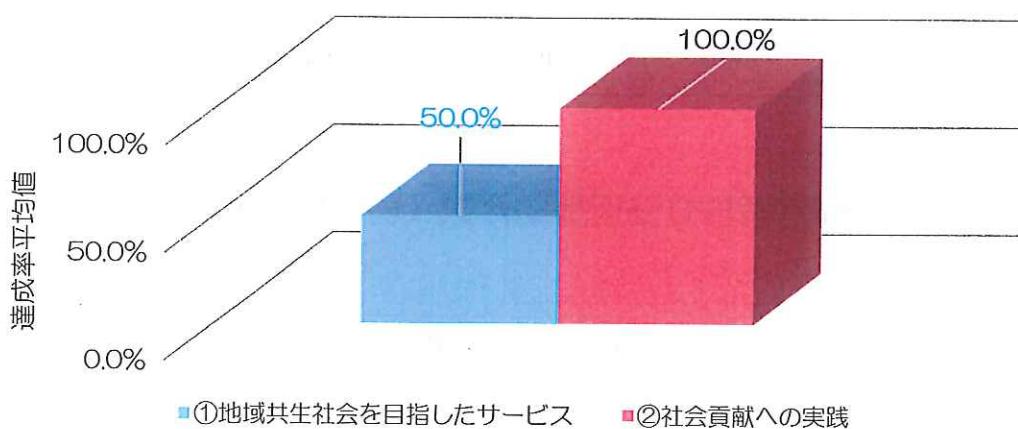


達成状況：①利用者の尊重→ご利用者・ご家族の思いに寄り添い支援した結果、クレームなく支援することができた。

②質の高い自立支援→ご利用者本人の出来ることを増やせるように情報収集したが、利用中に明確に ADL 向上へ繋げることが出来なかった。

③家族との連携→ご家族からの情報やサービスの情報収集に努め、それに基づいた介護計画を作成し、処遇に繋げることが出来た。

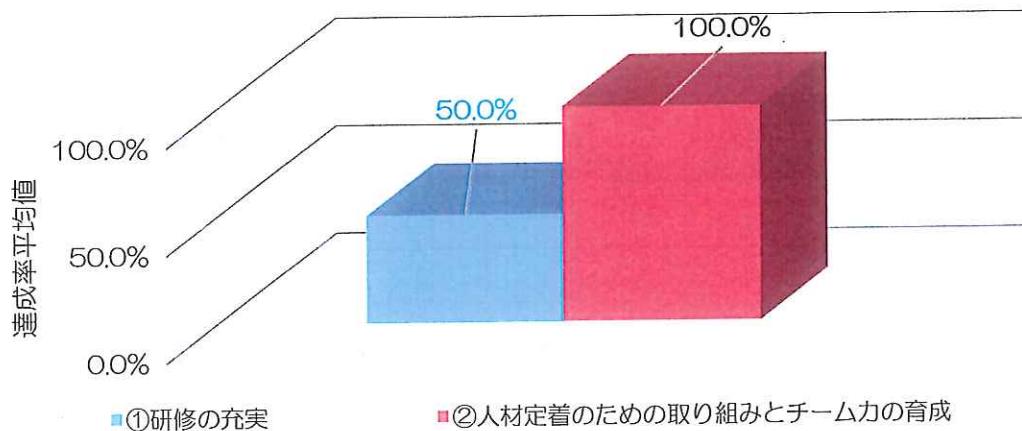
(II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→地域での活動への参加は出来なかったが、ご利用者の作品を展示し、来所者に見ていただくことが出来た。

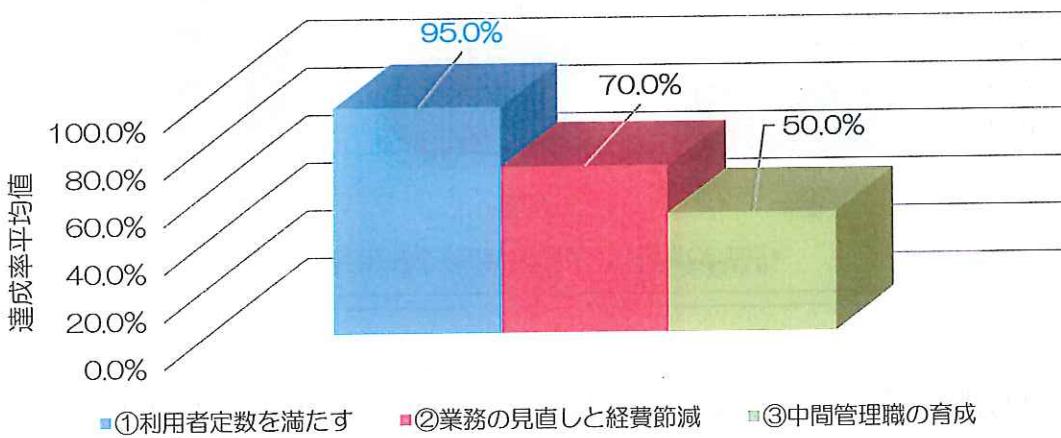
②社会貢献への実践→地域の相談支援事業所と連携し、ご利用者・ご家族が気軽に相談・利用できるような関係作りに努めた。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→施設内研修への参加は出来たが、外部研修への参加は出来なかった。
②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→気が利く・気がつく・気になるを介護サービスの基本としてご利用者を意識できる態度を心掛けた。

(Ⅳ) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→担当のケアマネージャーや関連の事業所との連絡を密に取り、必要な情報を得ながら稼働率向上に繋げることが出来た。
②業務の見直しと経費節減→パソコン等を使用し、情報を電子化し、紙媒体での情報管理を少なくすることが出来た。
③中間管理職の育成→自分の業務内容の見直しを行ったが、中間管理職の育成は出来なかつた。

短期入所生活介護稼働率（前年度比）

-5.2%



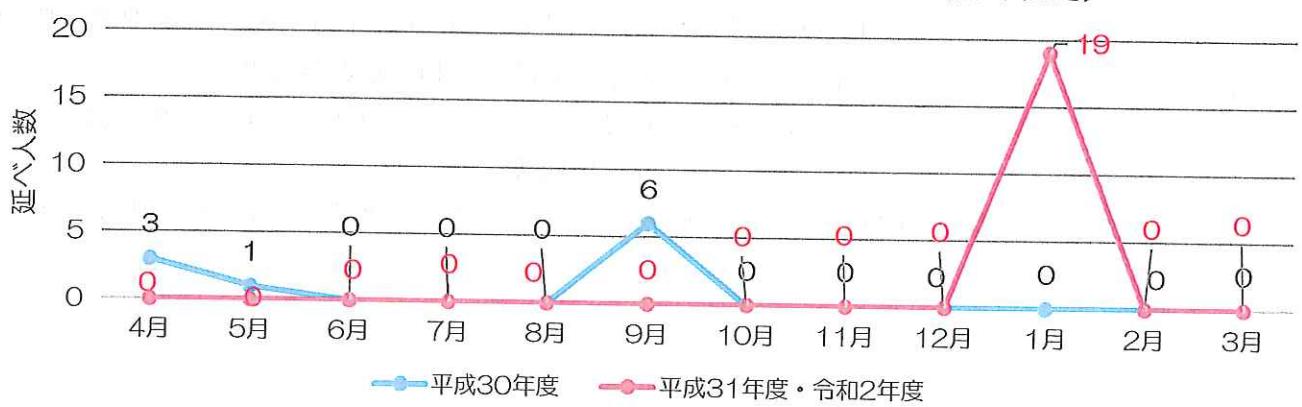
短期入所生活介護ご利用者実数（前年度比）

-12.5%

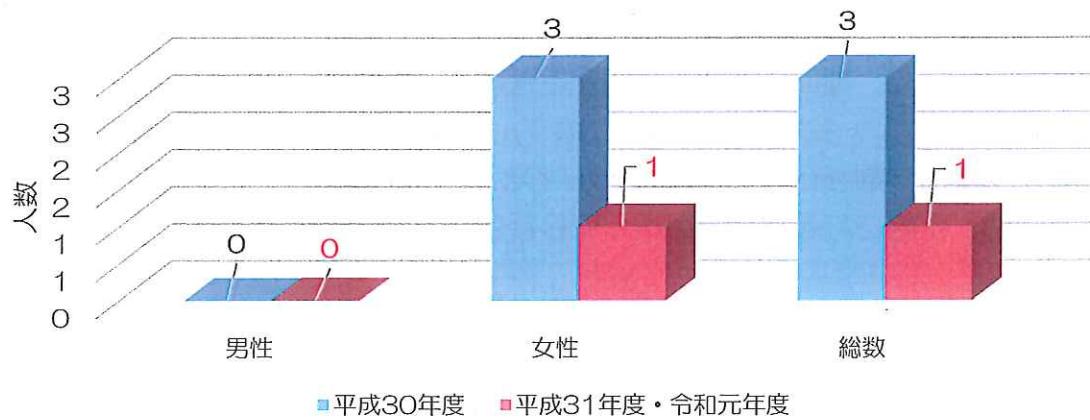


特別養護老人ホームユニークいわ短期入所延べ利用人数〈空床型〉

(前年度比)



特養ユニテ短期入所生活介護ご利用者実数（前年度比）
〈空床型〉

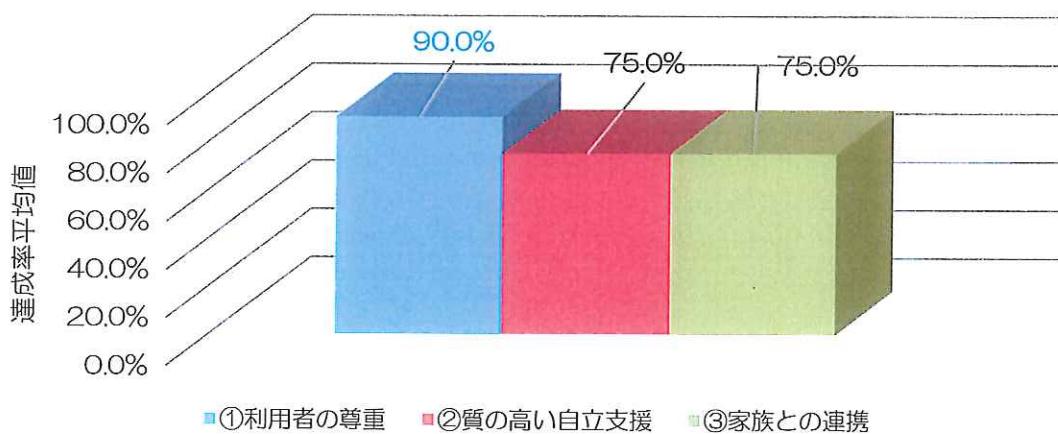


3. 萩野地域包括支援センター

事業総括

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、必要な支援や各関係機関への繋ぎを行った。幅広い世代に認知症を理解してもらうため認知症サポーター養成講座の定期開催を行い、オレンジジャー会では地域資源とのマッチングや劇団を立ち上げ、小学生向け認知症サポーター養成講座で寸劇を行って頂く。多岐にわたる業務内容であるが、常に地域に寄り添い、顔の見える包括、信頼される包括を目指し取り組むことができた。

(I) 利用者サービスの充実

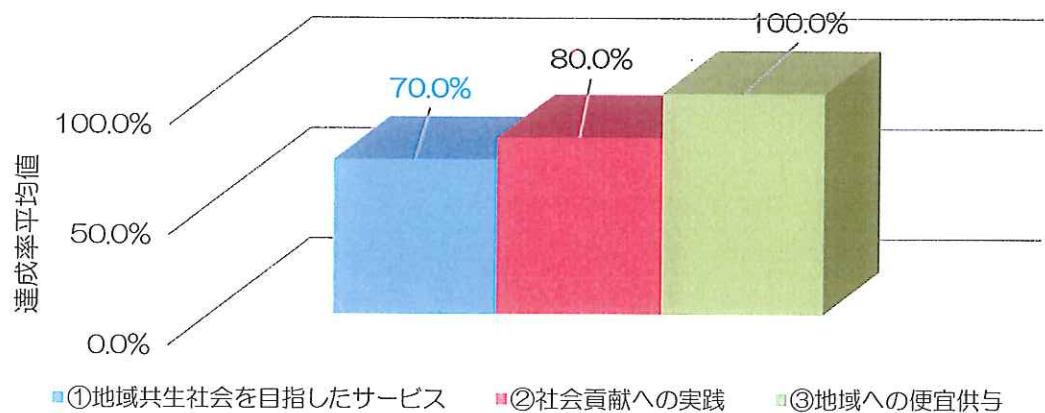


達成状況：①利用者の尊重→ワンストップ相談窓口として、あらゆる相談を一旦受け止め、包括で支援できることは迅速に対応、関係機関へ繋ぎ適切な対応を行うことが出来た。

②質の高い自立支援→認知症サポーター要請講座やオレンジジャー会を開催し、内容に認知症当事者の気持ちの理解を入れ、ちょっとした助け合いがあれば認知症になつても住み慣れた地域で多くの方に知ってもらい、活躍の場が必要であることを周知する。

③家族との連携→家族の思いを受け止め、必要な情報提供を行っている。

(II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



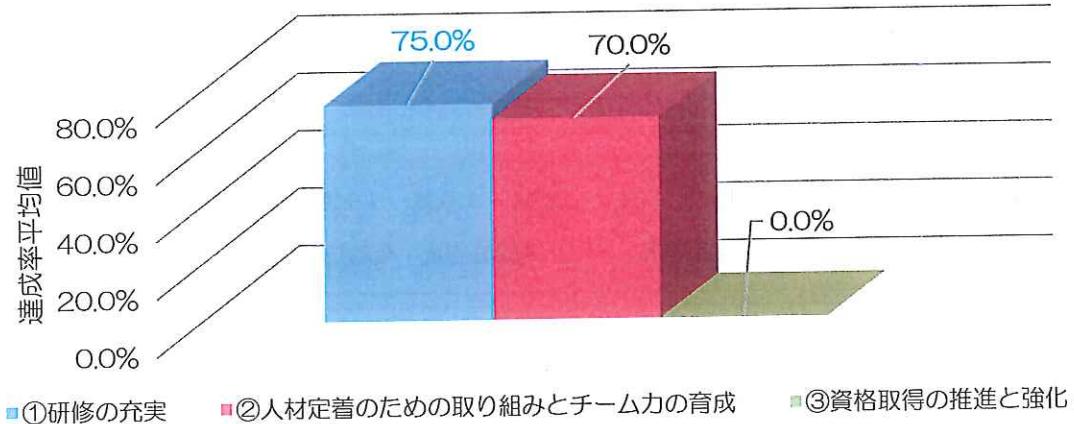
達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→オレンジジャー会と地域資源をマッチングし地域包括ケ

ア社会の構築の一歩を進めた。

②社会貢献への実践→地域福祉推進委員会には必ず参加し、地域の方に情報提供を行い、顔が見える包括に努めた。

③地域への便宜供与→グリーンカフェを地域の方に買い物帰りの休憩や会議等に活用していくなどくことができた。

(III) 職員の専門性の向上とチーム力(団結力)の強化

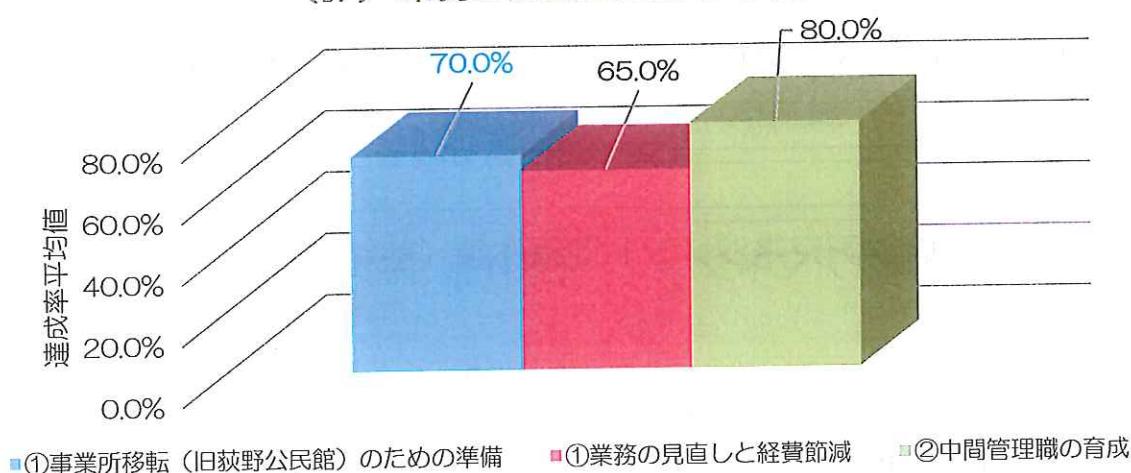


達成状況：①研修の充実→必要な研修については、積極的に参加を促した。

②人材定着のための取り組みとチーム力の強化→必要に応じてチーム支援を行った。

③資格取得の推進と強化→今後各人がスキルアップできるよう後方支援をしていく。

(IV) 環境の変化に適応する経営

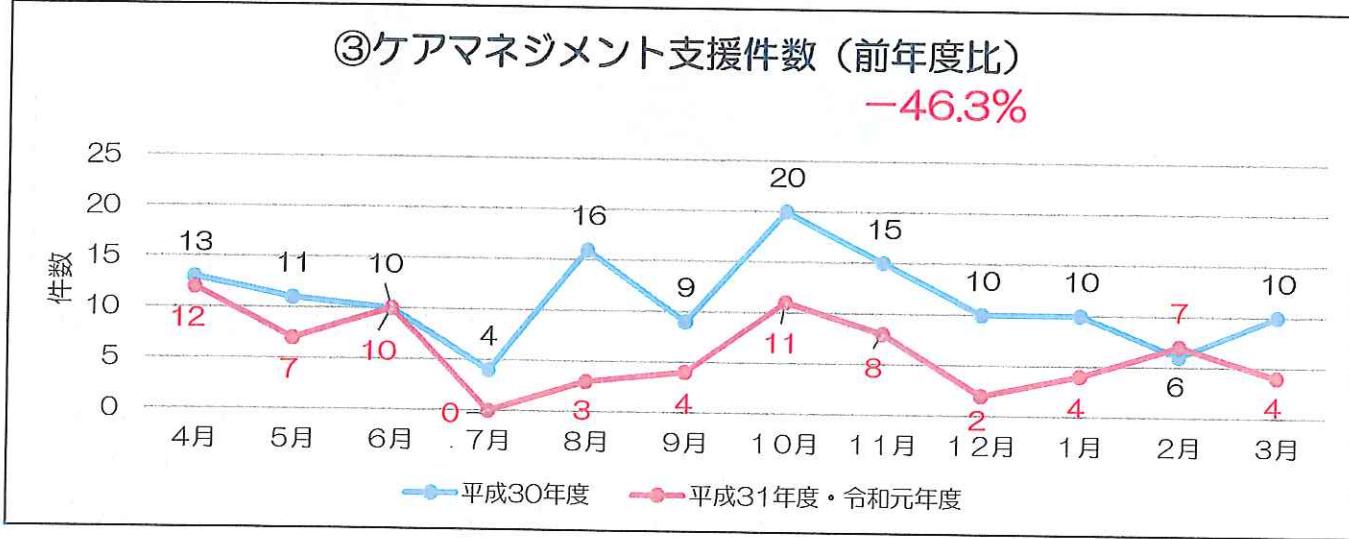
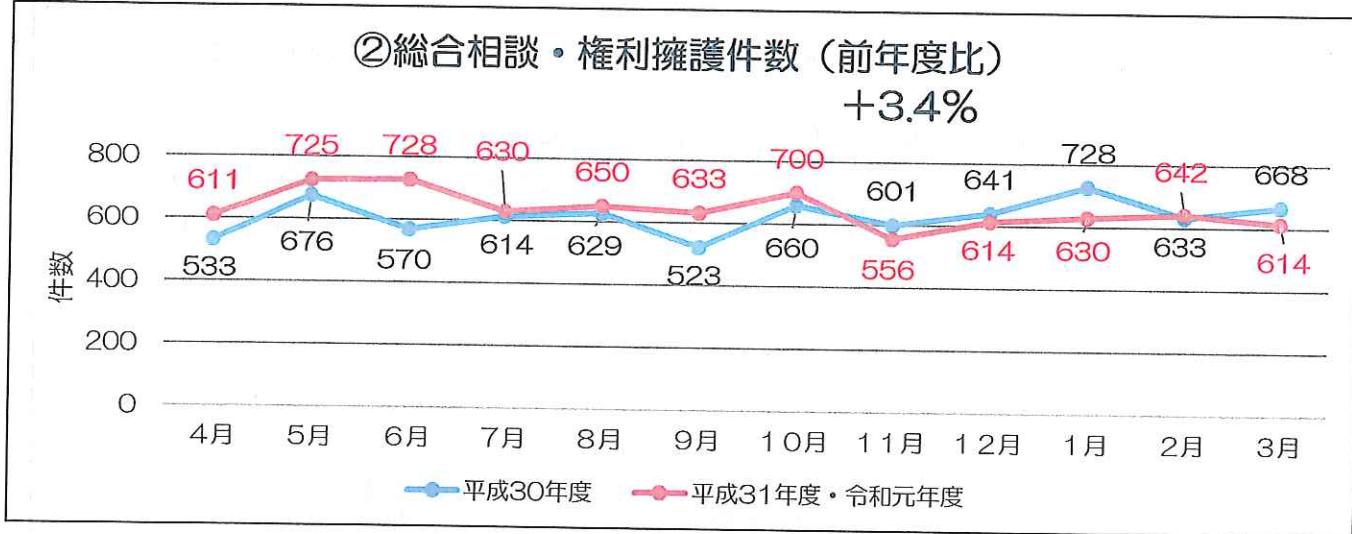
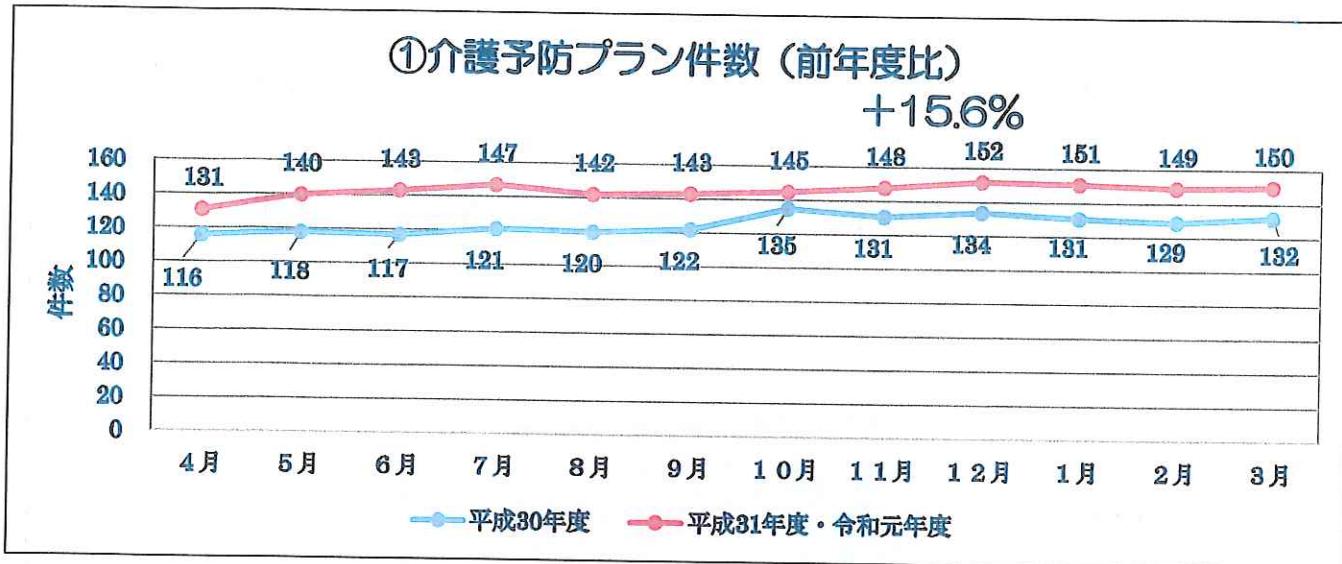


達成状況：①事業所移転（旧荻野公民館）のための準備→法人協力の下、無事に移転を済ませることができた。

②業務の見直しと経費節減→3職種の業務が散在し、業務量が個人で偏りがある。再度業務分担を見直し、効率よく業務が遂行できるよう工夫していく。

③中間管理職の育成→法人の経営理念を掲示、今後は法人の経営理念、心構えを意識し、各職員が専門性を發揮し、責任持って業務遂行していく。

Ⓐ 支援件数



④実態把握調査件数（前年度比） +38.9%

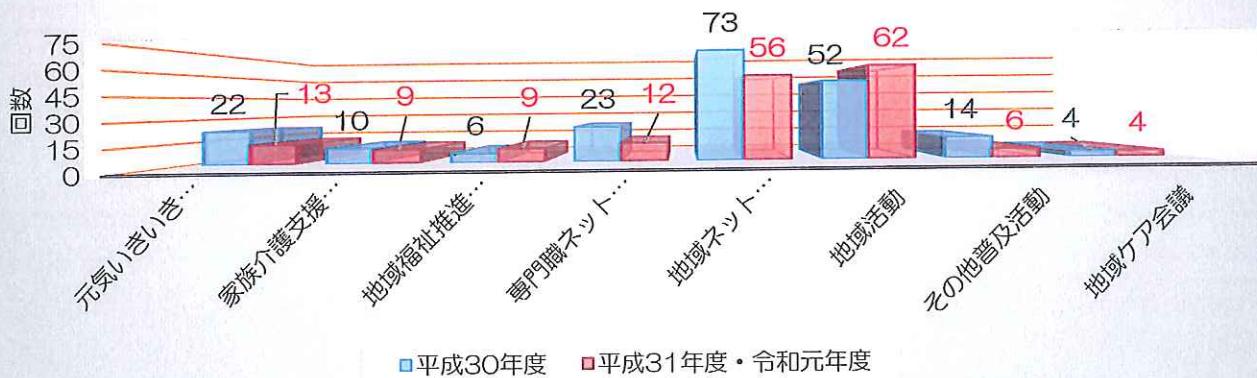


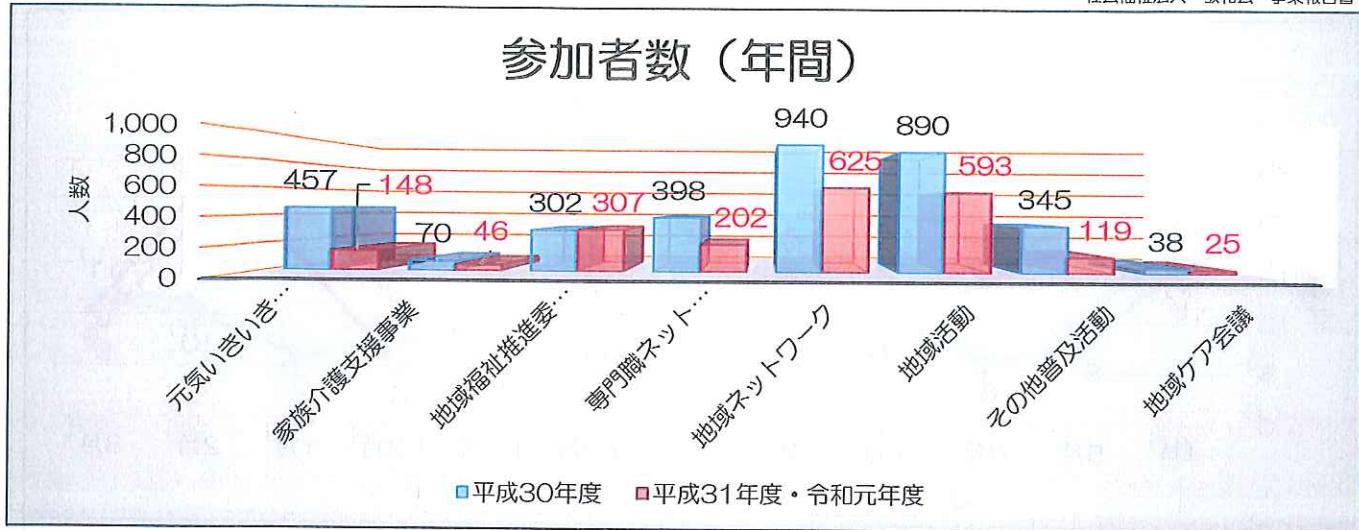
(B) 教室・相談・会議等の活動状況

〔主な活動内容〕

教室・相談・会議等	主な活動内容
元気いきいきネット	料理教室デモ・料理教室・一人暮らし食事会・地域茶話会
家族介護支援事業	おぎの介護家族会「若草」
地域福祉推進委員会	地域福祉推進委員会総会・サービス部会定例会議・健康部会総会 ボランティア部会記念講演・ラジオ体操講座
専門職ネットワーク	ケアマネ連絡会・第二層協議体事務局会議
地域ネットワーク	もりや亭・荻力フェ・とびお元気処・コミュニティカフェ荻野 ロックふあいぶ・樹割元気処
地域活動	鳶尾団地継続会議・体操サークル・宮本地区継続会議 SOMPO 運営推進会議・鳶尾団地映画会・公民館祭り
その他普及活動	認知症サポート養成講座・研修「今後に役立つ自分らしい終活とは」
地域ケア会議	A 氏地域ケア会議

開催回数（年間）



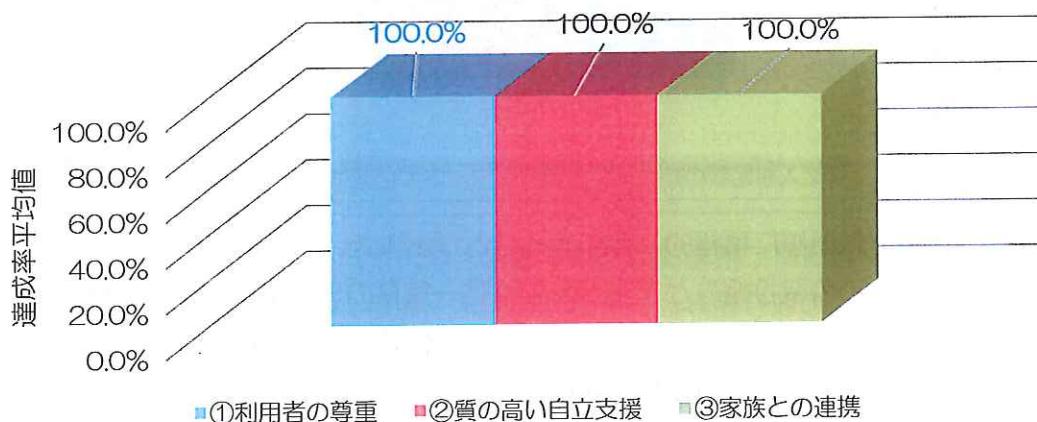


4. ケアプランセンターけいわ

事業総括

人事異動と新採用によりケアマネージャーの入れ替わりがあったが、安定した運営が出来、業績を上げることができた。

(I) 利用者サービスの充実

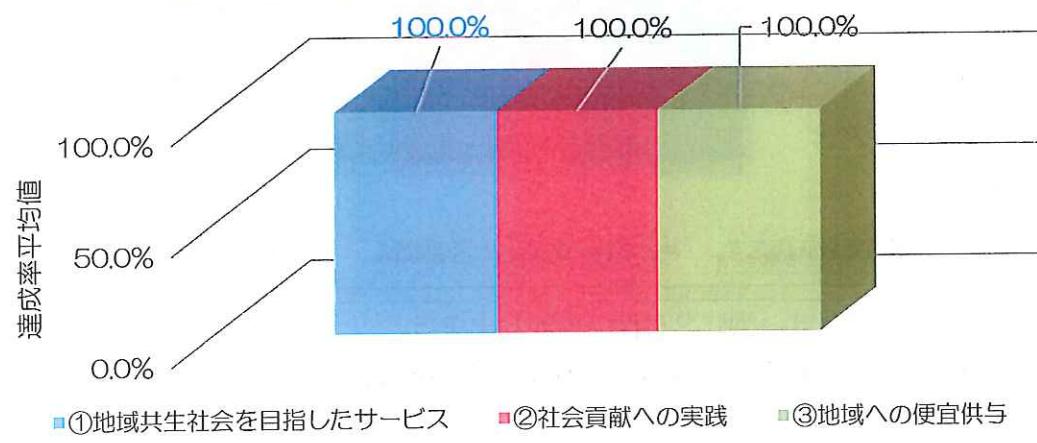


達成状況：①利用者の尊重→自立支援に資するケアマネジメントの実践が出来た。

②質の高い自立支援→毎日のミーティングで利用者の把握を行い、事業所内の対応力は向上した。

③家族との連携→最後まで諦めることなく支援できた。

(II) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

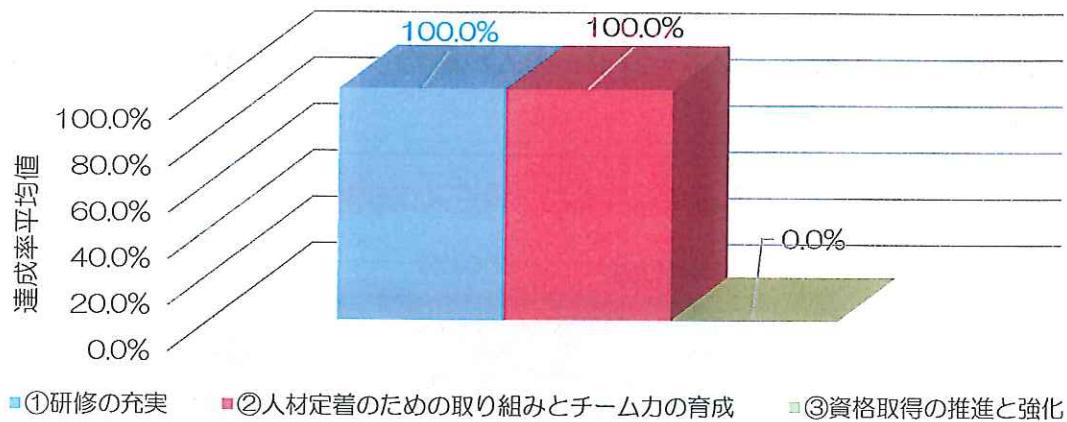


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→依頼に対する協働ができた。

②社会貢献への実践→依頼があった困難事例については、内容に限らず全て受け入れた。

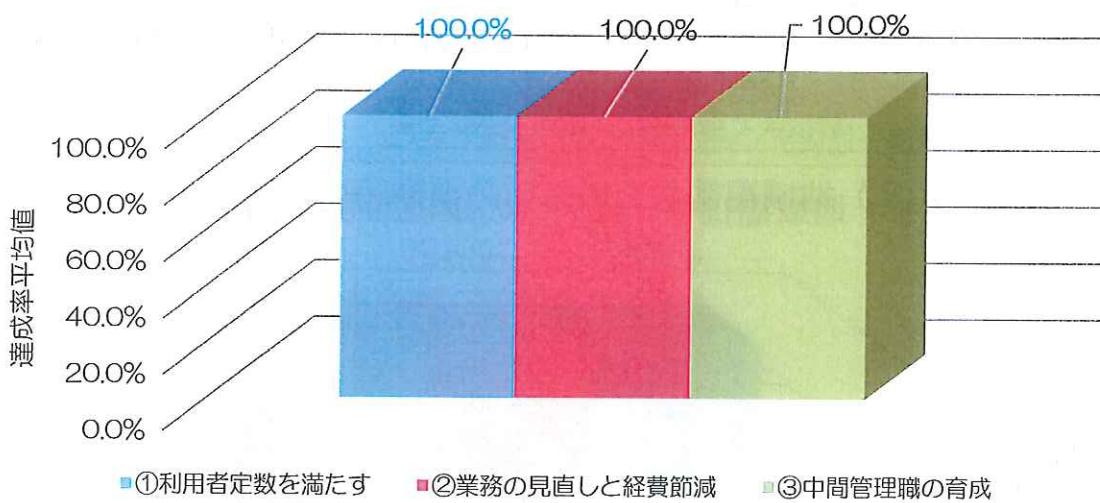
③地域への便宜供与→地域の包括支援センターとの協働が出来た。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

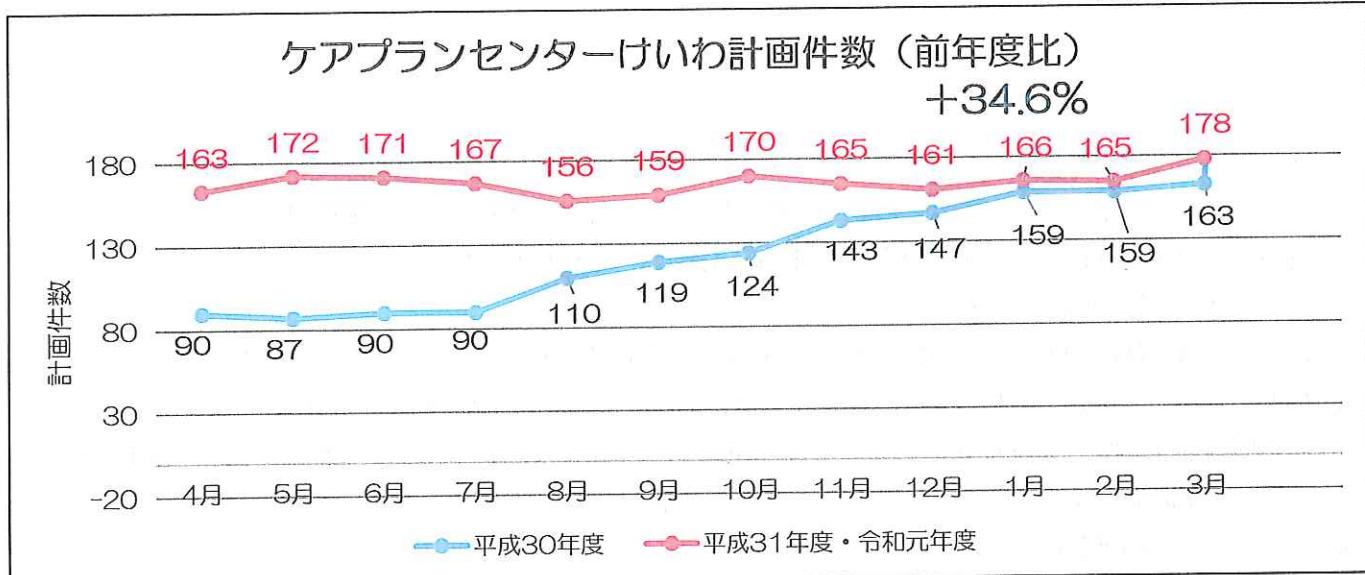


達成状況：
①研修の充実→各研修に積極的に参加することが出来た。
②人材定着のための取り組みとチーム力の強化→毎日のミーティングで意見交換の実施、情報共有が出来た。
③資格取得の推進と強化→対象職員なし。

(Ⅳ) 環境の変化に適応する経営



達成状況：
①利用者定数を満たす→常に35件の対応が出来た。
②業務の見直しと経費節減→効率化への取り組みが出来た。
③中間管理職の育成→常時教育してきた。



5. えまーぶる

事業総括

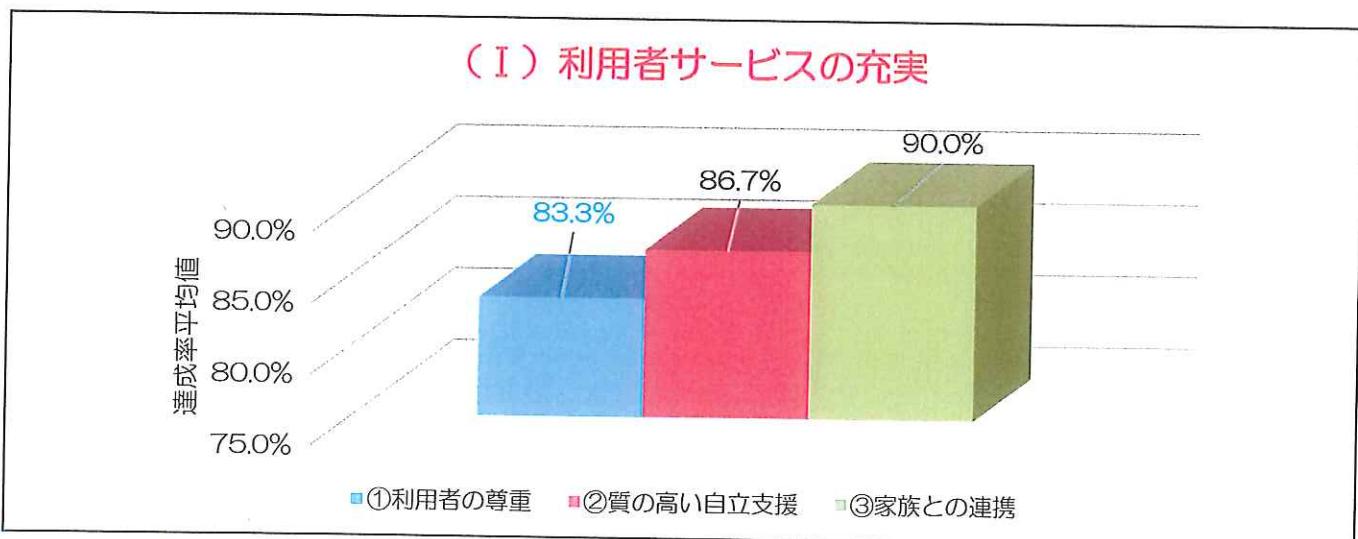
施設の知名度、評価、良質なサービスが求められる中で、社会福祉法人 敬和会の一部署として基本理念の基、その実現に向けてチーム一丸となり取り組んで参りました。

昨年度より朝礼による理念の唱和をしています。共通した目標や方針を共有することで、更にチームワークの強化を図りました。

最後まで住み慣れた自宅で過ごしたいためのデイサービス。そして、栄養に偏りがちな一人暮らしの方や、介護負担の軽減に配慮した持帰り弁当を取り入れています。

日常生活の支援、質の高いサービスの提供と充実を図るべく、運営を心掛けてきました。そして、外部研修など中止が相次ぐ中、この自粛の機会に職員一人一人が自己啓発に励み、更なるサービスの向上につなげていきます。

I) 通所介護事業所（定員 40 名/日）

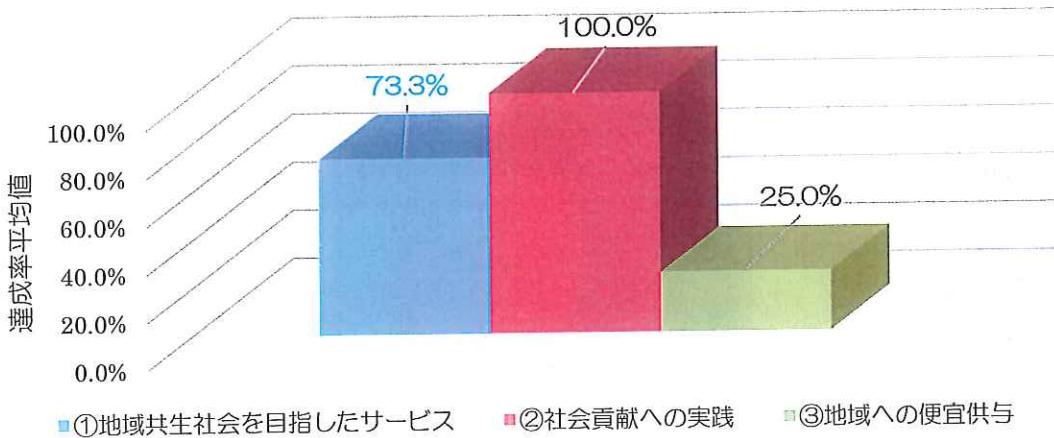


達成状況：①利用者の尊重→送迎、連絡帳等でご家族との交流機会を設けた。

②質の高い自立支援→相互に連携、協働、協力することで、チームケアの充実を図った。

③家族との連携→えまーぶる祭の実施。ご家族含め約 100 名の参加が得られ、交流が図られた。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

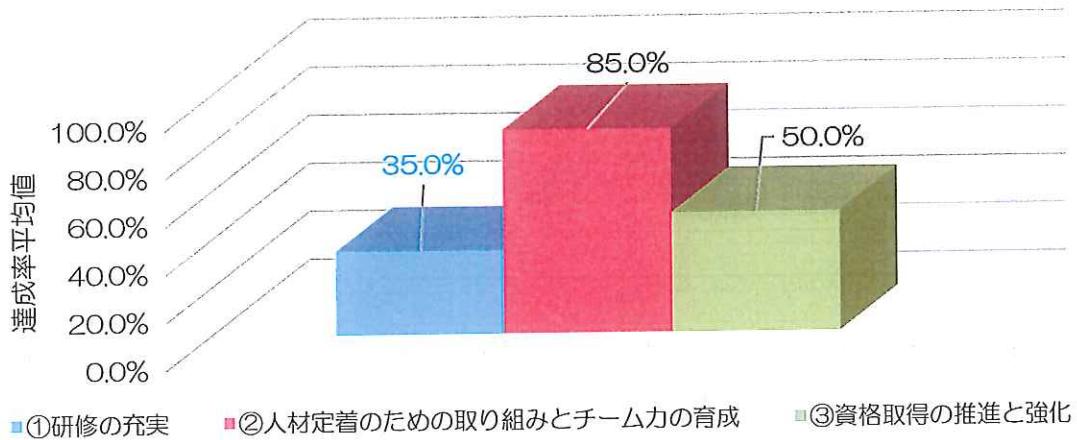


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→他事業所との情報交換、共有が出来たが自治会との情報交換は出来なかった。

②社会貢献への実践→YMCA の実習生、神奈川工科大学看護学生受入れ、厚木中学校体験学習受入れを実施。

③地域への便宜供与→地域包括との協働が図られた。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化

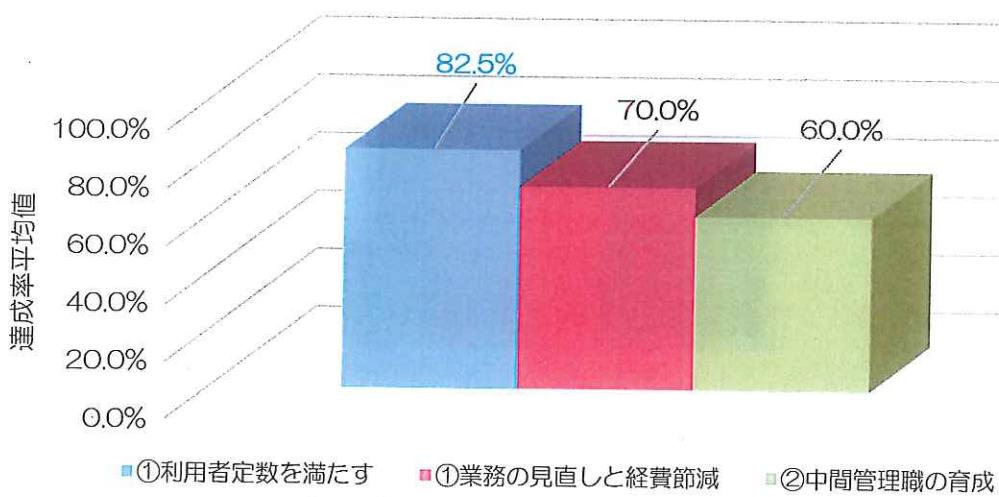


達成状況：①研修の充実→内部・外部研修へ積極的に参加することが出来た。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→ミーティングや職員会議を通して意見交換が出来た。

③資格取得の推進と強化→介護福祉士 1 名が合格できた。

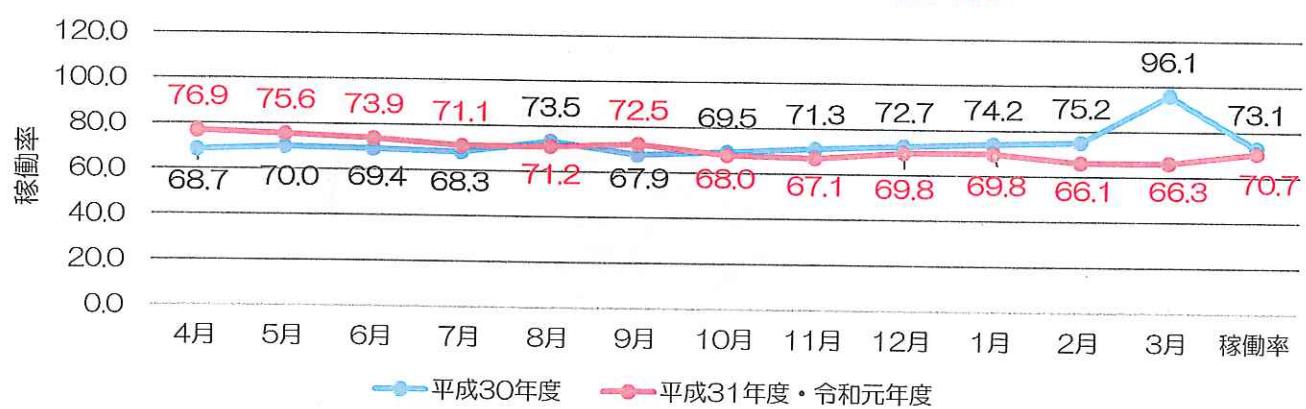
(IV) 環境の変化に適応する経営



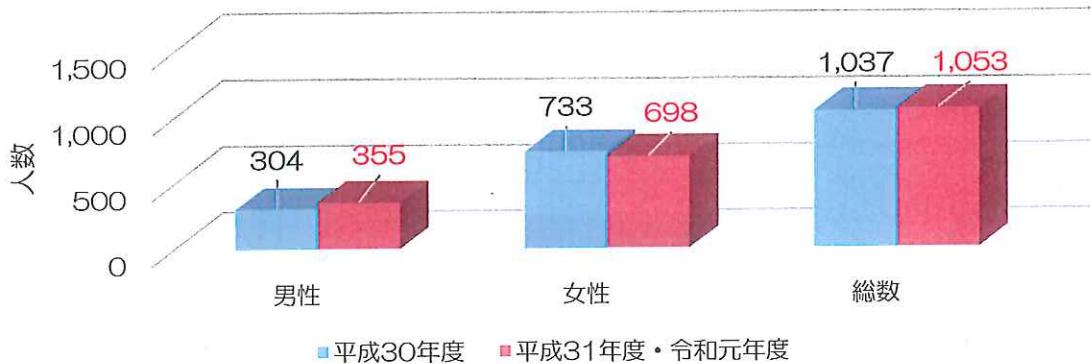
- 達成状況：①利用者定数を満たす→新規利用者 20 名を確保することが出来た。
 ②業務の見直しと経費節減→ICT 未導入。ご利用者に応じた人数の職員配置。
 ③中間管理職の育成→1 名相談員業務の記録研修、1 名の認知症介護実践者リーダー研修に参加。

通所介護事業所えまーぶる稼働率（前年度比）

-2.4%

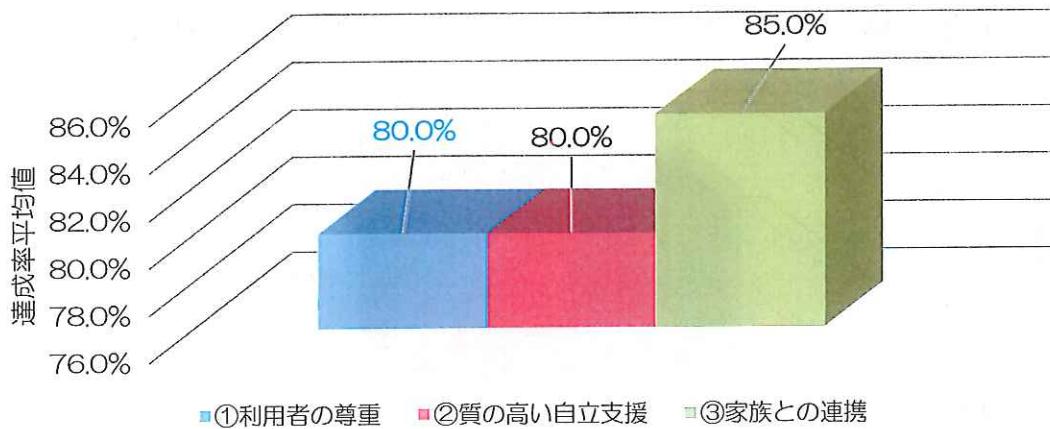


通所介護事業所えまーぶるご利用者実数（前年度比） +1.5%



II) 居宅介護支援事業所

(I) 利用者サービスの充実

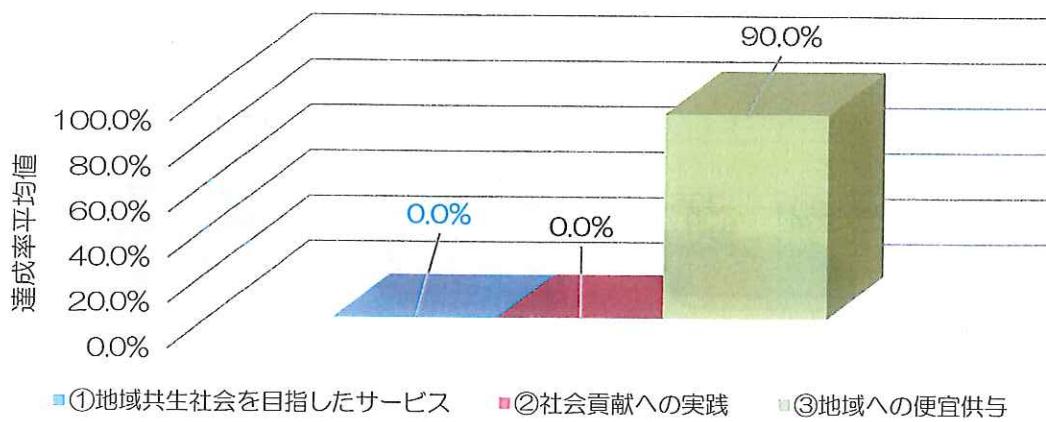


達成状況：①利用者の尊重→丁寧な意向確認が行われた。

②質の高い自立支援→利用者自身のサービスの選択とできることを大切にした支援を行った。

③家族との連携→介護力、経済状況、心理面を配慮し、支援を行った。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み

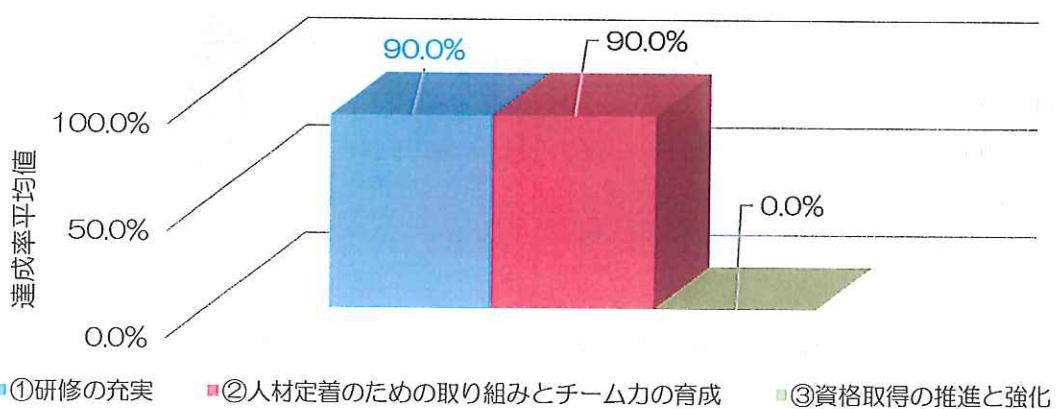


達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→地域包括ケアシステム構築への協働は実施できなかった。

②社会貢献への実践→支援困難ケースは地域包括と情報共有、支援を行った。

③地域への便宜供与→インフォーマルサービスを情報提供し、プランに繋がった。

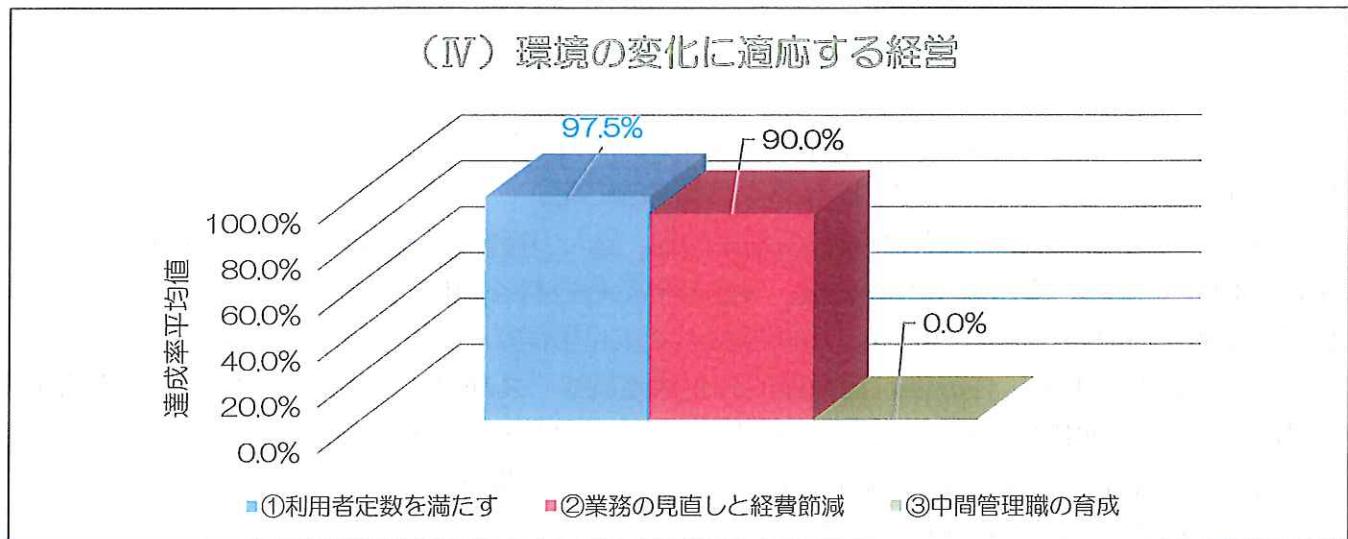
(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→研修受講者の報告により共に学ぶ場とした。

②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→朝のミーティングの他、訪問後の相談等、必要時に意見交換を行った。

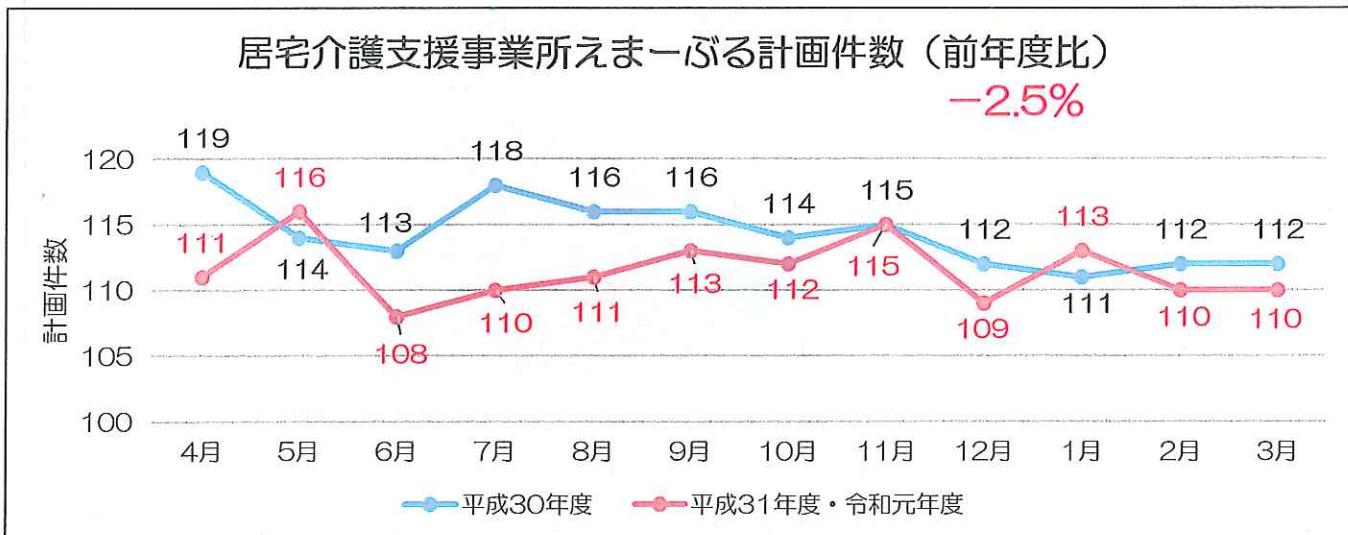
③資格取得の推進と強化→来年度受講予定。



達成状況：①利用者定数を増やす→予防支援も含めて35件を達成することが出来た。

②業務の見直しと経費節減→常に経費節減を意識し、業務遂行した。

③中間管理職の育成→日常業務に追われ、実施できなかった。



6. ケアハウス「えがりて」

事業総括

“えがりて”では入居施設であり“居宅”であるという特性を念頭におき入居者の一人ひとりが安心して暮らす事の出来る“家”になるよう努めました。

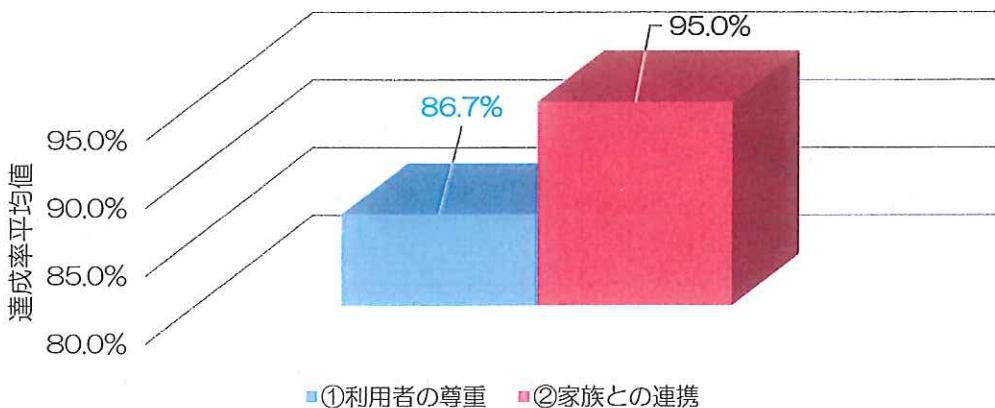
様々なイベントや余暇活動、外出の機会の確保の他、個人の特性を活かしたお手伝いの依頼などで役割を担って頂き、生活に活力や尊厳、変化がもたらされる事にも努めました。

健康管理や怪我予防に努めながらも、今年度は 4 名の退所者があり、そのうち 3 名はけいわ荘（特養）に入所しました。住み慣れた地域での生活継続や“えがりて”からけいわ荘への入所希望を円滑進める事が出来るよう、今後もケアマネや特養スタッフとの連携に努めます。

検索サイトへの登録など有効な資源を活用する事や、施設の環境整備、入居者や入所希望者の多様なニーズや要望に積極的に応える事にも努めました。

来年度も引き続き、入居者の皆様が『えがりてで暮らせて良かった』と思って頂ける支援に努めると共に、新規入居者の確保にも努めてまいりたいと考えております。

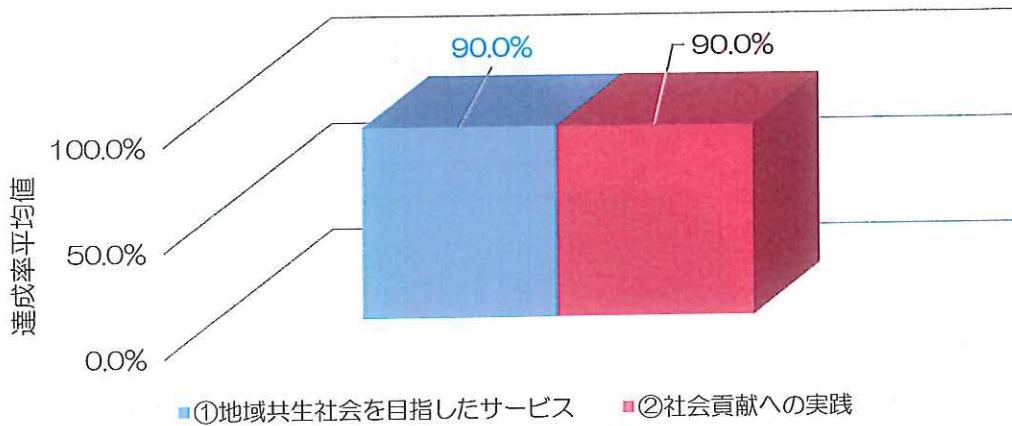
(I) 利用者サービスの充実



達成状況：①利用者の尊重→個別ニーズや ADL、暮らしに対する考え方方に応じた生活支援に努めました

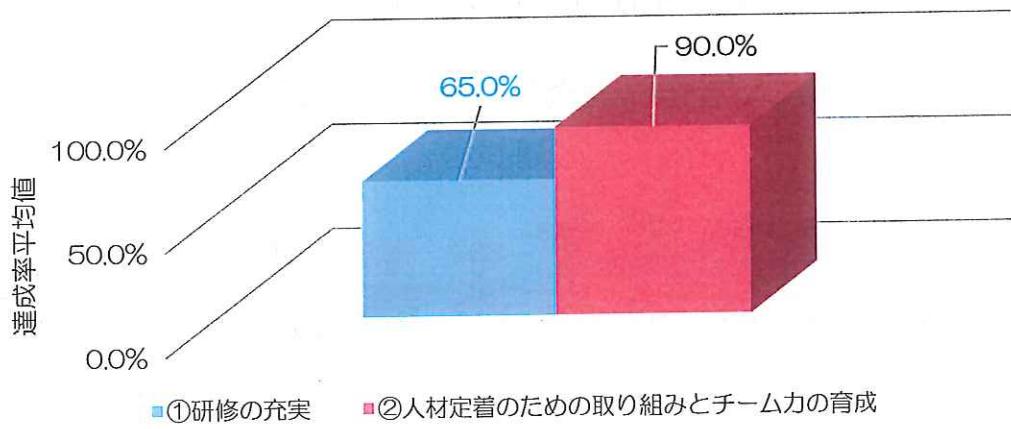
②家族との連携→事故報告や生活支援での必要な連携を面会や電話等により円滑に実施できました。

(Ⅱ) 地域福祉サービスの積極的な取り組み



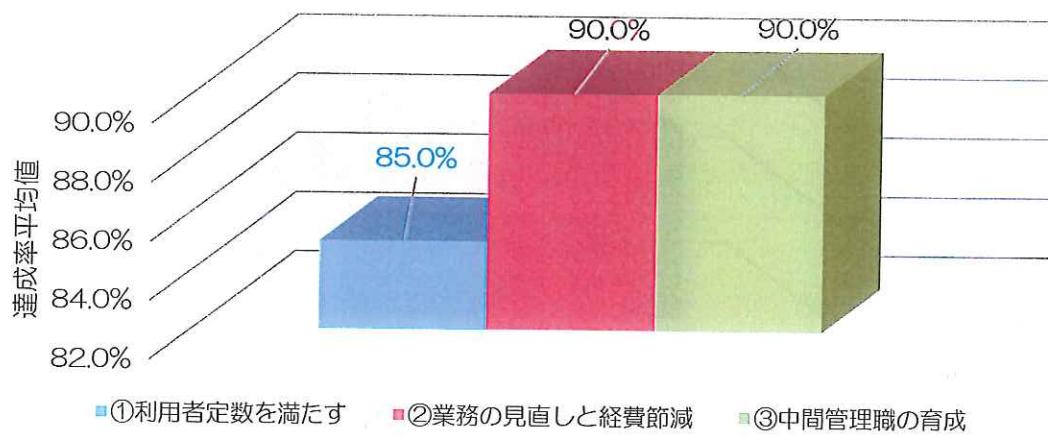
達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→荻野地域での買い物や受診先への継続支援に努めた。
②社会貢献への実践→荻野地域包括との連携の他、他の包括センターからの問い合わせや入所受入れに努めた。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→外部研修への参加促進が出来なかった。次年度は自己研鑽や仕事への理解が深まるよう参加推進を進めていく。
②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→仕事の相談がし易いような関係性や環境づくりに努めた。

(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を増やす→利用率は前年度とほぼ同水準であった。次年度満床を目指に努力する。

②業務の見直しと経費節減→PC でのデータ管理や社内共有フォルダを使用した報告等により、前年度より削減できた。

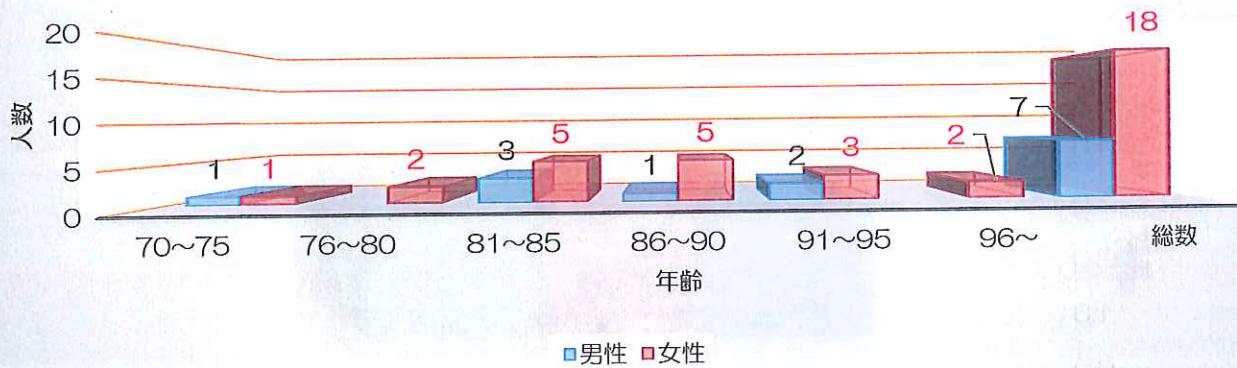
③中間管理職の育成→少人数のスタッフのため、それぞれの役割分担を意識しながら業務を効率的に行うことと各自の能力を発揮できるよう努めた。

① 入居者稼働率（各月1日現在）

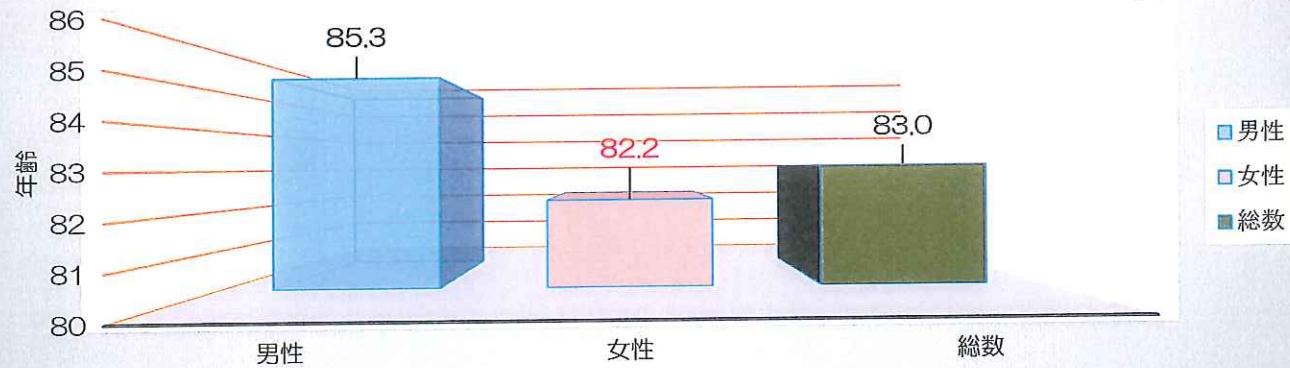
-3.9%



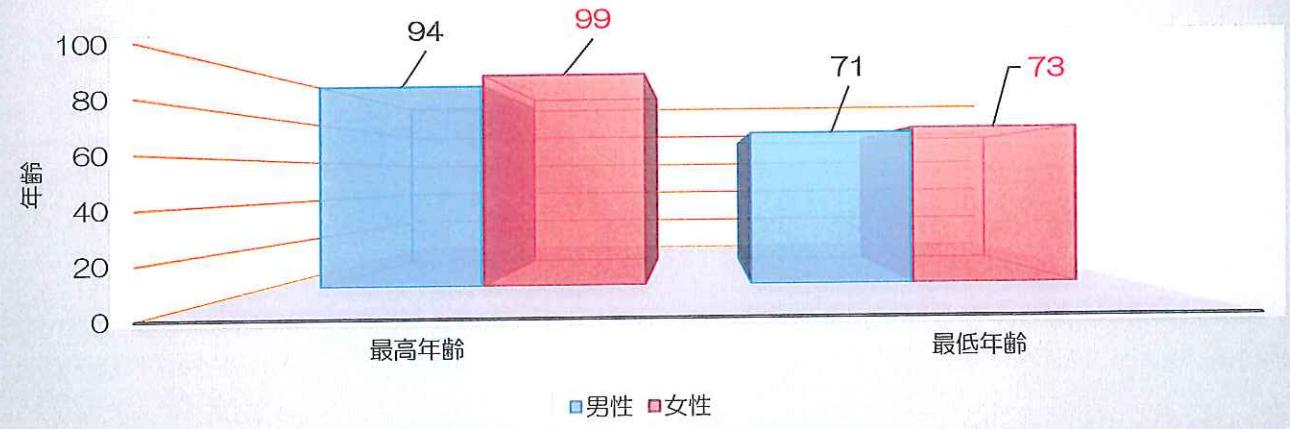
② 男女別入居者年齢構成 (令和2年3月1日現在)



③ 平均年齢 (令和2年3月1日現在)

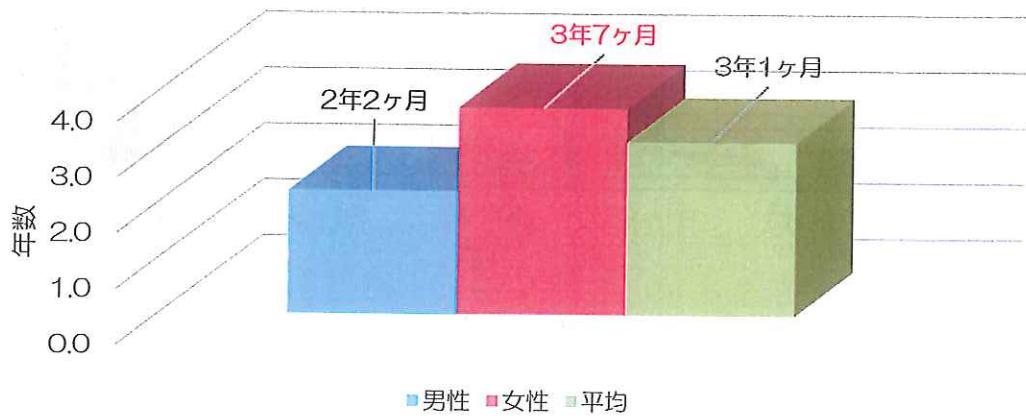


④ 最高・最低年齢



※上記最高・最低年齢は、令和2年3月1日現在のデータです。
3月9日に女性1名が100歳を迎えられております。

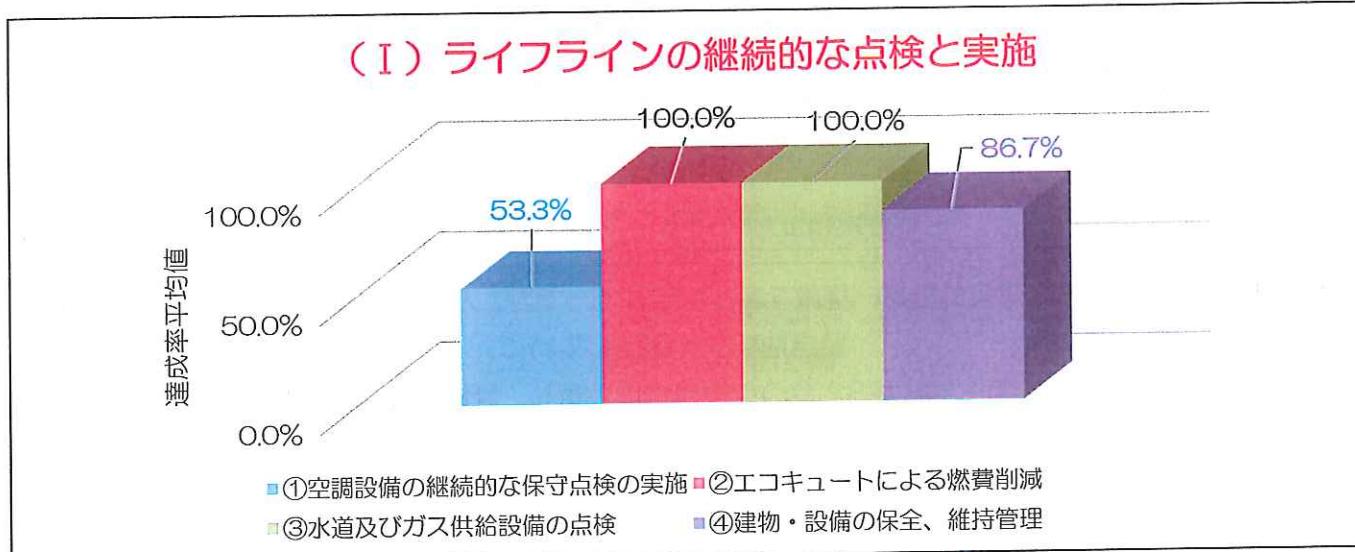
入居者在所期間 (令和2年3月1日現在)



7. 管財課

事業総括

昨年度でライフラインの主な更新工事を終え、安定した供給が出来ている状況であります。現在各設備・機器のメンテナンスを定期的また継続的に行っております。建物の維持・補修においては極力、施設スタッフを主体に行ってまいりましたが、過年により建物の改修が必要となつて来ている箇所があり、今後において検討課題となつております。

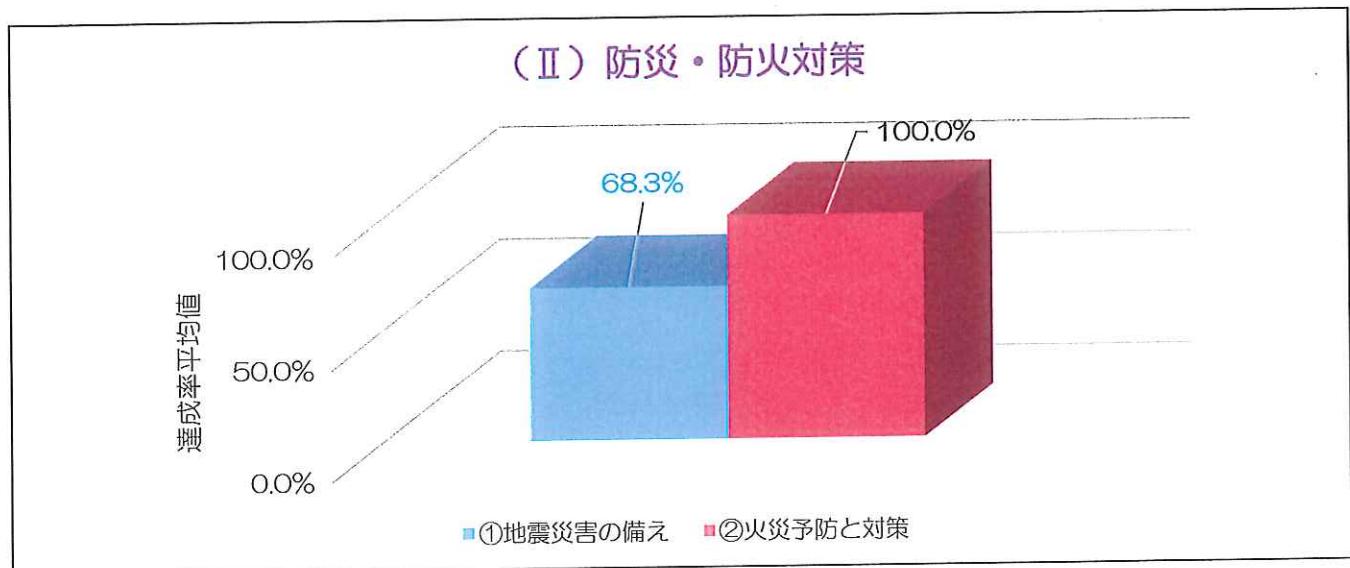


達成状況：①空調設備の継続的な保守点検の実施→天井取り付け以外の箇所を重点的に、ほぼ遅延することなく実施できた。

②エコキュートによる燃費削減→日常的にチェックした。(冬季は 60°C・夏季は 55°C)

③水道及びガス供給設備の点検→毎月始めにチェック。

④建物・設備の保全、維持管理→本館ボイラーアップ、本館ベランダ防水、本館網戸更新工事を施工。

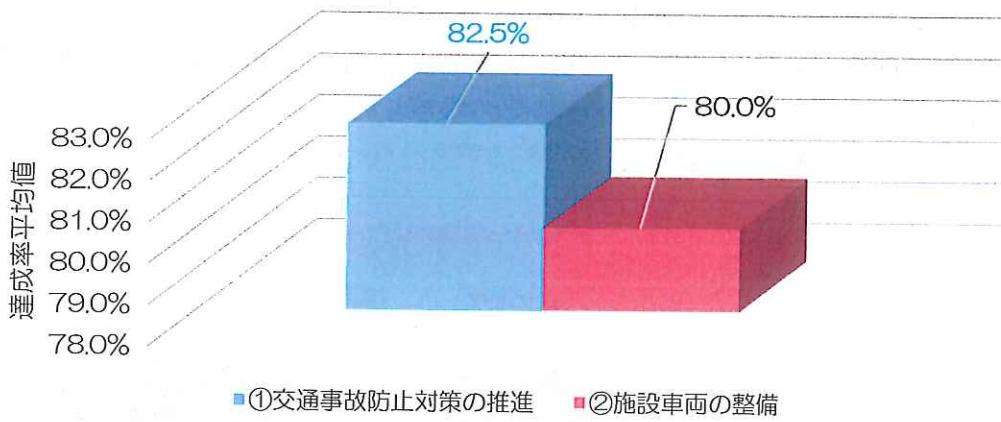


達成状況：①地震災害の備え→安否情報確認メールを全職員に定期的に発信し、有事に対応できるよう

訓練を行った。

②火災予防の対策→4月と10月に消防本部と火災通報の交信を含めた訓練等を行った。

(Ⅲ) 交通事故防止と車両の整備



達成状況：①交通事故防止対策の推進→軽微な事故は数件あったが、人身事故はありませんでした。引き続き油断なく継続していく。

②施設車両の整備→全車両 32 台の点検漏れに注意し、ほぼ管理ができた。

8. 総務課

事業総括

社会福祉法改正の趣旨に則り、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上への取り組みを積極的に推進してまいりました。

組織全体の意思疎通を図るために必要に応じて職員、利用者、そして利用者家族への情報提供等を行い、事業を進めてまいりました。

特に社会福祉法の改正による法人制度改革の対策のために、課長会議、評議員会、理事会を定期に開催し、組織全体で情報を共有し、適切な運営に努めてまいりました。

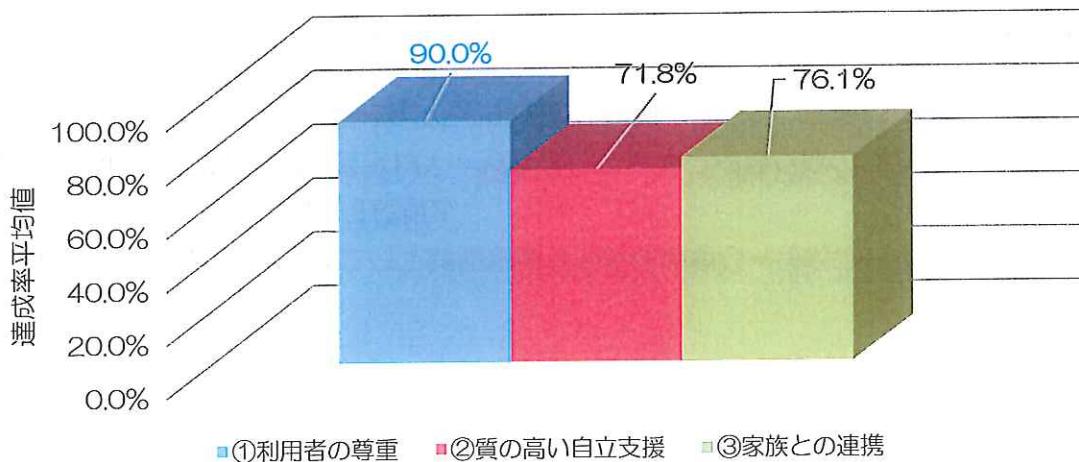
職員一人一人の視点に立って、「働き方改革」を推進し、職員一人ひとりの意思を尊重し、ワークライフバランスの体制を整備するとともに、より良い将来のキャリアデザインが描けるよう支援してまいりました。

今後において、職員一人ひとりのキャリアを設計できる法人としての体制を強化し、望ましい成長イメージである「なりたい自分」になれる好循環を創り出し、やりがいのもてる道筋を創り出していかねばならないと考えております。

総務課職員は、介護職員の黒子として最大限のサポートに徹し、また、仕事を進めていくにあたり、協調性は、法人・組織・個人にとって大切な要素であり、円滑にコミュニケーションを図り、同じ目標に向かって仕事を進めることができるよう心掛けたい。

新型コロナウイルス感染症の防止対策においては、全職員のチームワークにより、ご家族、業者ならびにボランティア等の皆様には、大変なご心配とご協力をいただき、発症者を出すことなく年度を終了することができました。

(I) 利用者サービスの充実

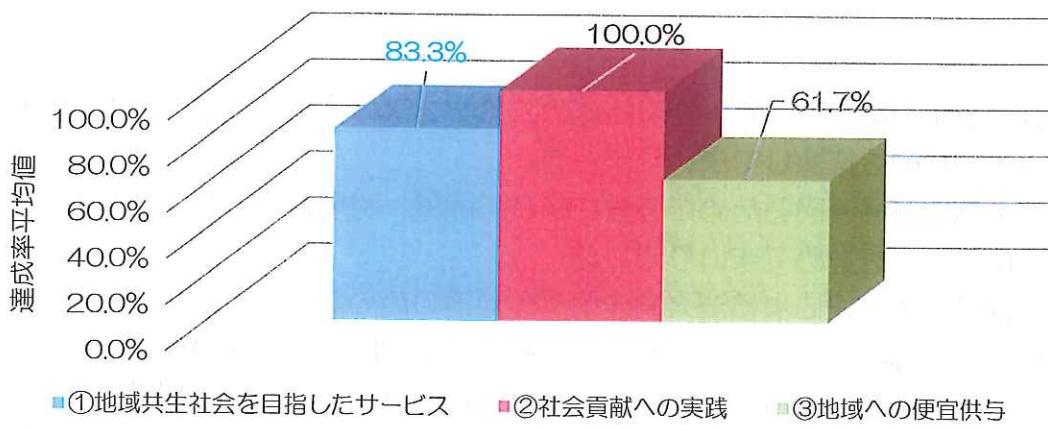


達成状況：①利用者の尊重→様々なイベントを通してご利用者に喜びを提供できた。

②質の高い自立支援→ご利用者に満足度を提供することができた。

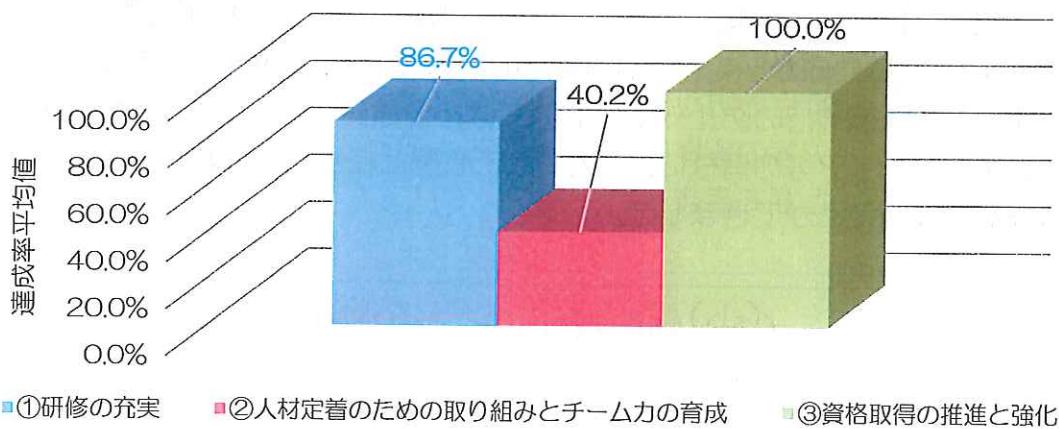
③家族との連携→生活相談員・施設ケアマネージャーが丁寧に対応した。

(Ⅱ) 地域福祉サービスへの積極的な取り組み



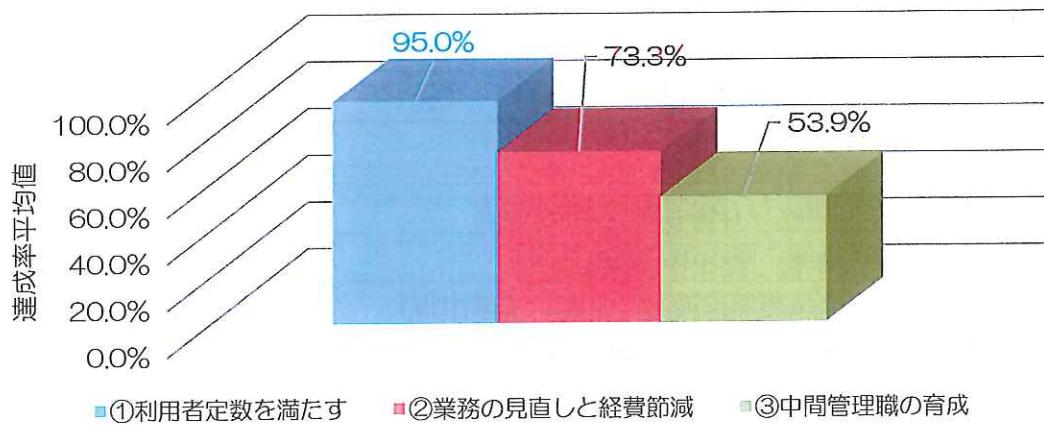
達成状況：①地域共生社会を目指したサービス→仕組みの検討余地があり。
②社会貢献への実践→中学生介護体験学習 2 名、高校生インターンシップ 3 名受け入れた。
③地域への便宜供与→幅広く慰問活動がなされたが、社会資源の活用は不十分であった。

(Ⅲ) 職員の専門性の向上とチーム力（団結力）の強化



達成状況：①研修の充実→積極的に奨励し、職員のスキルアップに繋がった。
②人材定着のための取り組みとチーム力の育成→人材定着のための対策を次年度以降継続して検討していく。
③資格取得の推進と強化→介護職員初任者研修機関として認可され、次年度開講していく。

(IV) 環境の変化に適応する経営



達成状況：①利用者定数を満たす→各事業所の努力により、大方維持できた。

②業務の見直しと経費削減→OJT の取り組みに期待。経費削減については、意識して取り組むことができた。

③中間管理職の育成→育成できる環境づくりに取り組み、まだまだ途上にある。

【研修会報告】

① 外部研修

月	日	研修名	参加人員
4			
	13	ファシリテーター研修（介護支援専門員協会）	1
	14	認定調査員研修（主催：厚木市介護福祉課）	2
5	27	令和元年度認知症地域支援推進員（主催：神奈川県）	1
	28	ファシリテーター研修（介護支援専門員協会）	1
	28		
	30	介護福祉士実習指導者講習会（主催：YMCA 健康福祉専門学校）	1
	11		
	13		
6	2	令和元年度 喫痰吸引研修（主催：高齢者福祉施設協議会）	2
	7		
	10	2019 年度初任者キャリアパス対応生涯研修課程（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	21	市内にある制度やサービスを理解する（主催：荻野地域包括支援センター）	7
	28	これなら出来る!!私たちのできる事（厚木地域包括ケア推進担当）	2
	2	ファシリテーター研修（介護支援専門員協会）	1
	5		
	13		
	15	令和元年度 喫痰吸引研修（主催：高齢者福祉施設協議会）	2
7	30		
	12		
	16	2019 年度初任者キャリアパス対応生涯研修課程（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	16	Let's think （主催：厚木市立病院）	1
	16	第 18 回かながわ高齢者福祉研究大会（主催：神奈川県社会福祉協議会）	16
	2		
	5	令和元年度 喫痰吸引研修（主催：高齢者福祉施設協議会）	2
	9		
8	6	2019 年度チームリーダーキャリアパス対応生涯研修課程（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	19	ファシリテーター研修研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	19		
	23	介護福祉士実習指導者研修会（主催：YMCA 健康福祉専門学校）	1
	21	これなら出来る!!私たちのできる事（厚木地域包括ケア推進担当）	2

	24	VR認知症体験プロジェクト	5
	27	苦情解決研修会（主催：神奈川県福祉サービス運営適正委員会）	1
	28	介護技術研修会（主催：厚愛地区高齢者福祉協議会）	2
	28	ほのぼのNEXT活用セミナー	1
	30	2019年度中堅キャリアパス対応生涯研修課程（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
9	2	介護福祉士実習指導者研修会（YMCA健康福祉専門学校）	1
	6		
	3	令和元年度地域包括支援センター職員等養成研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	4	（神）主任介護支援専門員研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	5	2019年度中堅キャリアパス対応生涯研修課程（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	6	コミュニケーション研修（主催：神奈川県社会福祉協議会）	2
	11	令和元年度地域包括支援センター職員等養成研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	17	2019年度認知症地域支援推進研修（主催：神奈川県）	1
	18		
	27		
	18	ファシリテーター研修 Step5	1
	24	令和元年度相談援助研修（基本編）（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	25	介護技術研修会（主催：厚愛地区高齢者福祉協議会）	2
10	10	福祉現場の看取りケア研修（主催：神奈川県福祉協議会福祉研修センター）	4
	11		
	17	在宅医療・介護連携研修会（主催：厚木市地域包括ケア推進課）	1
	18	市内にある制度やサービスを理解する（荻野地域包括支援センター）	2
	22	令和元年度 喫痰吸引研修（基本研修免除）（主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会）	1
	23	鴨頭嘉人の働き方改革（主催：株東京イカモガシラランド）	1
	30	介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修（神奈川県介護支援専門員協会）	2
11	1	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて	3
	7	看取りシリーズ③研修会（主催：厚木市福祉総務課）	3
	8	結核医療従事者研修会（主催：厚木市保健福祉事務所）	1
	13	神奈川県認知症疾患医療センター研修会（主催：神奈川県）	4
	15	介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修（神奈川県介護支援専門員協会）	2
	18	福祉の仕事学び直し研修（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	18	厚木市高齢者・障がい者虐待防止委員会（主催：厚木市高齢者・障がい虐待防止ネットワーク）	2
	19	なーるほど！ザ・摂食、嚥下（主催：厚愛地区福祉施設連絡会）	9
	29	令和元年度 地域包括支援センター職員養成研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	2	支援困難ケースへのアプローチ方法（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	2
12	6	令和元年度新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会（主催：神奈川県社会福祉協議会）	2

	7 アンガーマネジメント研修（主催：神奈川県社会福祉協議会）	1
	10 アンガーマネジメント～快適な職場をつくる～（主催神奈川県：高齢者福祉施設協議会）	1
11	介護支援専門員実務従事者フォローアップ研修（神奈川県介護支援専門員協会）	2
	口腔ケアについて学ぼう（主催：厚木市立病院）	1
1	認血症とともに生きる～認知症シンポジウム～	1
	神奈川県主任介護専門員更新研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	11 神奈川県主任介護専門員更新研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	27 KAIGO アンバサダー育成研修会（主催：シム コンサルティンググループ）	3
	28 2020 メディアケアフーズ展・嚙下食調理セミナー	2
2	1	
	15 2019 年度高齢者虐待対応原因者標準研修（主催：神奈川県社会福祉士会事務所）	1
	16	
	3 ユニットケア フォローアップ研修（主催：日本ユニットケア推進センター）	2
	4 認知症と運転について（主催：東海大学医学部付属病院）	2
	1	
	8	
	19 神奈川県主任介護専門員更新研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
	29	
	13 KAIGO アンバサダー育成研修会（主催：シム コンサルティンググループ）	3
	15	
	16 2019 年度高齢者虐待対応原因者標準研修（主催：神奈川県社会福祉士会事務所）	1
	18	
3	あなたの介助が変わる 食事介助の基本（主催：東名厚木病院）	2
	21 平成元年度 キャリアパス構築研修（主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会）	3
	25 ファーストステップ研修（主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会）	1
	4	
	17 神奈川県主任介護専門員更新研修（主催：神奈川県介護支援専門員協会）	1
10	10 KAIGO アンバサダー育成研修会（主催：シム コンサルティンググループ）	3
	10 平成元年度 キャリアパス構築研修（主催：神奈川県高齢者福祉施設協議会）	2
	11	

② 施設内研修

月	日	研修名	参加人員
6	12	『厨房大改革』キッチンレボリューション	76
11	6	『ザ・チームワーク～良質なチームワークを醸成する方法！～』	80

③ 幹部職員研修

月	日	研修名	参加人員
4	26	決算処理	4
5	17		12
6	14		12
7	12		12
8	9		12
9	13	次世代リーダー育成研修	12
10	11	中長期経営計画策定	6
11	8		12
12	13		12
1	10		12
2	14	「中・長期経営計画説明会」「介護業界におけるトレンド～自立支援介護とICT」	96
3		中止	

『モ』

正月年賀・令和元年賀
事業報告書

社会福祉法人 敬和会

けいわ保育園
けいわ星の子保育園

目 次

けいわ保育園

1. 基本理念	74
2. 平成31年度・令和元年度園児数	74
3. 事業総括	76
4. 重点取組事項	76
5. 具体的取組内容及び目標達成状況	77
6. 行事の実行	79
7. 平成31年度・令和元年度職員外部研修	80

けいわ星の子保育園

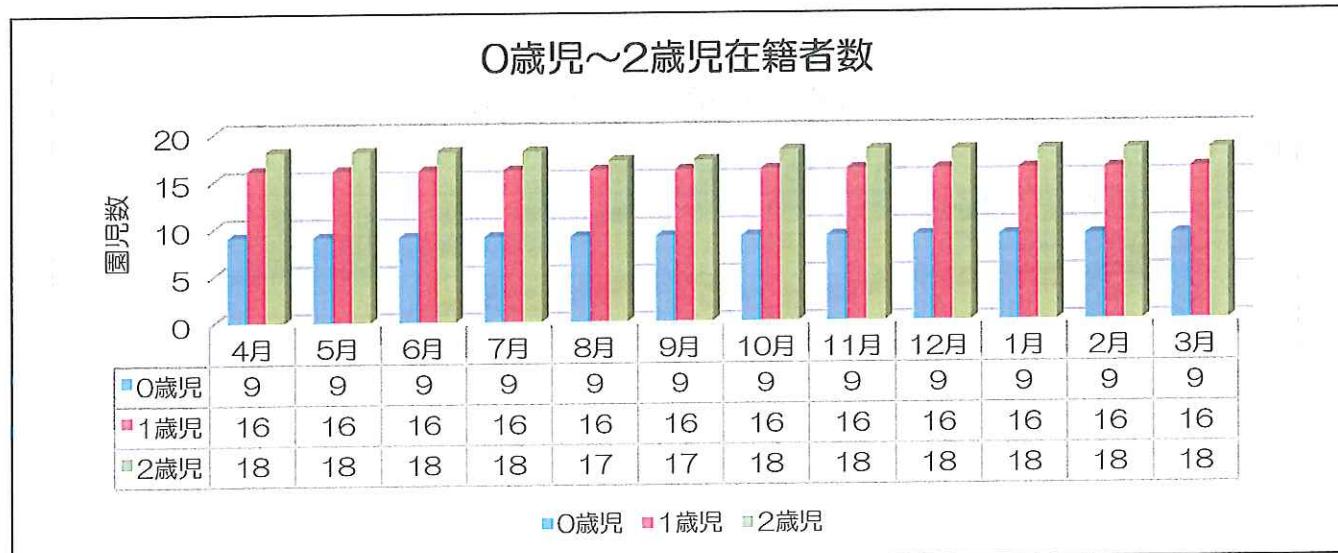
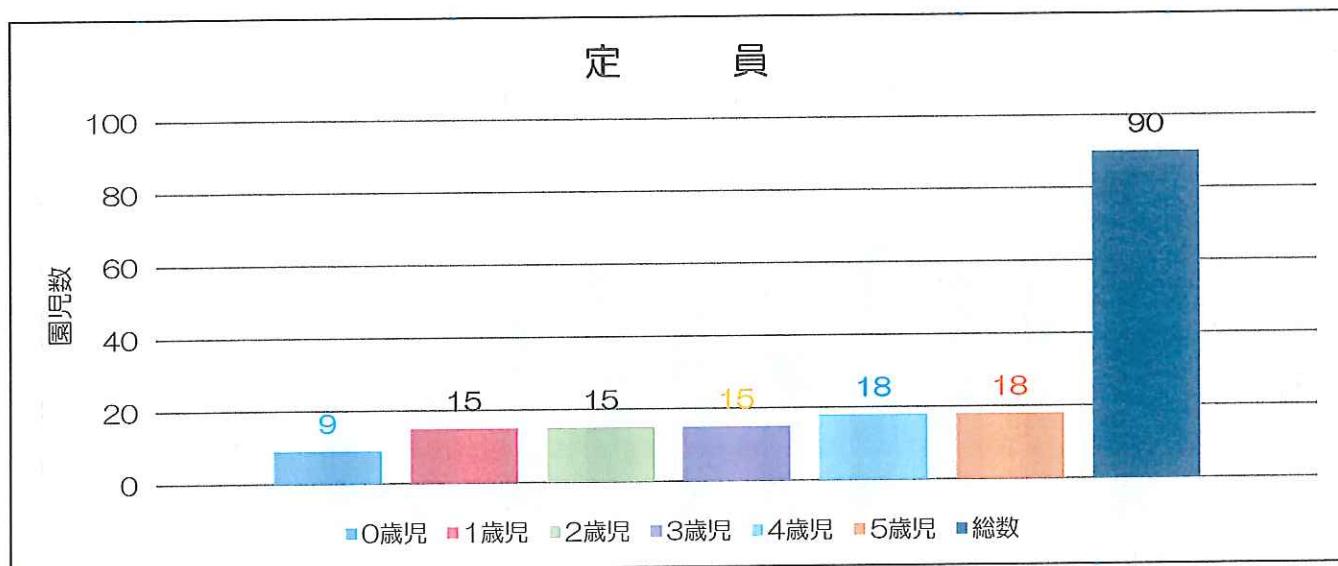
1. 基本理念	81
2. 平成31・令和元年度園児数	81
3. 事業総括	83
4. 重点取組事項	83
5. 具体的取組内容及び目標達成状況	84
6. 行事の実行	85
7. 平成31年度・令和元年度職員外部研修	86

けいわ保育園

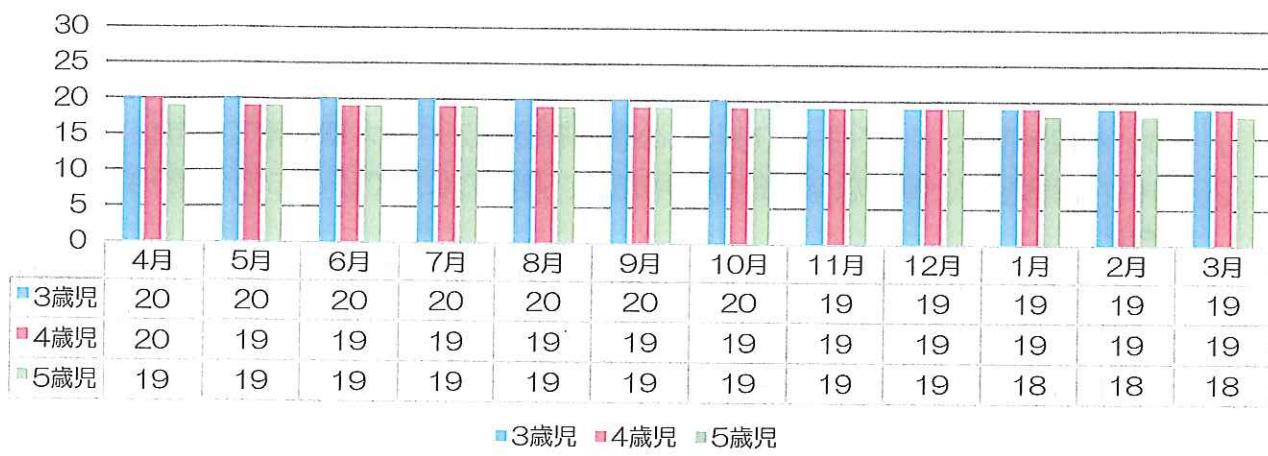
1. 基本理念

1. けいわ保育園は、子ども一人ひとりの個性を受け入れ、大切に育てます。
2. けいわ保育園は、豊かな保育環境を用意し、遊びのなかで子どもの成長・発達を育みます。
3. けいわ保育園は、地域社会との交流を通じて「和」を学び、生きることの「意欲」。「思いやり」を育てます。
4. けいわ保育園は、子育て支援・育児支援を行います。

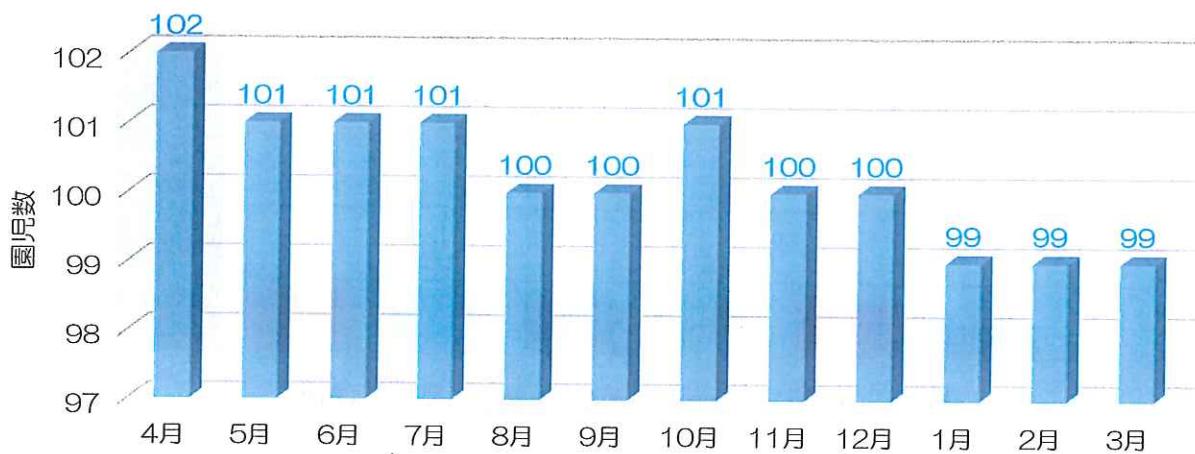
2. 平成 31 年度・令和元年度 園児数



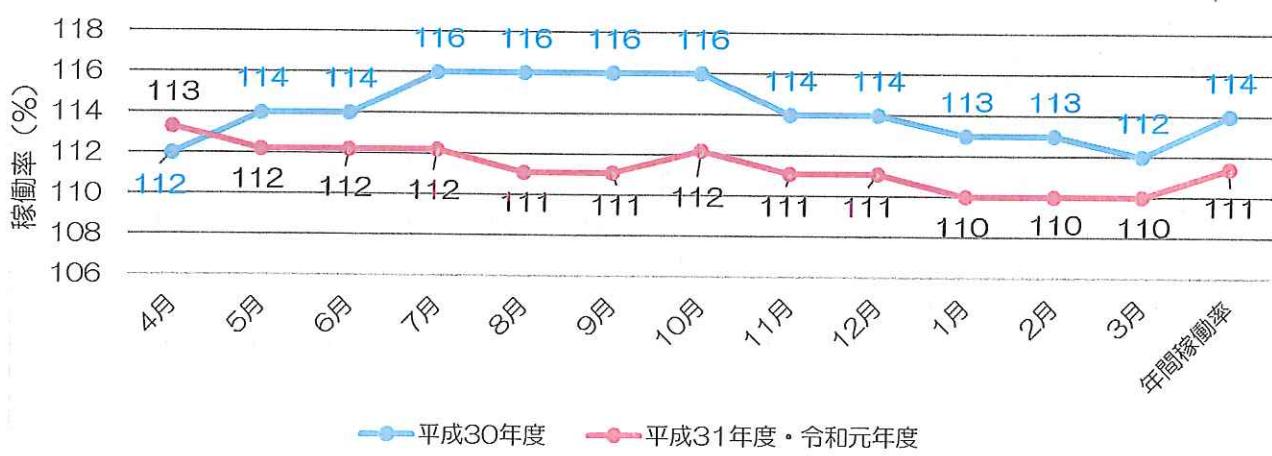
3歳児～5歳児在籍者数



全園児数（延べ1,203名）



稼働率（前年度比）



3. 事業報告

今年度は、102名からスタートしましたが、家庭の事情等で5名の退園者があり、最終的に99名の在園となった。

平成28年5月20日に当時3歳児クラスで起こった事故は、当法人と加害者である園児の保護者に対し、平成30年10月に訴訟となつたが、令和2年1月20日に次の内容で和解となつた。

この事故を通して、園内での事故防止対策と保護者対応、記録の取り方など多くのことを学んだ。

また、保健日誌の記録をもとに、在園中の当該児の軽微の事故記録を追つたところ、転びやすい傾向のある子どもであったことがわかつた。

記録を保育に活かし、職員間の共通の情報として周知させることが、リスクマネジメントに繋がることを痛感したので、今後の保育に活かしていこうと考えている。

5月に起こった大津の事故を通して、園の散歩経路の確認や危険個所の点検を行つた。保育士から見た危険と思われる場所、また園児自身も危険を避けるよう保育活動の中で、地図を協力して作つていつた。今後も付け加えていけるようにホールに展示をしている。

人材育成では、2月12日に星の子保育園と合同でBSCの研修会を行つた。
両園が共通の目標に向かい、保育を行つていく第一歩としたい。

3月に新型コロナウイルスの影響により、卒園式、新入園児説明会、進級説明会等が中止となつた。

現在もなお、終息の目途がつかない現状だが、克服するべき課題をしっかりと把握し、差し迫つた課題の一つ一つの問題解決の過程を通して、職員一人一人も意識変革ができるようになったらと考えている。

4. 重点取り組み事項

- (I) 保育の質の向上
- (II) 職員の資質向上と魅力ある職場づくり
- (III) 保護者支援・地域子育て支援
- (IV) 経営の安定の確保

5. 具体的取組内容及び目標達成状況

具体的取組内容		達成目標	達成状況
(I)	安全衛生委員会（園長、チーフ、主任、委員による委員会）	月 1 回～2 回会合を行い、マニュアルの整備と安全・衛生の課題を話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩経路の安全確認、ヒヤリハットで報告された箇所の書き込みを園児とともに使う。 ・救命救急法研修の実施 ・保健日誌の記録をもとにした軽微事故記録の作成と配慮を要する子どもを把握する。
	マニュアルの点検と共通理解	非常時の役割分担の確認と危機管理に対する共通理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練後の会議で今後の課題を確認し、職員間で話し合う。
(II)	連続性のある保育	<ul style="list-style-type: none"> ・〇歳児～6歳児までの発達を踏まえた、連続性のある教育・保育の働きかけを深める。特に以上児の個別の保育活動を全体の計画との整合性を図りながら、遊びを中心とした連続性のあるものとする。 ・花育や遊びの内容の充実を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びやお店屋さんごっこ遊びの見直しと実施
	苦情解決	苦情解決の事例を使った研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・保育会議で、今回の訴訟を通して学んだ事故防止策や記録の取り方など話し合う。
	環境設定・事例検討の研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児・幼児クラス共通のテーマを設定し、研修を実施（テーマ 3つの育みたい資質・能力に向けて） ・非常時の対応の検討 ・エピペンの使用方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月実施のお店屋さんごっこを通して環境設定を話し合う。
	保育者のリーダー力育成		<ul style="list-style-type: none"> ・会議を使った職員間の意見交流 ・新人と中堅保育士との意見交流会を行う。

	<p>厚木市民間保育会 主任保育士会への参加 けいわ保育園・けいわ 星の子保育園との職員 交流 キャリアアップ研修の 参加</p>	<p>乳児リーダー・幼児リーダー 分野別リーダー、チーフ、サブ チーフ、園長</p> <p>他園との情報共有と交流 を深め、主任保育士の リーダー力を育成する 職員交流を通じて、保育 の質の向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パート保育士とリーダー保育士との意見交流会を行う。 ・クラス内の動きの点検 ・保護者からのクレームを通して職員全体で園内の雰囲気を考える。 ・星の子とBSCの研修会を行う。
(Ⅲ)	信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報提供と説明の徹底 ・重要事項説明の徹底 ・個人情報についての説明の徹底 ・子どもの作品展示 ・写真による成長の記録を保護者向けに展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明の徹底と説明内容をわかりやすくするための図解を検討し実施。 ・保育園内での事故と事故に対する保険等の説明を行う。
	行政機関との連携	特に「気になる子ども」への対応を学校・行政機関と連絡・相談を行う	・要保護対策児童協議会の開催
	子育て支援事業	・子育て支援事業を通して、地域交流、家庭交流を行う	・離乳食講座 5月25日実施
	中高生との交流事業	職業体験の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職業体験を9月5日受け入れ ・湘北短期大学1年生 ボランティア受け入れ8月6日～8日、8月19日～21日、8月22日・24日各々2名ずつ受け入れ
	保護者への連絡体制	メール一斉配信システム 一年に連絡も兼ねて3～4回実施	・8月30日 引き渡し訓練実施

(IV)	経営の安定の確保	ホームページの充実による入園希望者の確保 人材確保に向けた PR	<ul style="list-style-type: none"> 説明内容の充実 保護者へ写真販売や、お便り等を通して園の良さを積極的に伝える。
	支出内容の見直し	備品、消耗品等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 相見積もりを徹底する。 購入する物の検証を行い、無駄をなくす。

6. 行事の実行

時期	内 容	備 考
4月	進級・新入式・クラス懇談会	実 施
5月	内科検診 芋の苗植え 子育て支援（離乳食講座） 花育	実 施
6月	わくわく会 お店屋さんごっこ・歯科検診・5歳児プラネタリウム・魚さばき 個人面談（3歳 4歳 5歳） 保育参観（3歳）	実 施
7月	七夕会・5歳児お泊り保育・プール開き・人形劇鑑賞会	実 施
8月	引き渡し訓練 保育参観（1歳 2歳）	実 施
9月	内科健診 敬老の日の集い	実 施
10月	運動会 芋ほり 保育参観（5歳）	実 施
11月	内科健診 演劇鑑賞会	実 施
12月	湘北短期大学卒業公演 生活発表会 クリスマス会	実 施
1月	お餅つき 保育参観（2歳）懇談会（3歳 4歳 5歳）	実 施
2月	子育て支援 保育参観（0歳 1歳）懇談会（1歳）	実 施
3月	お別れ遠足（ウッドデッキで実施）お別れ会 卒園式（簡略して実施）	実 施
3月	進級説明会 入園児説明会	中 止

☆スポーツチャンバラ（4歳 5歳）月2回 実施

☆花育 （5歳） 7回実施

7. 平成 31 年度・令和元年度 職員外部研修

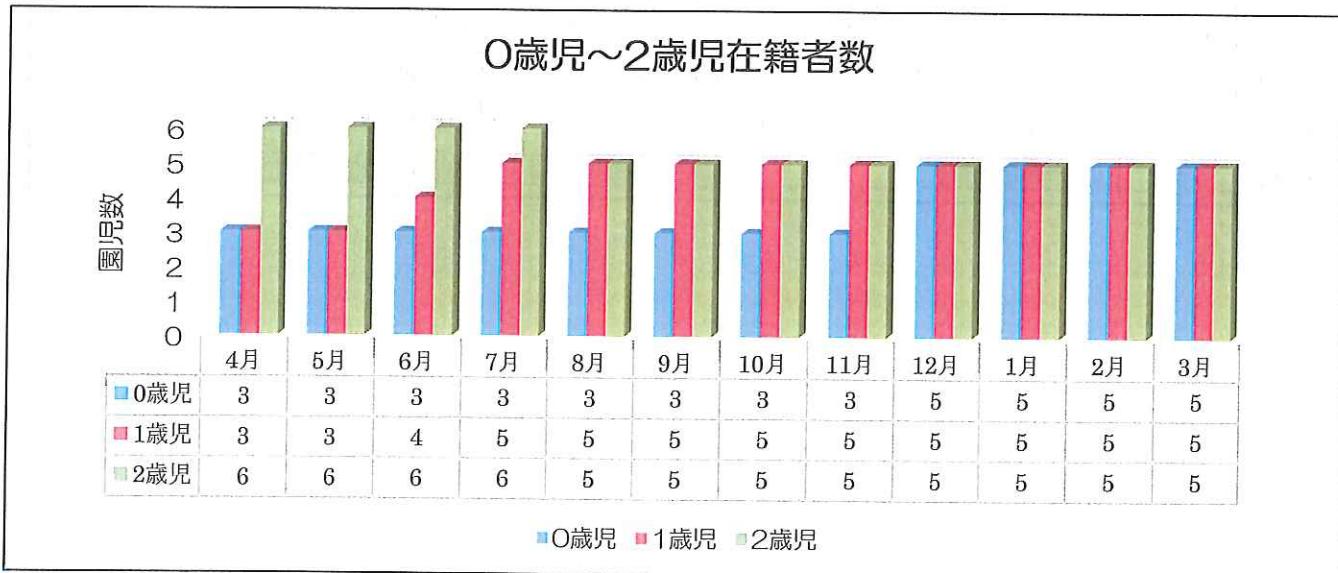
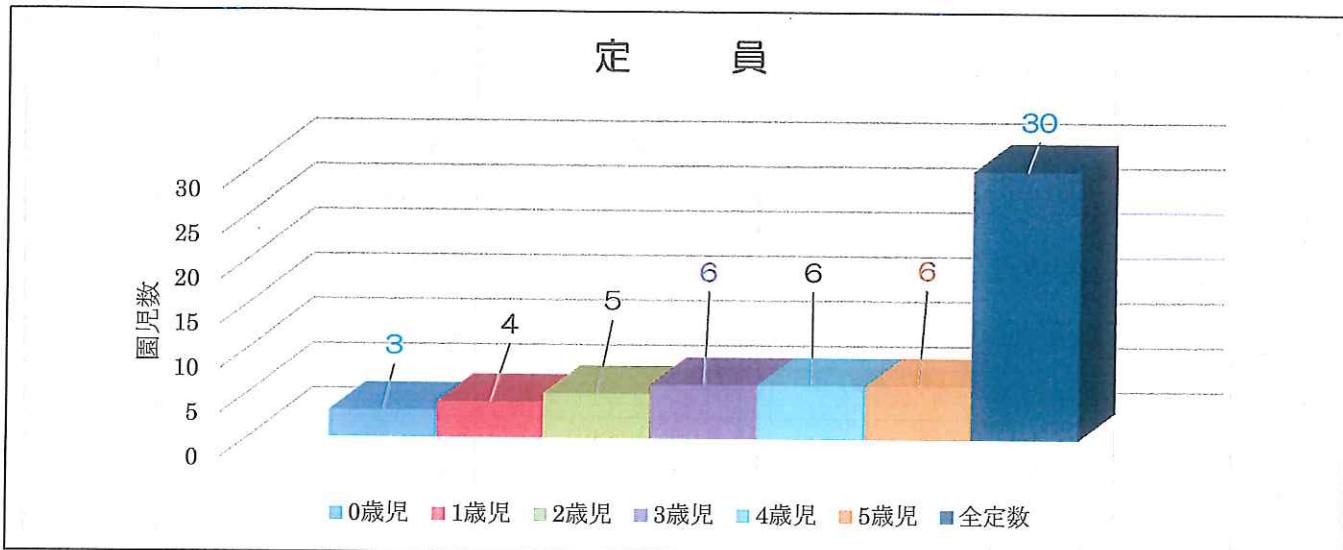
月	日	職 種	研 修 名 称	主 催	会 場	参 加 人 数
5	11	保育士	指しゃぶり・噛みつきを受け止める保育	新日本医師協会	板橋区立ハイライフプラザ	1
6	6	保育士	豆の木出張講座感覚統合	厚木市民間保育会	厚木市文化会館	2
	13	保育士	中堅保育士研修	厚木市民間保育会	厚木市文化会館	1
7	22	保育士	育てにくい子にはわけがある	新日本医師協会	全労連会館	1
	8	保育士	1歳児の発達と保育	全国保育団体連絡会	保育プラザ	1
8	2	保育士	保健衛生・安全対策	ポピング	神奈川工科大学 IT	1
	5					
	18	保育士	食育・アレルギー対応	ポピング	神奈川県総合薬事センター	1
	21					
	29	保育士	5歳児担当保育者交流会	厚木市民間保育会	厚木市文化会館	1
9	3	保育士	食育・アレルギー対応	ポピング	神奈川県総合薬事センター	1
	13	保育士	保護者支援・子育て支援	ポピング	神奈川工科大学 IT	1
	25					
10	4	保育士	種々の症例で学ぶ栄養機能発達とその支援について	厚木保健福祉事務所	厚木合同庁舎	1
	7	保育士	保護者支援・子育て支援	ポピング	神奈川工科大学 IT	1
	24	保育士	全国保育士会研究大会	全国保育協議会	島根県産業交流会館	1
	25					
11	15	保育士	わらべ歌遊び	厚木市民間保育会	厚木市文化会館	3
	21	保育士	乳幼児の睡眠と食の大切さ	新日本医師協	北トピア	1
	27	保育士	福祉施設の虐待と対人援助について	厚木市社会福祉施設連絡会	厚木市保健福祉センター	2
12	10	保育士	子どもの命を守る保育	厚木市民間保育会	厚木市保健福祉センター	5
1	7	保育士	まめの木研修会	厚木市福祉部福祉課	厚木市保健福祉センター	1
	20	保育士	早期療育普及研修	神奈川県立総合康育相談センター	神奈川県立総合相談センター	1

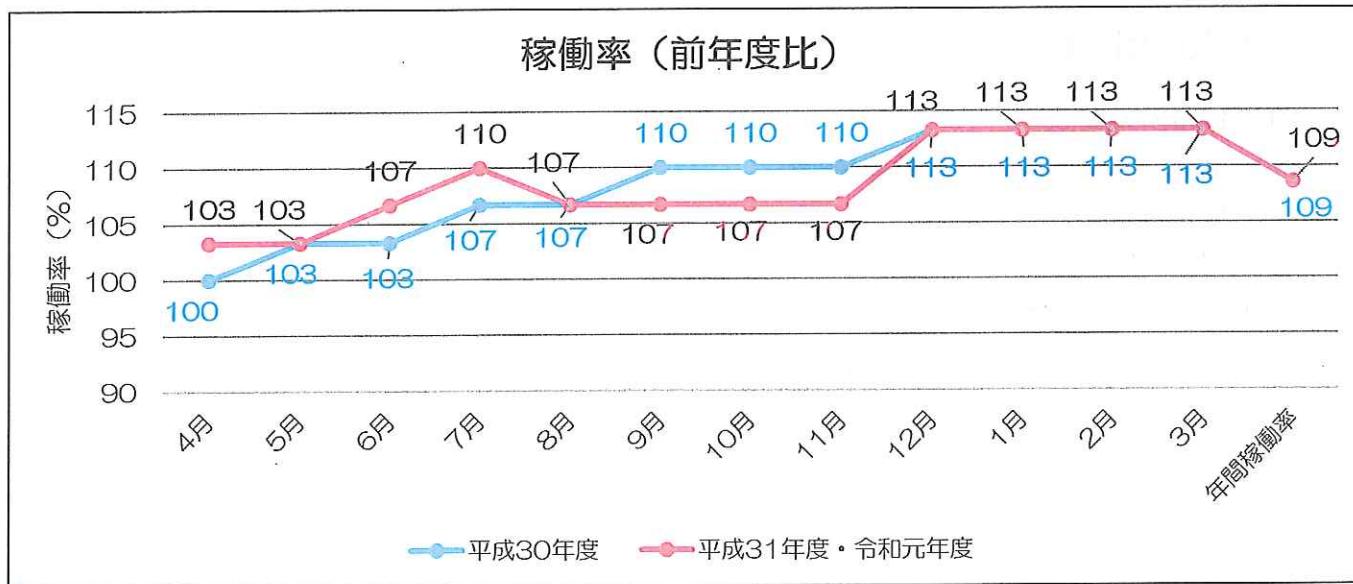
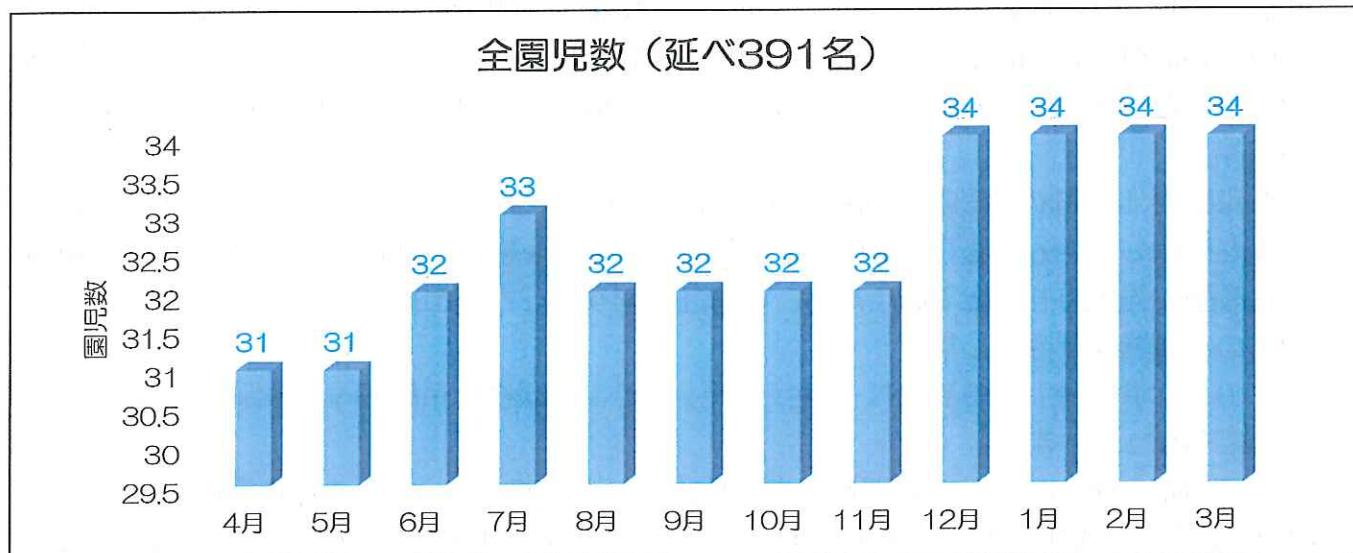
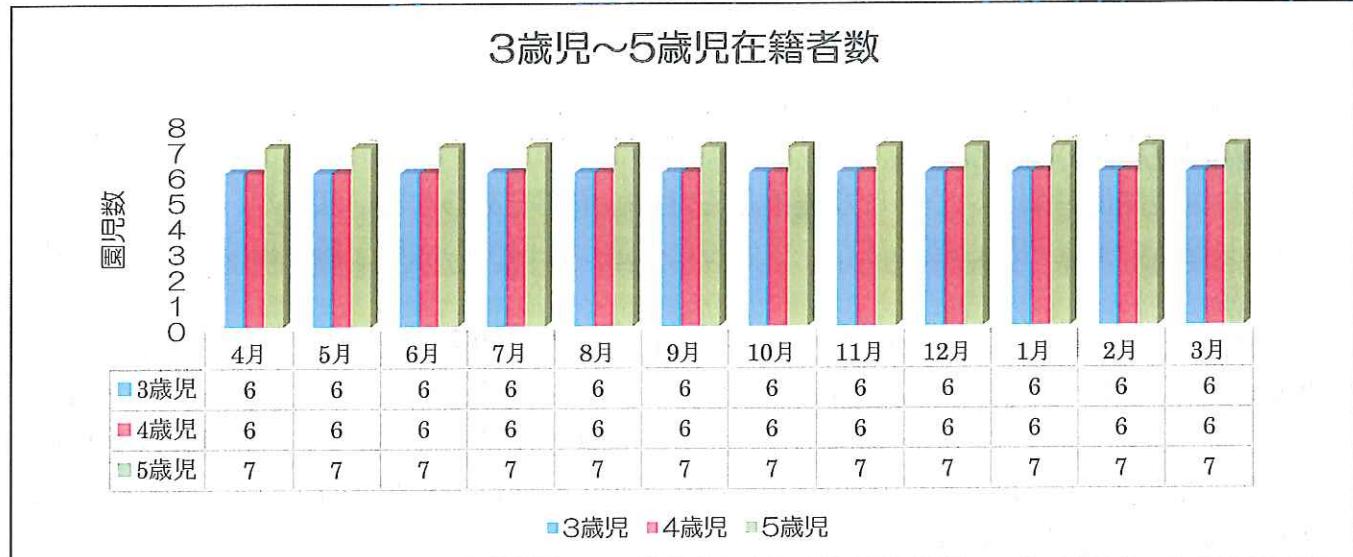
けいわ星の子保育園

1. 基本理念

1. 家庭的な温かい環境のもとで、一人ひとりをしっかり受け止め情緒の安定した生活ができるように大切に育てます。
2. 豊かな保育環境を提供し、夜間保育園ならではの多様な体験を積むなかで、子どもの成長を育みます。
3. 異年齢児保育・世代間交流などの関わりを通じ、優しい心と生きる力を育みます。

2. 平成 31 年度・令和元年度 園児数





3. 事業総括

定員越えでスタートを切りましたが、今年度の特徴として小さい子ほど夜遅い利用が目立つということです。

これは夜間保育園ということが浸透してきた結果でもあると思いますが、一方で受入時間も保育園の昼食時間と被るなど、今までとは違った面での人員配置が求められたりしました。

今年の安全管理委員会で取り組んだことの中で、園外散歩の安全点検をし、話し合いや実地検分をしたり、保護者への情提供供をすることで、園と家庭の共通理解を図ることが出来ました。また、ヒヤリハットは数多く出せるようにしたことで、噛みつきや怪我に繋がる時間帯の把握や子ども同士の関係性や興味など数多くの気付きを得られたことは保育をしていくことでの財産になりました。

保育園の食育の中で、畑で野菜を育て、収穫したらそれを調理し味わうことはとても大事な活動です。ウッドデッキの畑だけではなく、広い土地が出来たことで、畑になる前の石ひろいをしたり、虫や花など見つけたり、小宮さんが畑の世話をしてくださいることで、保育園以外の方との触れ合いが持てたり、子ども達への関わりを広げていけたのは良かったと思います。

保育園の 1 年間の活動を集約した「生活展」は今年も 3 日間開催し、保護者の方や祖父母様も来園し、作品を見て感動したり子ども達の成長を感じていただけました。また、市内の保育園の先生方もお出でいただき、保育を公開することが出来き、沢山のご意見を戴きました。

このことは保育士達のモチベーションアップにつながり、保育士同士の保育の伝えあい、協力にもなっています。

管理者研修の中で、「BSC研修」を取り組んだことで、同じ法人の保育園として協力できることやしなければいけない事を職員一人ひとりが意識を持ち考えていったことは、これから展望として期待できることになったと思います。

4. 重点取組事項

- (I) 保育の質の向上
- (II) 職員の人材育成と働きやすい職場
- (III) 保護者支援
- (IV) 地域支援と交流
- (V) 経営の安定を図るため、新事業の検討

5. 具体的取組内容及び目標達成状況

取組事項		達成目標	目標達成状況
(I)	保育の質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の振り返りを次に繋げる ・保育実践の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの分析をし、怪我等の分析をし、職員配置の見直しをした。 ・1年間の保育を子どもの作品を通じて、保護者や地域、他園の保育士に観てもらう
(II)	職員の人材育成と働きやすい職場	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を見越した後継職員の育成 ・キャリアアップ研修の受講と研修講師 ・有給休暇の取りやすい職場 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員との話し合いを密にとり、適材の見極めと職員間の推薦を得る ・研修を受けた職員は園内研修の講師をする前提を理解し、取り組んでくれたので、本人も力を付けた。 ・取得休暇の半分以上を取ることが出来た。
(III)	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て困難家庭への支援 ・子どもの成長を伝える ・休日保育の利用困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育の減免実施（3家庭3人） ・保護者会と一緒に実施したバザー ・絵本の貸し出しをする ・保育参観の中で成長を伝えていった ・療育施設の紹介と連携 ・園行事を通じて保護者同士の交流を ・本当に必要な家庭は利用できた。
(IV)	地域支援と地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭への支援 ・一時預かり保育 ・ボランティアや中高生の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・年8回実施のお話会で地域の子育て家庭との交流 ・延べ人数40名の預かり保育 ・中学生の体験やボランティア3名を受入園児との交流 ・けいわ荘の納涼祭やえまーぶるのお年よりとの交流
(V)	経営の安定の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄を省き、経費節約 ・入園児の確保のための宣伝活動 ・新事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな消灯、電源オフの励行 ・子育て支援のチラシを地域公園で配布したり保育園紹介 ・夜間時間帯を伸ばすことを検討したが、職員確保の難しさもあり再検討

6. 行事の実行

時 期	内 容	備 考
4月	入園・進級式、懇談会、家族交流会	実 施
5月	内科健診、 戸外給食、 消火訓練、 サツマイモ苗植え遠足	実 施
6月	救急救命講習会、 プラネタリウム鑑賞、 プール遊び、 魚さばき、 歯科検診	実 施
7月	5歳児懇談会、 七夕会、 お泊り保育、 カレーパーティ、 けいわ荘納涼祭参加	実 施
8月	えまーぶるとのスイカ割、 3, 4歳懇談会、 引き渡し訓練	実 施
9月	内科健診、 戸外給食	実 施
10月	運動会(10/5)、 サツマイモ掘遠足、 プラネタリウム鑑賞	実 施
11月	炊き出し訓練、 内科健診、 演劇鑑賞会、 防災センター見学、 焼き芋	実 施
12月	地域子育て支援事業、 クリスマス会、 園内研修会、 餅つき	実 施
1月	こま廻し大会、 個人面談、 魚さばき、 親子クッキング	実 施
2月	節分会、 親子クッキング、 生活展	実 施
3月	ひな祭り会、 入園説明会、 お別れ遠足、 卒園式	実 施
	進級説明会(文書配布)	未実施
	☆ 避難訓練、誕生会、身体測定は毎月 ☆ スポチャンは4歳児・5歳児が月2回 ☆ 花育は5歳児が年8回	実 施

7. 平成 31 年度・令和元年度 職員外部研修

■はキャリアアップ研修

月 日	職 種	研修名	講 師	参加人数
5月 23日	短時間保育士	救急救命講習会	サニークリーン(大塚氏)	4
5月 24日	園長・保育士	救急救命講習会・子供の怪我応急処置	厚木市消防署職員 2名	10
5月 26日	保育士	1歳児の発達と保育	保育プラザ・小川洵子氏	1
6月 29日	園長・保育士	全国夜間保育園連盟研修会(全体会)	厚労省保育課長 竹林悟史氏	2
		全国夜間保育園連盟研修会(分科会)	山縣文治氏・安梅勅江氏・櫻井慶一氏・他	
7月 22日	園長・保育士	幼保小交流会	小鮎保育所・文化会館	2
7月 25日	園 長	子どものおやつに何を与える	垣田達成氏	1
8月 1日	保育士	療育研修「子どもの行動理解」	久保田絢女氏	1
8月 22日	保育士			
8月 29日	保育士	民間保育会保育士部会研修	5歳児担任	1
11月 10日	栄養士	ノロウイルスセミナー		1
11月 15日	保育士	わらべ歌遊び	漆谷美砂江氏	2
		キャリアアップ研修「幼児教育 1回目」	御茶ノ水女子大 内田伸子氏	1
11月 25日	保育士	キャリアアップ研修「幼児教育 2回目」	東京家政大学	
11月 27日	保育士	福祉施設の虐待と対人援助について	稻富 正治氏	2
		キャリアアップ研修「マネジメント」	神奈川保育会 第三者委員の先生方	1
12月 9日	保育士	キャリアアップ研修「幼児教育 3回目」	御茶ノ水女子大 内田伸子氏 東京家政大学	1
12月 10日	園長・保育士	子どもの命を守る保育	猪熊弘子氏	3
12月 13日	保育士	子どもの発達～子育て支援のヒント～	厚木児童相談所職員	2
1月 15日	保育士	キャリアアップ研修「マネジメント」	神奈川保育会 第三者委員	1
1月 27日	保育士	キャリアアップ研修「乳児保育 1回目」	増田まゆみ氏・齋藤多江子氏	1
2月 1日	保育士	療育研修「ご家族との関わり」保護者支援	富澤佳代子氏	2
2月 3日	保育士	キャリアアップ研修「乳児保育 2回目」	増田まゆみ氏・齋藤多江子氏	1
2月 10日	保育士	キャリアアップ研修「乳児保育 3回目」		

一七



